第３期えにわっこ☆すこやかプラン
策定支援業務における

【ニーズ調査】
アンケート結果報告書

令和６年９月

恵庭市

目次

第 1 章　調査の実施概要 2

1. 調査の目的 2
2. 調査の方法 2
3. 調査期間 2
4. 回収状況 2
5. 集計結果の見方 3

第 2 章　就学前子どもアンケート　調査結果 4

1. お子さんとご家族の状況について 4
2. お子さんの育ちの環境について 8
3. お子さんの保護者【父親】の就労状況について 11
4. お子さんの保護者【母親】の就労状況について 16
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 23
6. お子さんの病気の際の対応について 33
7. お子さんの土曜と日曜・祝日や長期休暇中の施設などの利用希望について 41
8. お子さんの一時預かり等の利用状況について 45
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について 54
10. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について 62
11. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について 68
12. これからの子ども・子育て支援全般について 78
13. 潜在保育士の就労ニーズについて 96

第 3 章　小学生子どもアンケート　調査結果 101

1. お子さんとご家族の状況について 101
2. お子さんの育ちの環境について 105
3. お子さんの保護者【父親】の就労状況について 108
4. お子さんの保護者【母親】の就労状況について 112
5. お子さんの放課後の過ごし方について 119
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について 127
7. これからの子ども・子育て支援全般について 130
8. 潜在保育士の就労ニーズについて 144

第１章　調査の実施概要

1. 調査の目的

子ども・子育てに関する実態とニーズを把握するため、小学校就学前の子ども及び小学生の保護者を対象とするアンケート調査を実施しました。

調査の種類	対象者	配布数
就学前子どもアンケート	市内の0～5歳の子ども（R6.4.1時点）の保護者から無作為抽出	1,718 票
小学生アンケート	市内の小学1～6年生の子ども（R6.4.1時点）の保護者から無作為抽出	1,011 票

2. 調査の方法

調査は、配布・回収ともに郵送およびWEBにより実施しました。

3. 調査期間

令和6年7月に実施（投函締切7月22日）しました。

4. 回収状況

調査の種類	配布数	回収数	回収率
就学前子どもアンケート	1,718票	郵送回収：370票 WEB回収：390票 合計：760票	44.2%
小学生アンケート	1,011票	郵送回収：240票 WEB回収：251票 合計：491票	48.6%

5. 集計結果の見方

●報告書内のグラフに使用される「n」は、各設問に対する有効回答者数としています。

●図表中の構成比（%）は、小数点第2位 を四捨五入し 、小数第1位まで表示しています。従って、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響によって%の合計は必ずしも100.0にならない場合があります。

●複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。

●本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

●各設問は無回答を含みますが、特段断りのない設問については、無回答を含めて有効回答としています。なお、無回答がない場合は記載していません。

●回答数が30未満の場合は比率が上下しやすいため、傾向をみるに留めて本文中では触れていない場合があります。

●平成31年度に実施した「子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート結果報告書」と共通する設問については、調査結果をグラフ上で記載しています。 また、設問が共通していても、単数回答と複数回答のように回答の仕方が異なる場合には、グラフは記載していません。 なお、共通する設問において、回答項目に変更があったものについては、共通する回答項目の結果のみを掲載しています。

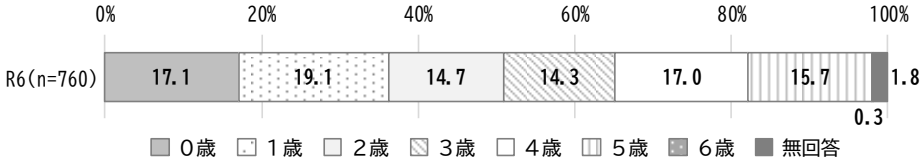
第２章　就学前子どもアンケート　調査結果

1. お子さんとご家族の状況について

問1　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（いずれかの年号に○、□には数字1つずつ）

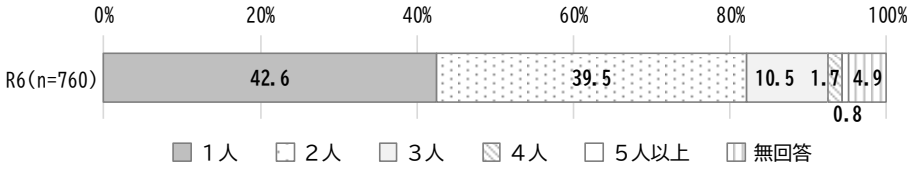
■お子さんの年齢

お子さんの年齢は、「1歳」が最も多く19.1%、次いで「0歳」が17.1%、「4歳」が17.0%、「5歳」が15.7%、「2歳」が14.7%、「3歳」が14.3%となっている。



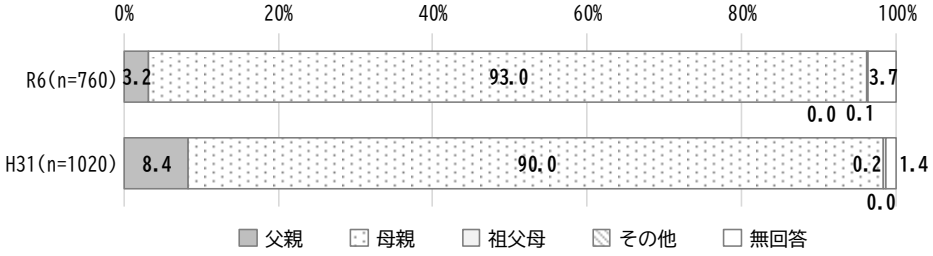
問2　宛名のお子さんを含めたきょうだいの人数をご記入ください。（□には数字1つずつ）

きょうだいの人数は、「1人」が最も多く42.6%、次いで「2人」が39.5%、「3人」が10.5%、「4人」が1.7%、「5人以上」が0.8%となっている。



問3　この調査票にご回答いただく方はお子さんからみてどなたですか。（〇は1つ）

回答者は、「母親」が93.0％を占めている。「父親」は3.2％となっている。



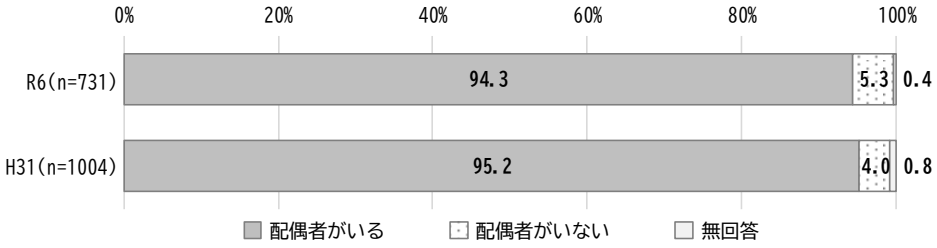
		調査数	問3　回答者				
			父親	母親	祖父母	その他	無回答
全 体		760	24	707	－	1	28
		100.0	3.2	93.0	－	0.1	3.7
問1 年齢	0歳	130	4	125	－	－	1
		100.0	3.1	96.2	－	－	0.8
	1歳	145	2	139	－	－	4
		100.0	1.4	95.9	－	－	2.8
	2歳	112	6	104	－	－	2
		100.0	5.4	92.9	－	－	1.8
	3歳	109	5	97	－	－	7
		100.0	4.6	89.0	－	－	6.4
	4歳	129	4	118	－	－	7
		100.0	3.1	91.5	－	－	5.4
	5歳	119	2	110	－	1	6
		100.0	1.7	92.4	－	0.8	5.0
	6歳	2	－	2	－	－	－
		100.0	－	100.0	－	－	－

【問3で「1.父親」「2.母親」に○をつけた方にうかがいます。】

問4　配偶者についてお答えください。（○は1つ）

「配偶者がいる」と回答された方は94.3％となっている。

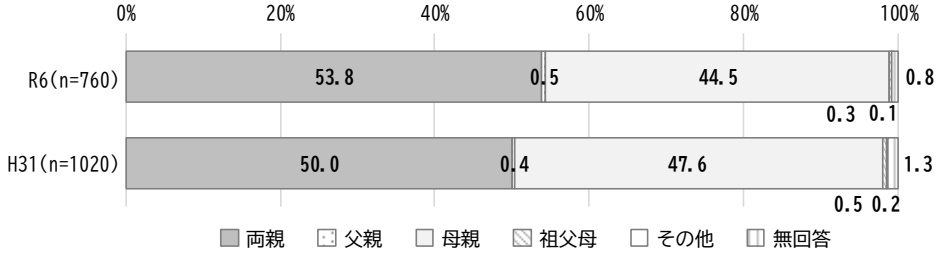
「配偶者がいない」と回答された39人のうち、父子家庭は該当なし、母子家庭は39人となっている。



		調査数	問4　配偶者の有無		
			配偶者がいる	配偶者がいない	無回答
全 体		731	689	39	3
		100.0	94.3	5.3	0.4
問3 回答者	父親	24	24	－	－
		100.0	100.0	－	－
	母親	707	665	39	3
		100.0	94.1	5.5	0.4
	祖父母	－	－	－	－
		－	－	－	－
	その他	－	－	－	－
		－	－	－	－
	無回答	－	－	－	－
		－	－	－	－

問5　子育て(教育を含む)を主に行っているのはお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

子育てを主に行っている方は、「両親」「母親」がそれぞれ約半数を占めている。



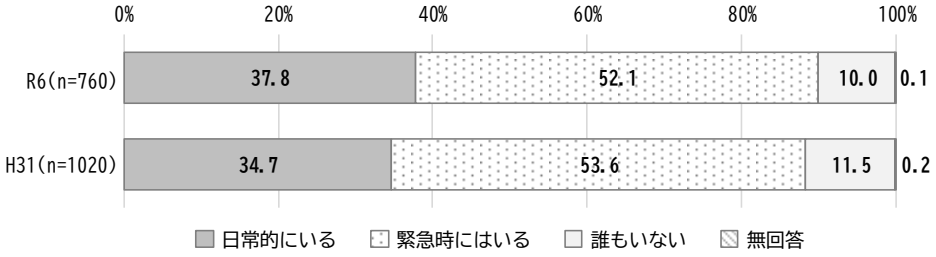
		調査数	問5　子育てを主に行っている方					
			両親	父親	母親	祖父母	その他	無回答
全 体		760	409	4	338	2	1	6
		100.0	53.8	0.5	44.5	0.3	0.1	0.8
問1 年齢	0歳	130	69	－	58	1	－	2
		100.0	53.1	－	44.6	0.8	－	1.5
	1歳	145	83	－	61	－	－	1
		100.0	57.2	－	42.1	－	－	0.7
	2歳	112	60	1	50	－	－	1
		100.0	53.6	0.9	44.6	－	－	0.9
	3歳	109	67	1	39	－	1	1
		100.0	61.5	0.9	35.8	－	0.9	0.9
	4歳	129	54	1	74	－	－	－
		100.0	41.9	0.8	57.4	－	－	－
	5歳	119	66	1	51	1	－	－
		100.0	55.5	0.8	42.9	0.8	－	－
	6歳	2	1	－	1	－	－	－
		100.0	50.0	－	50.0	－	－	－

2. お子さんの育ちの環境について

問6　お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。（○は1つ）

お子さんの面倒をみてもらえる親族･知人の有無は、「日常的にいる」が37.8％と半数以下であるが、「緊急時にはいる」の52.1％を加えると、約90％以上の方にはお子さんの面倒をみてもらえる親族･知人がいる状況である。

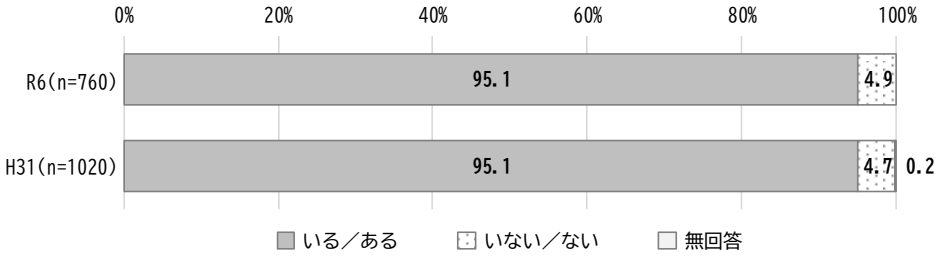
H31年と比較すると、「日常的にいる」が3.1ポイント高くなっている。一方、「誰もいない」が1.5ポイント低くなってはいるものの、1割の人が孤立していることがうかがえる。



		調査数	問6　お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人の有無			
			日常的にいる	緊急時にはいる	誰もいない	無回答
全 体		760	287	396	76	1
		100.0	37.8	52.1	10.0	0.1
問1 年齢	0歳	130	40	74	16	－
		100.0	30.8	56.9	12.3	－
	1歳	145	53	79	12	1
		100.0	36.6	54.5	8.3	0.7
	2歳	112	43	54	15	－
		100.0	38.4	48.2	13.4	－
	3歳	109	51	47	11	－
		100.0	46.8	43.1	10.1	－
	4歳	129	52	67	10	－
		100.0	40.3	51.9	7.8	－
	5歳	119	40	67	12	－
		100.0	33.6	56.3	10.1	－
	6歳	2	2	－	－	－
		100.0	100.0	－	－	－

問7　子育て(教育を含む)を行う上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所はありますか。(○は1つ)

子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「いる／ある」が95.1%と多くなっている。



		調査数	問7　子育てについて気軽に相談できる相手・場所の有無	
			いる／ある	いない／ない
全 体		760	723	37
		100.0	95.1	4.9
問1 年齢	0歳	130	122	8
		100.0	93.8	6.2
	1歳	145	136	9
		100.0	93.8	6.2
	2歳	112	109	3
		100.0	97.3	2.7
	3歳	109	99	10
		100.0	90.8	9.2
	4歳	129	125	4
		100.0	96.9	3.1
	5歳	119	116	3
		100.0	97.5	2.5
	6歳	2	2	－
		100.0	100.0	－

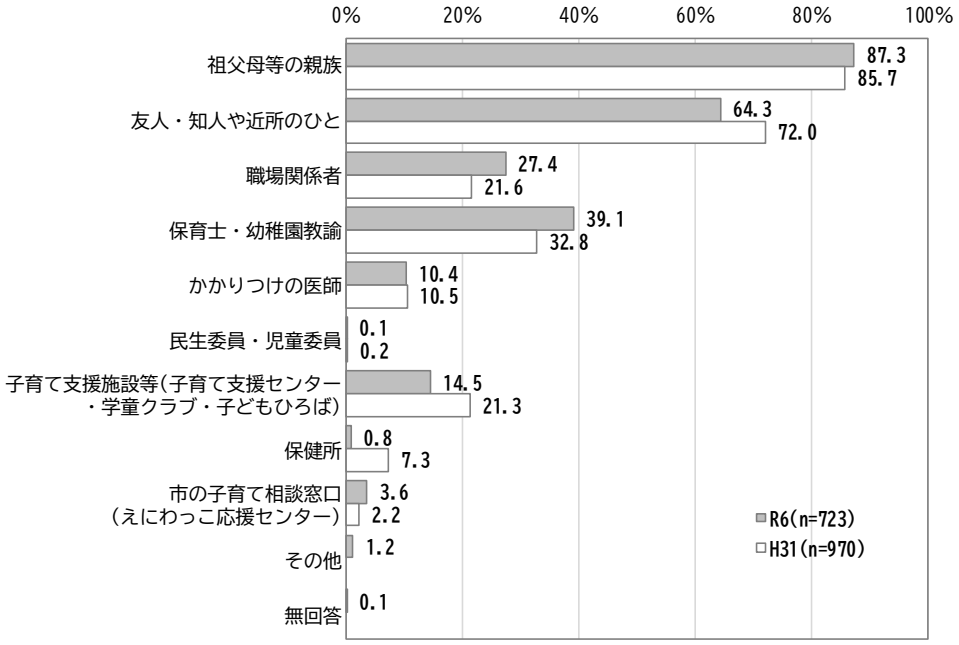
【問7で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。】

問8　気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てについて気軽に相談できる相手は、「祖父母等の親族」が87.3%と最も多く、次いで「友人・知人や近所のひと」が64.3%、「保育士・幼稚園教諭」が39.1%の順に高くなっている。

年齢別にみると、3歳で「祖父母等の親族」が全体より7.6ポイント、5歳で「職場関係者」が全体より7.1ポイント高くなっている。

親族や知人・友人を除くと「保育士・幼稚園教諭」が最も多くなっていることから、子育てに関する相談先として身近で、かつ重要な存在であることがうかがえる。



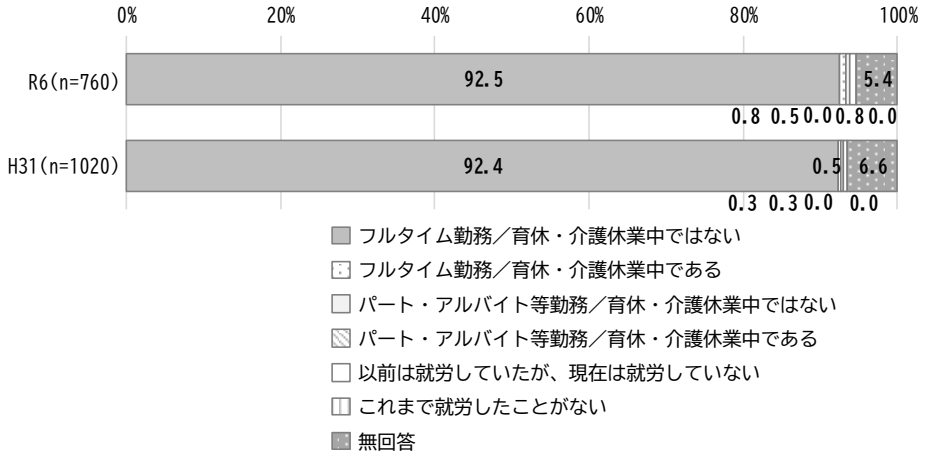
※設問変更のため、H31の「その他」「無回答」については記載なし

		調査数	問8　子育てについて気軽に相談できる相手・場所										
			祖父母等の親族	友人・知人や近所のひと	職場関係者	保育士・幼稚園教諭	かかりつけの医師	民生委員・児童委員	子育て支援施設等	保健所	市の子育て相談窓口	その他	無回答
全体		723	631	465	198	283	75	1	105	6	26	9	1
		100.0	87.3	64.3	27.4	39.1	10.4	0.1	14.5	0.8	3.6	1.2	0.1
問1年齢	0歳	122	111	76	30	28	14	−	24	3	15	3	−
		100.0	91.0	62.3	24.6	23.0	11.5	−	19.7	2.5	12.3	2.5	−
	1歳	136	121	85	34	55	19	−	21	1	4	3	−
		100.0	89.0	62.5	25.0	40.4	14.0	−	15.4	0.7	2.9	2.2	−
	2歳	109	91	68	30	46	10	−	18	1	1	−	1
		100.0	83.5	62.4	27.5	42.2	9.2	−	16.5	0.9	0.9	−	0.9
	3歳	99	94	64	25	44	6	−	10	−	−	1	−
		100.0	94.9	64.6	25.3	44.4	6.1	−	10.1	−	−	1.0	−
	4歳	125	107	80	34	53	8	1	14	1	5	2	−
		100.0	85.6	64.0	27.2	42.4	6.4	0.8	11.2	0.8	4.0	1.6	−
	5歳	116	92	80	40	50	18	−	17	−	1	−	−
		100.0	79.3	69.0	34.5	43.1	15.5	−	14.7	−	0.9	−	−
	6歳	2	2	2	1	1	−	−	1	−	−	−	−
		100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	−	−	50.0	−	−	−	−

3. お子さんの保護者【父親】の就労状況について

問9　父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(○は1つ)

父親の就労状況は、「フルタイム勤務／育休・介護休業中ではない」が92.5%となっている。



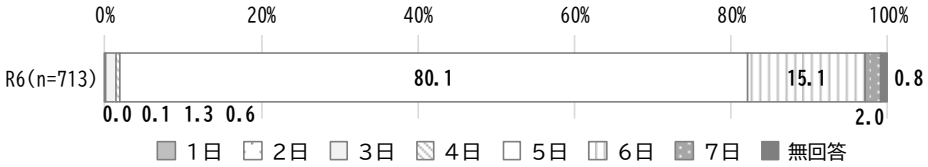
		調査数	問9【父親】　就労状況						
			フルタイム勤務／育休・介護休業中ではない	フルタイム勤務／育休・介護休業中である	パート・アルバイト等勤務／育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等勤務／育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体		760	703	6	4	－	6	－	41
		100.0	92.5	0.8	0.5	－	0.8	－	5.4
問1 年齢	0歳	130	117	3	－	－	3	－	7
		100.0	90.0	2.3	－	－	2.3	－	5.4
	1歳	145	139	2	1	－	－	－	3
		100.0	95.9	1.4	0.7	－	－	－	2.1
	2歳	112	104	1	1	－	1	－	5
		100.0	92.9	0.9	0.9	－	0.9	－	4.5
	3歳	109	102	－	2	－	1	－	4
		100.0	93.6	－	1.8	－	0.9	－	3.7
	4歳	129	122	－	－	－	1	－	6
		100.0	94.6	－	－	－	0.8	－	4.7
	5歳	119	104	－	－	－	－	－	15
		100.0	87.4	－	－	－	－	－	12.6
	6歳	2	2	－	－	－	－	－	－
		100.0	100.0	－	－	－	－	－	－

【問9で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問10　1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をそれぞれお答えください。
（□には数字1つずつ）

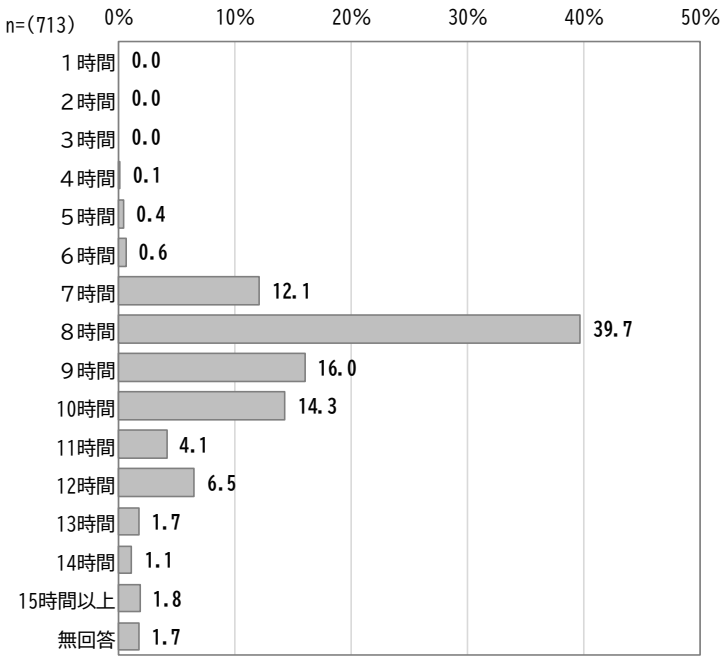
■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「5日」が80.1%と最も多くなっている。



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「8時間」が39.7%と最も多くなっている。

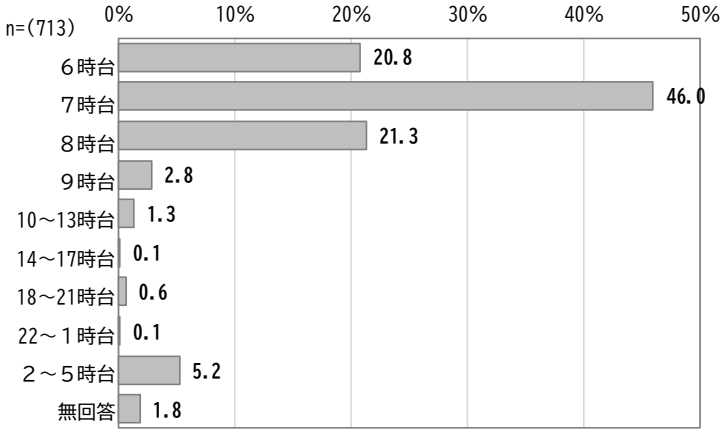


【問9で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問11　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。（□には数字1つずつ）

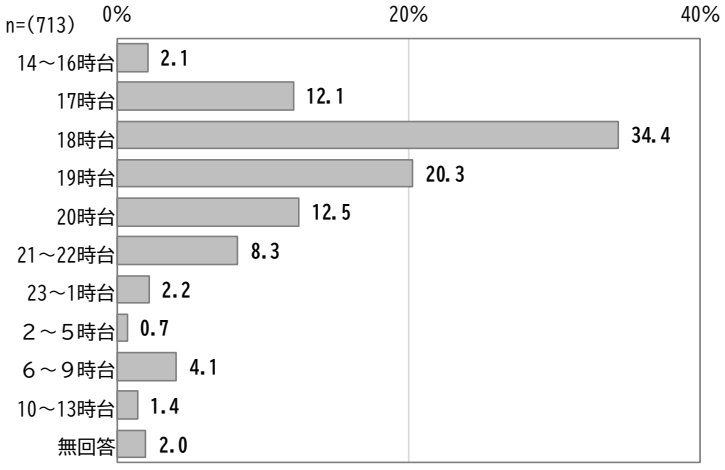
■家を出る時間

家を出る時間は、「7時台」が46.0%と最も多くなっている。



■帰宅時間

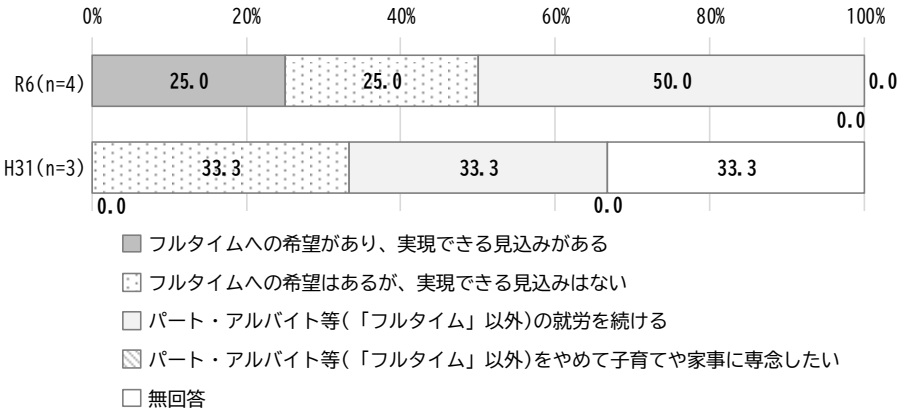
帰宅時間は、「18時台」が34.4%と最も多くなっている。



【問9で「3.」「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問12　フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)就労への希望はありますか。(○は1つ)

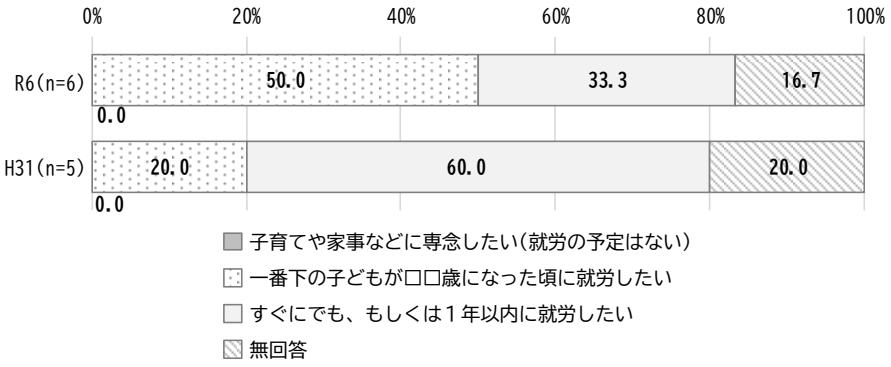
回答者数が30人以下のためコメント省略。



【問9で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。】

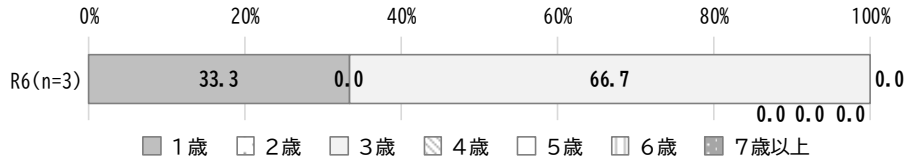
問13　就労希望はありますか。また、該当する選択肢の□内に数字でご記入ください。
(○は1つ、□には数字1つずつ)

回答者数が30人以下のためコメント省略。

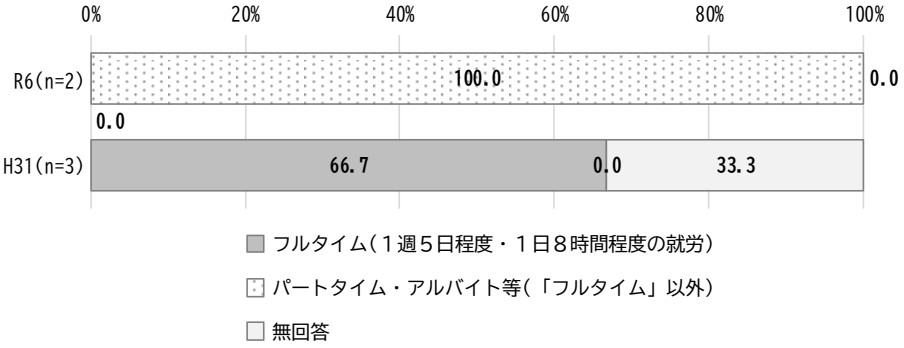


■「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した方の子どもの年齢

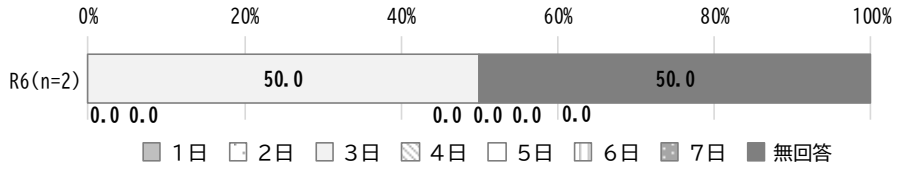
回答者数が30人以下のためコメント省略。



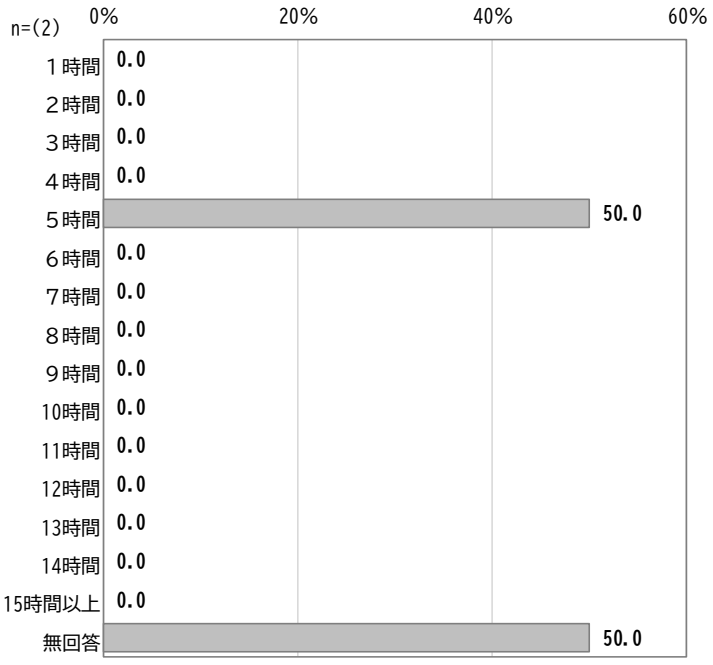
■「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態
回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1週当たりの就労日数
回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1日当たりの就労時間
回答者数が30人以下のためコメント省略。



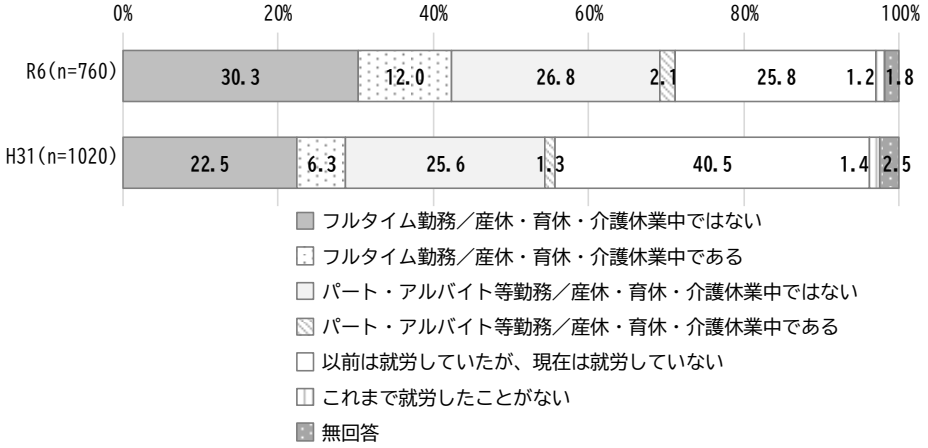
4. お子さんの保護者【母親】の就労状況について

問14　母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(○は1つ)

母親の就労状況は、「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が30.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が26.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が25.8%となっている。

年齢別にみると、0歳で「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中である」が全体より27.2ポイント高くなっている。また、1歳で「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が全体より7.6ポイント高くなっており、1歳になるタイミングで復職・就労している人が多いことがうかがえる。

H31年と比較において、「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が7．8ポイント、「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中である」が5.7ポイント高くなっており、母親が就労を継続しながら育児をしている家庭が増加していることがうかがえる。



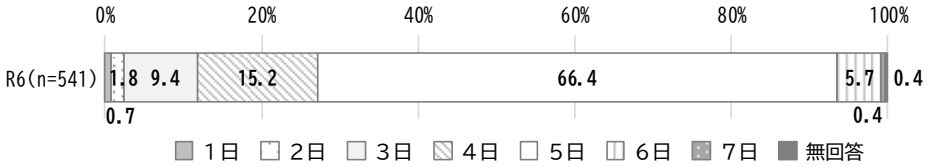
		調査数	問14【母親】　就労状況						
			フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全 体		760	230	91	204	16	196	9	14
		100.0	30.3	12.0	26.8	2.1	25.8	1.2	1.8
問1 年齢	0歳	130	20	51	13	5	39	1	1
		100.0	15.4	39.2	10.0	3.8	30.0	0.8	0.8
	1歳	145	55	15	25	1	46	2	1
		100.0	37.9	10.3	17.2	0.7	31.7	1.4	0.7
	2歳	112	35	10	26	2	34	2	3
		100.0	31.3	8.9	23.2	1.8	30.4	1.8	2.7
	3歳	109	38	3	30	4	31	－	3
		100.0	34.9	2.8	27.5	3.7	28.4	－	2.8
	4歳	129	38	4	53	2	25	4	3
		100.0	29.5	3.1	41.1	1.6	19.4	3.1	2.3
	5歳	119	37	5	53	2	19	－	3
		100.0	31.1	4.2	44.5	1.7	16.0	－	2.5
	6歳	2	1	－	1	－	－	－	－
		100.0	50.0	－	50.0	－	－	－	－

【問14で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問15　1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をそれぞれお答えください。
（□には数字1つずつ）

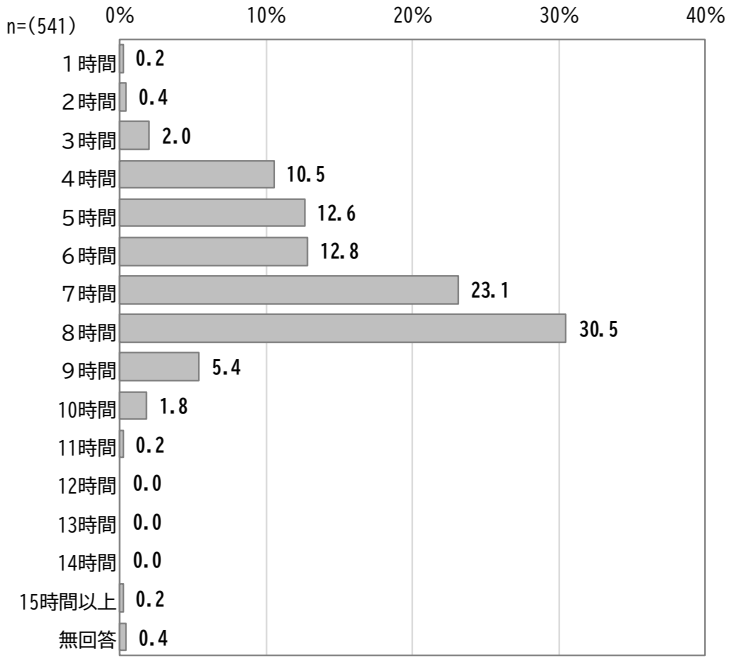
■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「5日」が66.4%と最も多くなっている。



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「8時間」が30.5%と最も多くなっている。

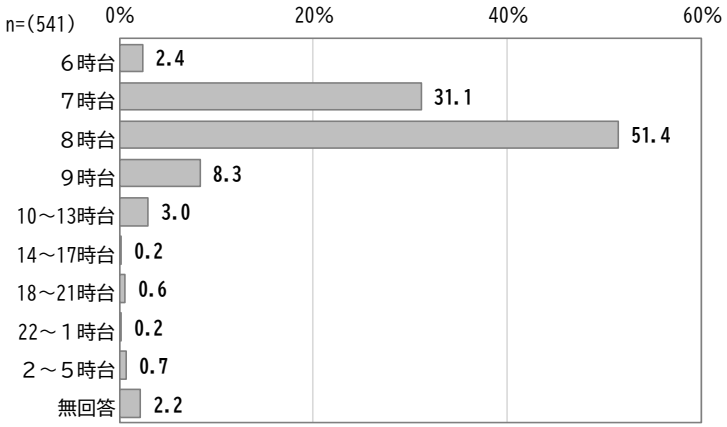


【問14で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問16　家を出る時間と帰宅時間を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。
（□には数字1つずつ）

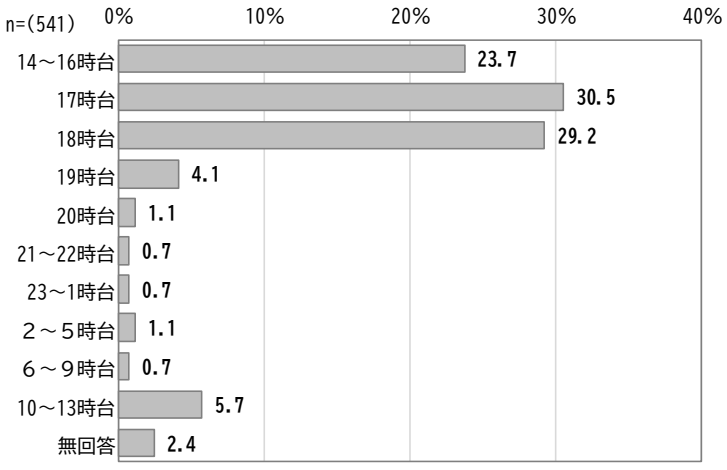
■家を出る時間

家を出る時間は、「8時台」が51.4％と最も多くなっている。



■帰宅時間

帰宅時間は、「17時台」が30.5％と最も多く、次いで「18時台」が29.2％、「14時～16時台」が23.7％となっている。



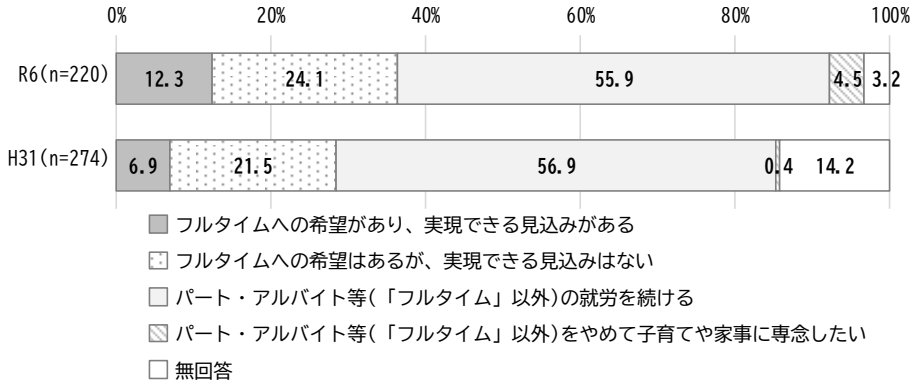
【問14で「3.」「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問17　フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)就労への希望はありますか。(○は1つ)

現在、パート・アルバイト等で就労している220人の方のフルタイム就労への希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続ける」が55.9%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.1%となっている。

年齢別にみると、0歳で「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が全体と比較して9.2ポイント高くなっている。また、全ての年齢において「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続ける」が最も多くなっており、育児をしながら扶養の範囲内で就労する傾向にあることがうかがえる。

H31年との比較において、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続ける」が最も多くなっているものの、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ高くなっていることから、フルタイム勤務を希望する母親が増加していることがうかがえる。



		調査数	問17【母親】　フルタイム就労への意向				
			フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続ける	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
全体		220	27	53	123	10	7
		100.0	12.3	24.1	55.9	4.5	3.2
問1 年齢	0歳	18	3	6	8	−	1
		100.0	16.7	33.3	44.4	−	5.6
	1歳	26	6	8	11	1	−
		100.0	23.1	30.8	42.3	3.8	−
	2歳	28	5	7	15	1	−
		100.0	17.9	25.0	53.6	3.6	−
	3歳	34	2	9	20	2	1
		100.0	5.9	26.5	58.8	5.9	2.9
	4歳	55	5	14	31	2	3
		100.0	9.1	25.5	56.4	3.6	5.5
	5歳	55	6	9	34	4	2
		100.0	10.9	16.4	61.8	7.3	3.6
	6歳	1	−	−	1	−	−
		100.0	−	−	100.0	−	−

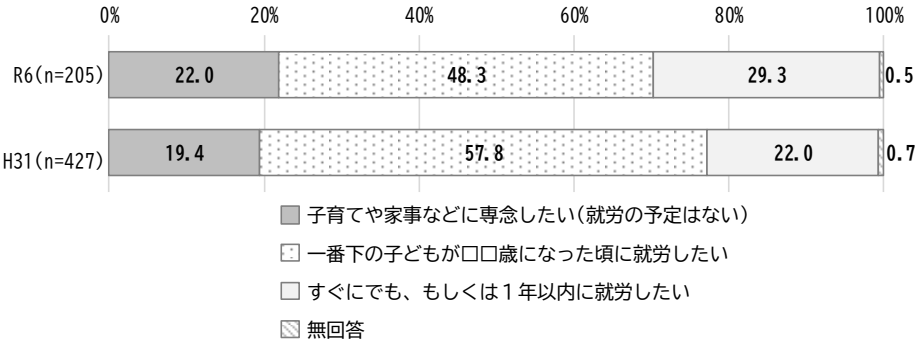
【問14で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。】

問18　就労希望はありますか。また、該当する選択肢の□内に数字でご記入ください。
（○は1つ、□には数字1つずつ）

現在、就労していない205人の方の就労希望は、「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」が48.3％と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.3％、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が22.0％の順となっている。

年齢別にみると、1歳で「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」全体と比較して16.3ポイント、4歳で「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が全体と比較して12.5ポイント高くなっている。

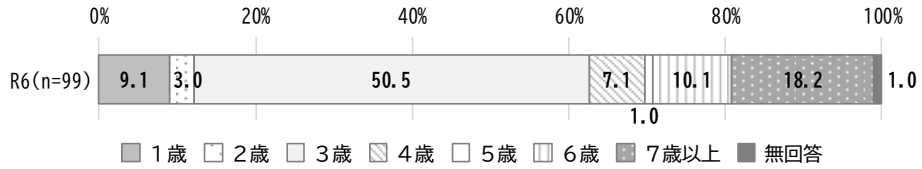
H31との比較において、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が7.3ポイント高くなっており、育児と仕事の両立の意識が高まっていることがうかがえる。



		調査数	問18【母親】　就労希望			
			子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	一番下の子どもが○歳になった頃に就労したい	すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい	無回答
全 体		205	45	99	60	1
		100.0	22.0	48.3	29.3	0.5
問1 年齢	0歳	40	7	22	11	－
		100.0	17.5	55.0	27.5	－
	1歳	48	8	31	9	－
		100.0	16.7	64.6	18.8	－
	2歳	36	7	12	17	－
		100.0	19.4	33.3	47.2	－
	3歳	31	10	13	7	1
		100.0	32.3	41.9	22.6	3.2
	4歳	29	10	9	10	－
		100.0	34.5	31.0	34.5	－
	5歳	19	3	10	6	－
		100.0	15.8	52.6	31.6	－
	6歳	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－

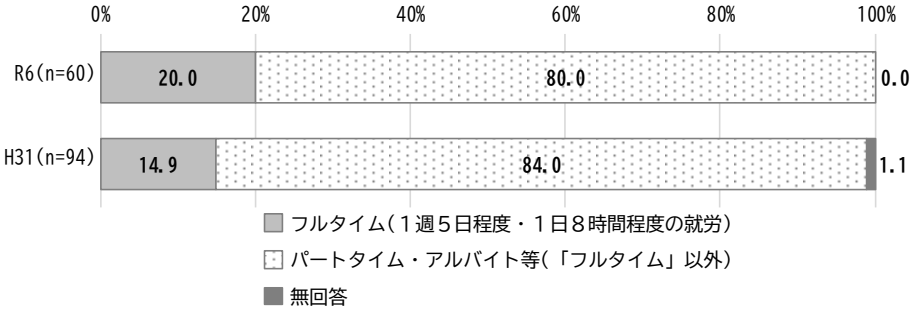
■「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した方の子どもの年齢

子どもの年齢は、「3歳」が50.5%と最も多く、次いで「7歳以上」が18.2%となっている。



■「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態

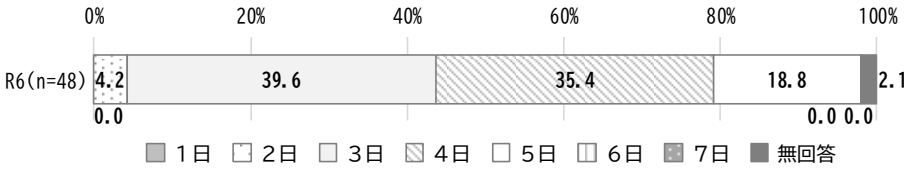
希望する就労形態は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)」が80.0%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が20.0%となっている。



		調査数	問18-1【母親】 希望する就労形態	
			フルタイム	パートタイム・アルバイト等
全体		60	12	48
		100.0	20.0	80.0
問1 年齢	0歳	11	3	8
		100.0	27.3	72.7
	1歳	9	4	5
		100.0	44.4	55.6
	2歳	17	3	14
		100.0	17.6	82.4
	3歳	7	－	7
		100.0	－	100.0
	4歳	10	2	8
		100.0	20.0	80.0
	5歳	6	－	6
		100.0	－	100.0
	6歳	－	－	－
		－	－	－

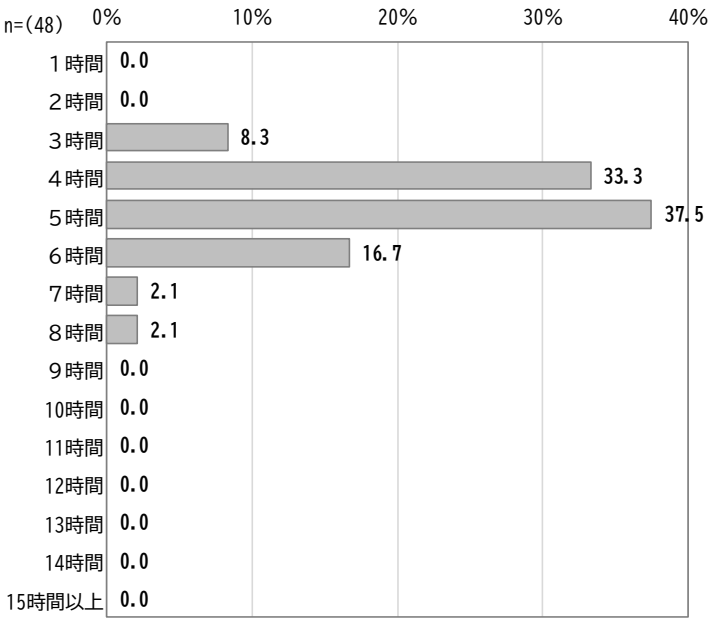
■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1週間当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「3日」が39.6%と最も多くなっている。



■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「5時間」が37.5%と最も多くなっている。



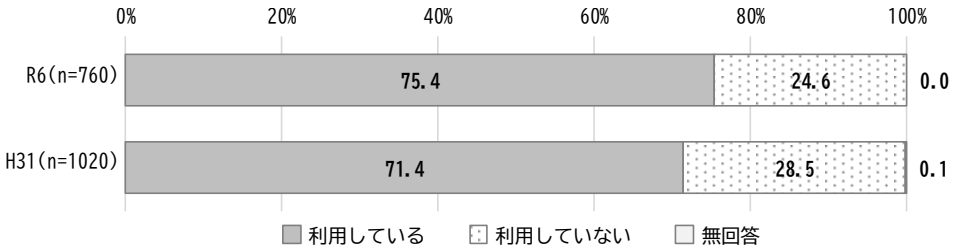
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問19　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（○は1つ）

「利用している」が75.4%、「利用していない」が24.6%となっている。

H31年と比較すると、「利用している」が4.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、3歳の利用は98.2%、4歳～6歳は、100%となっている。



		調査数	問19　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	
			利用している	利用していない
全 体		760	573	187
		100.0	75.4	24.6
問1 年齢	0歳	130	32	98
		100.0	24.6	75.4
	1歳	145	79	66
		100.0	54.5	45.5
	2歳	112	94	18
		100.0	83.9	16.1
	3歳	109	107	2
		100.0	98.2	1.8
	4歳	129	129	－
		100.0	100.0	－
	5歳	119	119	－
		100.0	100.0	－
	6歳	2	2	－
		100.0	100.0	－

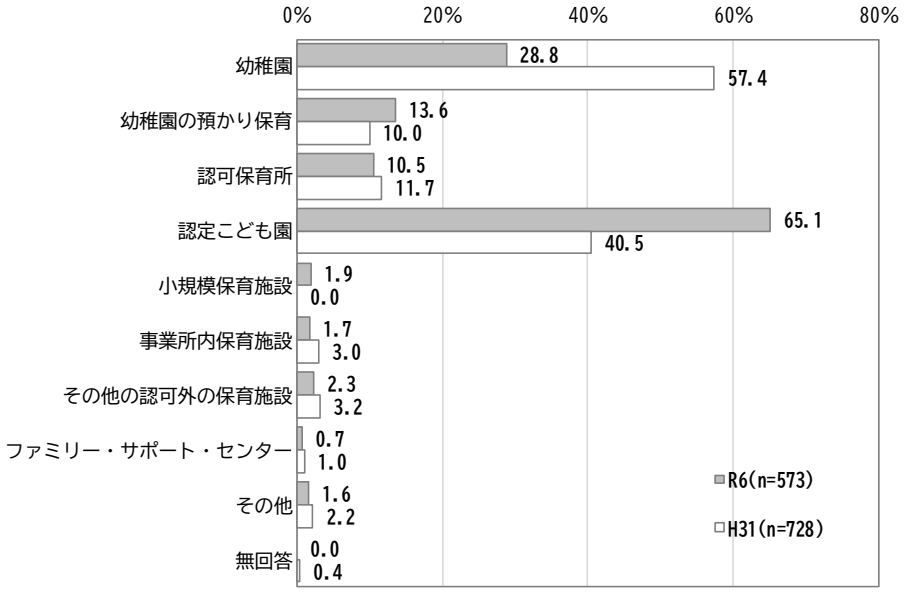
【問19で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問20　宛名のお子さんが平日に利用している教育・保育の事業について、年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

平日に利用している教育・保育の事業は、「認定こども園」の利用が65.1%と最も多く、次いで「幼稚園」が28.8%となっている。

年齢別にみると、4歳で「認定こども園」が72.1%となり、全体と比較して7.0ポイント高くなっている。

H31年との比較において、「認定こども園」の利用が24.6ポイント高く、「幼稚園」の利用が28.6ポイント低くなっていることについては、幼稚園から認定こども園への移行が要因と考えられるとともに、問13の結果からみる母親の就労の増加に伴う共働き家庭の増加により、保育ニーズが増加していることがうかがえる。



		調査数	問20　平日利用している教育・保育事業									
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		573	165	78	60	373	11	10	13	4	9	-
		100.0	28.8	13.6	10.5	65.1	1.9	1.7	2.3	0.7	1.6	-
問1 年齢	0歳	32	3	-	5	20	3	2	2	-	-	-
		100.0	9.4	-	15.6	62.5	9.4	6.3	6.3	-	-	-
	1歳	79	5	3	13	53	4	3	6	1	2	-
		100.0	6.3	3.8	16.5	67.1	5.1	3.8	7.6	1.3	2.5	-
	2歳	94	24	11	15	54	3	2	4	-	2	-
		100.0	25.5	11.7	16.0	57.4	3.2	2.1	4.3	-	2.1	-
	3歳	107	44	18	5	68	-	-	-	1	1	-
		100.0	41.1	16.8	4.7	63.6	-	-	-	0.9	0.9	-
	4歳	129	45	20	11	93	1	2	-	-	1	-
		100.0	34.9	15.5	8.5	72.1	0.8	1.6	-	-	0.8	-
	5歳	119	40	23	9	80	-	1	-	2	3	-
		100.0	33.6	19.3	7.6	67.2	-	0.8	-	1.7	2.5	-
	6歳	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-

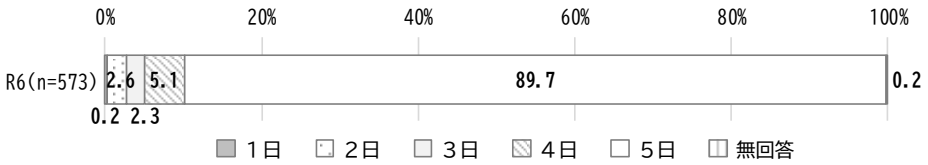
【問19で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問21　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。(□には数字1つずつ)

(1) 現在の利用日数・利用時間

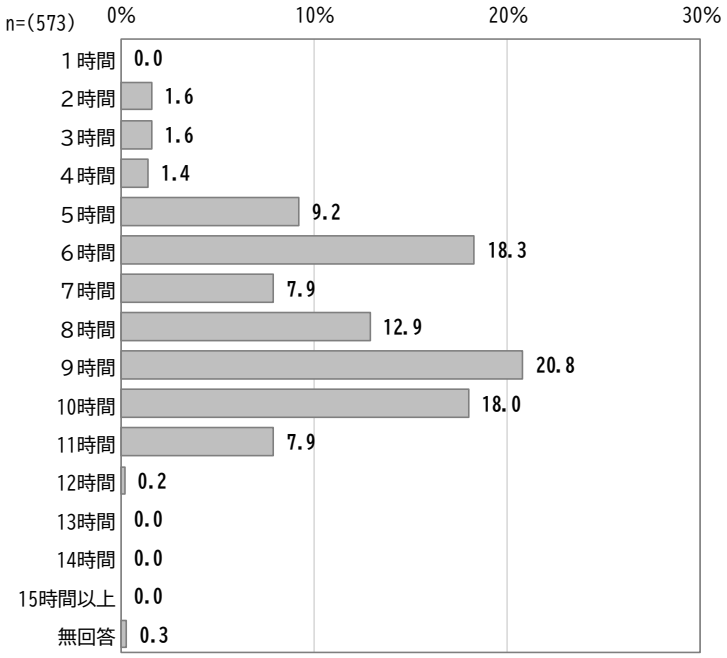
■現在の利用日数

現在の1週当たりの利用日数は、「5日」が89.7%と最も多くなっている。



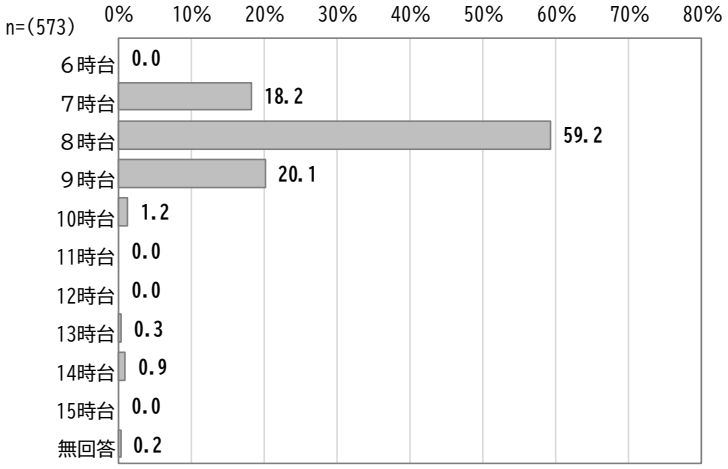
■現在の利用時間

現在の1日当たりの利用時間は、「9時間」が20.8%と最も多くなっている。



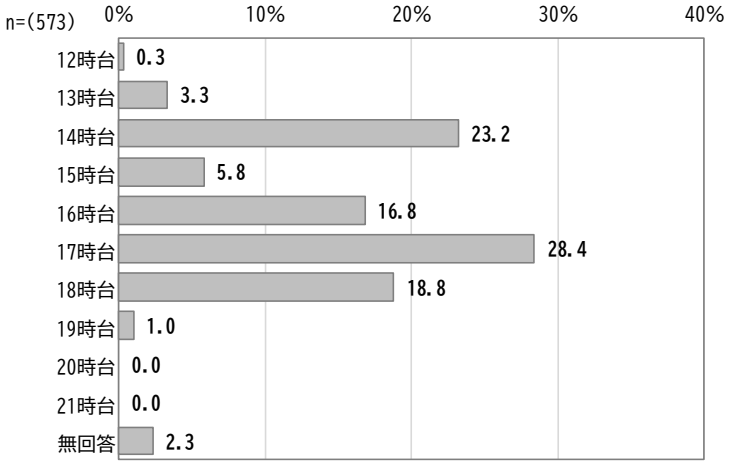
■現在の利用開始時間

現在の利用開始時間は、「8時台」が59.2%と最も多く、次いで「9時台」が20.1%となっている。



■現在の利用終了時間

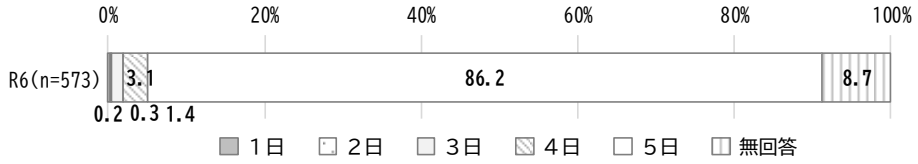
現在の利用終了時間は、「17時台」が28.4%と最も多く、次いで「14時台」が23.2%となっている。



（2）希望する利用日数・利用時間

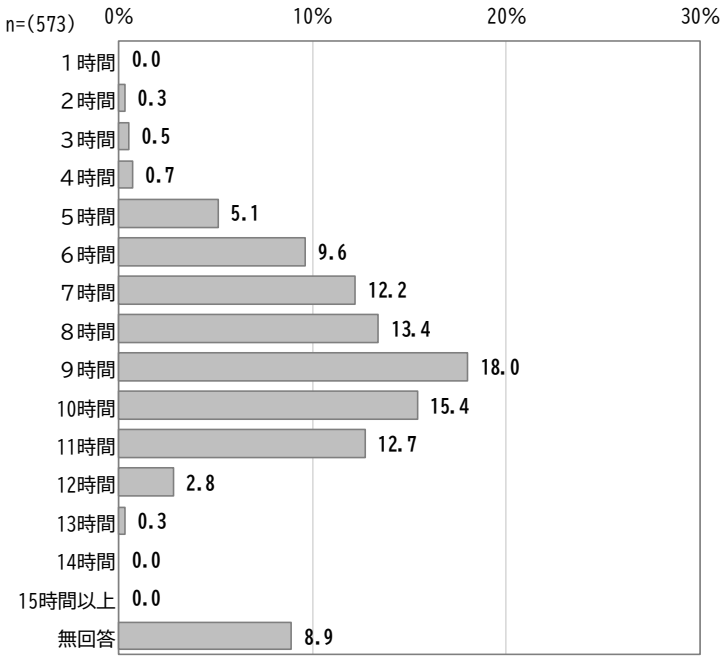
■希望する利用日数

希望する1週当たりの利用日数は、「5日」が86.2%と最も多くなっている。



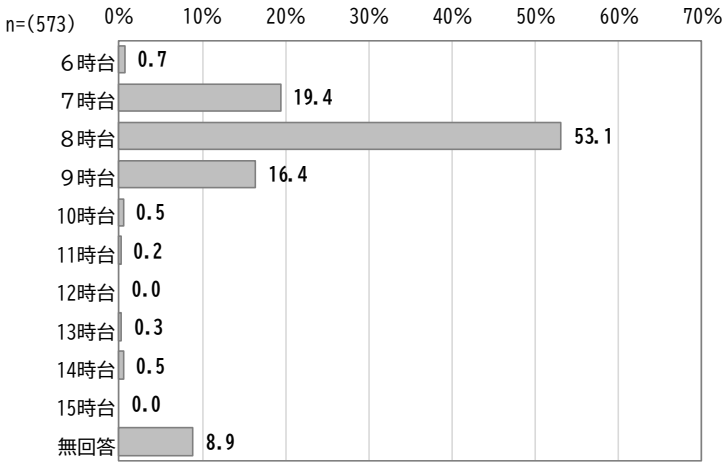
■希望する利用時間

希望する1日当たりの利用時間は、「9時間」が18.0%と最も多くなっている。



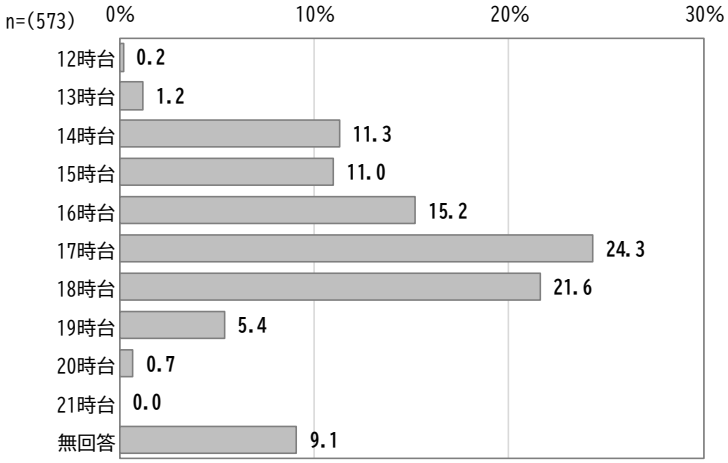
■希望する利用開始時間

希望する利用開始時間は、「8時台」が53.1%と最も多く、次いで「7時台」が19.4%となっている。



■希望する利用終了時間

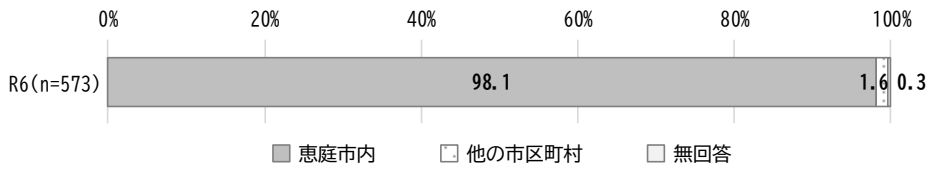
希望する利用終了時間は、「17時台」が24.3%と最も多く、次いで「18時台」が21.6%となっている。



【問19で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問22　現在、利用している教育・保育事業の実施場所をお答えください。（○は1つ）

利用している教育・保育事業の実施場所は、「恵庭市内」が98.1%と大半を占めている。



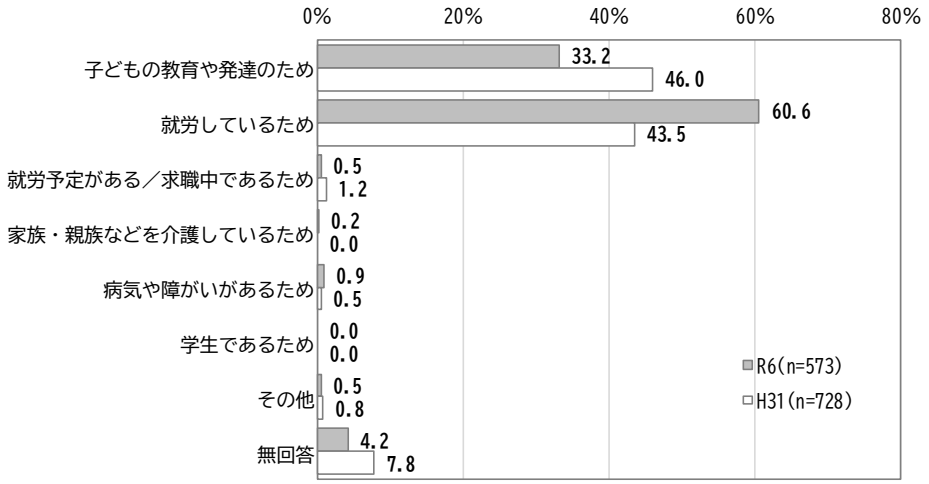
【問19で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問23　幼稚園・保育所・認定こども園等を利用されている理由は何ですか。（○は1つ）

「定期的な教育・保育の事業」を利用している理由は、「就労しているため」が60.6％と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が33.2％となっている。

平日利用している教育・保育事業でみると、幼稚園では「子ども教育や発達のため」が全体と比較して28.6ポイント高くなっている。

H31年との比較において、「就労しているため」が17.1ポイント高くなっていることから、共働きの家庭が増加していることがうかがえる。

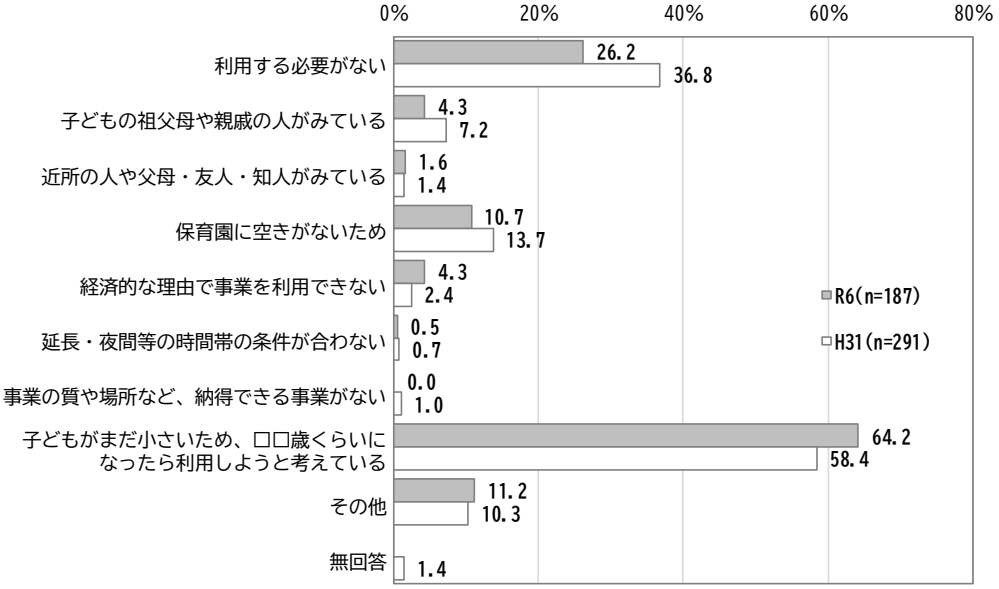


		調査数	問23　教育・保育事業を利用している理由							
			子どもの教育や発達のため	就労しているため	就労予定がある／求職中であるため	家族・親族などを介護しているため	病気や障がいがあるため	学生であるため	その他	無回答
全体		573	190	347	3	1	5	－	3	24
		100.0	33.2	60.6	0.5	0.2	0.9	－	0.5	4.2
問20　平日利用している教育・保育事業	幼稚園	165	102	45	1	－	1	－	1	15
		100.0	61.8	27.3	0.6	－	0.6	－	0.6	9.1
	幼稚園の預かり保育	78	29	36	－	－	－	－	1	12
		100.0	37.2	46.2	－	－	－	－	1.3	15.4
	認可保育所	60	4	54	－	－	2	－	－	－
		100.0	6.7	90.0	－	－	3.3	－	－	－
	認定こども園	373	103	244	3	1	2	－	2	18
		100.0	27.6	65.4	0.8	0.3	0.5	－	0.5	4.8
	小規模保育施設	11	－	11	－	－	－	－	－	－
		100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－
	事業所内保育施設	10	2	8	－	－	－	－	－	－
		100.0	20.0	80.0	－	－	－	－	－	－
	その他の認可外の保育施設	13	－	12	－	－	1	－	－	－
		100.0	－	92.3	－	－	7.7	－	－	－
	ファミリー・サポート・センター	4	2	1	－	－	－	－	－	1
		100.0	50.0	25.0	－	－	－	－	－	25.0
	その他	9	2	4	－	－	－	－	－	3
		100.0	22.2	44.4	－	－	－	－	－	33.3
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－	－	－	－

【問19で「2.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

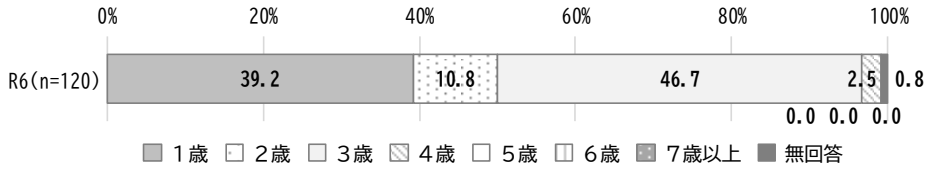
問24　利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ）

「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため、□□歳くらいなったら利用しようと考えている」が64.2%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が26.2%となっている。



■「定期的な教育・保育の事業」の利用を始めたい子どもの年齢

「定期的な教育・保育の事業」の利用を始めたい子どもの年齢は、「3歳」が46.7%と最も多く、次いで「1歳」が39.2%、「2歳」が10.8%となっている。

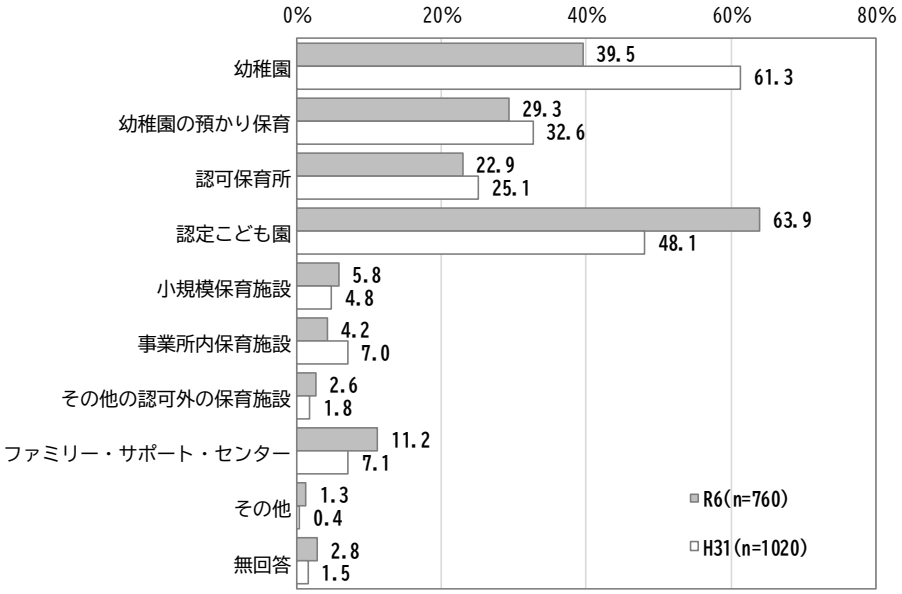


問25　現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

現在、「定期的な教育・保育の事業」を利用している、利用していないにかかわらず、「定期的」に利用したいと考える事業は、「認定こども園」が63.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が39.5%となっている。

年齢別にみると、0歳、1歳、3～5歳で「認定こども園」が60%以上となっている。

H31年との比較において、「認定こども園」の利用が15.8ポイント高く、「幼稚園」の利用が21.8ポイント低くなっていることについては、幼稚園から認定こども園へ移行したためと考えられる。

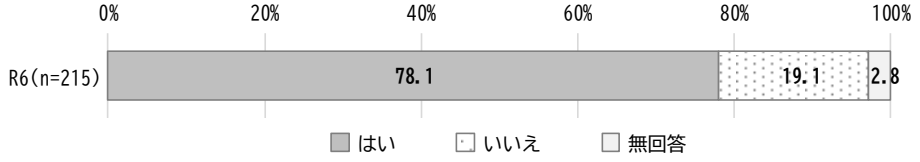


		調査数	問25　定期的に利用したい教育・保育事業									
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		760	300	223	174	486	44	32	20	85	10	21
		100.0	39.5	29.3	22.9	63.9	5.8	4.2	2.6	11.2	1.3	2.8
問1年齢	0歳	130	52	34	67	88	20	14	11	17	－	－
		100.0	40.0	26.2	51.5	67.7	15.4	10.8	8.5	13.1	－	－
	1歳	145	67	41	35	96	13	7	5	26	5	4
		100.0	46.2	28.3	24.1	66.2	9.0	4.8	3.4	17.9	3.4	2.8
	2歳	112	48	38	31	66	5	4	2	6	1	1
		100.0	42.9	33.9	27.7	58.9	4.5	3.6	1.8	5.4	0.9	0.9
	3歳	109	43	27	15	67	4	1	－	13	1	4
		100.0	39.4	24.8	13.8	61.5	3.7	0.9	－	11.9	0.9	3.7
	4歳	129	41	45	12	86	1	4	1	13	－	5
		100.0	31.8	34.9	9.3	66.7	0.8	3.1	0.8	10.1	－	3.9
	5歳	119	41	34	13	75	1	2	1	9	2	6
		100.0	34.5	28.6	10.9	63.0	0.8	1.7	0.8	7.6	1.7	5.0
	6歳	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
		100.0	50.0	50.0	－	－	－	－	－	－	－	－

【問25で「1.幼稚園」「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、「3.」～「9.」にも○をつけた方にうかがいます】

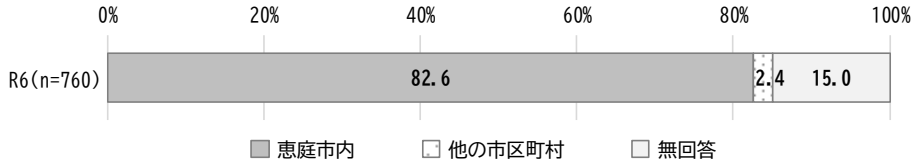
問26　特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、他の施設も選択した方の利用意向は、「はい」が78.1%となっている。



問27　教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。(○は1つ)

教育・保育事業を利用したい場所は、「恵庭市内」が82.6%と大半を占めている。

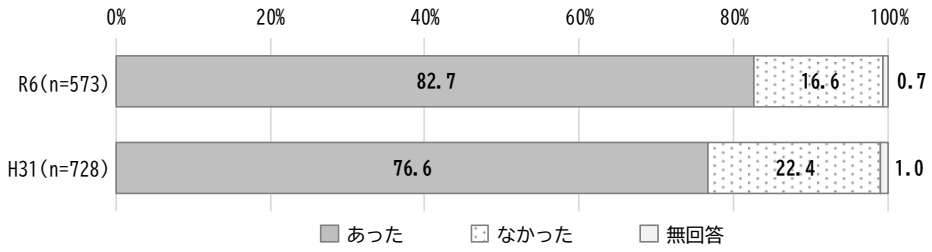


6. お子さんの病気の際の対応について

問28　この1年間に、お子さんの病気やケガで幼稚園・保育園等を利用できなかったことはありましたか。（○は1つ）

病気等で教育・保育事業を利用できなかったことは、「あった」が82.7%、「なかった」が16.6%となっている。

年齢別にみると、0歳で「あった」が全体と比較して11.1ポイント高くなっている。



		調査数	問28　お子さんの病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験		
			あった	なかった	無回答
全 体		573	474	95	4
		100.0	82.7	16.6	0.7
問1 年齢	0歳	32	30	2	－
		100.0	93.8	6.3	－
	1歳	79	68	10	1
		100.0	86.1	12.7	1.3
	2歳	94	74	20	－
		100.0	78.7	21.3	－
	3歳	107	90	17	－
		100.0	84.1	15.9	－
	4歳	129	108	21	－
		100.0	83.7	16.3	－
	5歳	119	93	23	3
		100.0	78.2	19.3	2.5
	6歳	2	2	－	－
		100.0	100.0	－	－

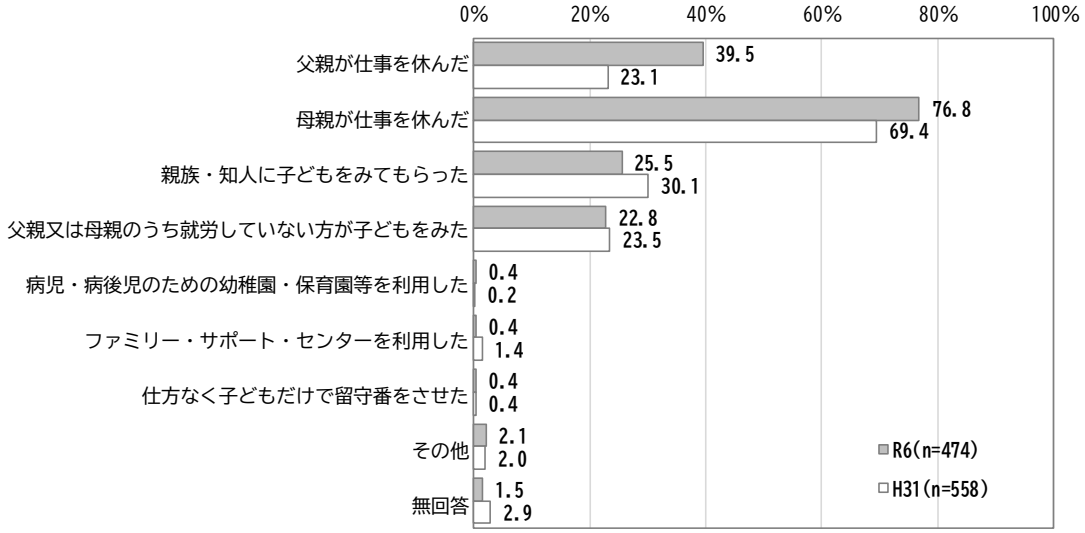
【問28で「1.あった」に○をつけた方にうかがいます。】

問29　お子さんの病気やけがで幼稚園・保育園・認定こども園等が利用できなかった場合、どのように対応されましたか。また、おおよその日数(半日程度も1日とします)をお答えください。(あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ)

病気等で教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が76.8%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が39.5%となっている。

年齢別にみると、1歳で「父親が仕事を休んだ」が全体と比較して20.8ポイント高くなっている。

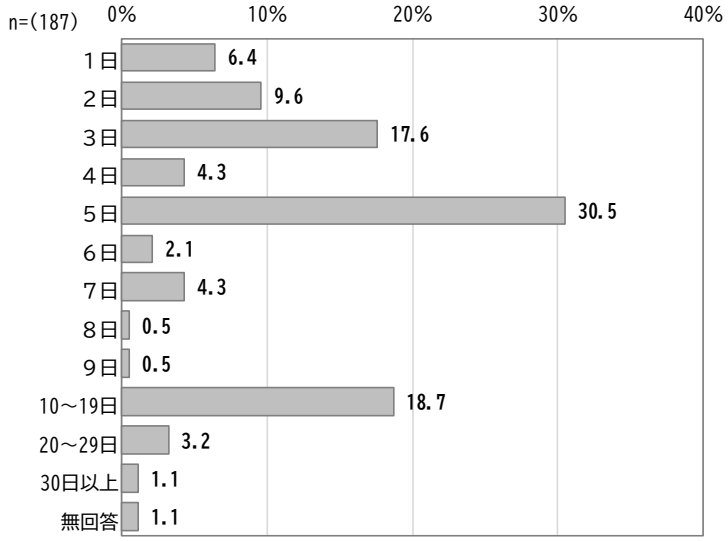
H31年と比較すると、「父親が仕事を休んだ」が16.4ポイント高くなっており、父親の育児参加の意識が高まっていることがうかがえる。一方、休んだ日数は父親が5日以内、母親が10日以上と、母親が仕事を休んで子供をみる日数が多くなっている。



		調査数	問29　お子さんの病気等で教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法									
			父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児のための幼稚園・保育園等を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		474	187	364	121	108	2	2	2	10	7
		100.0	39.5	76.8	25.5	22.8	0.4	0.4	0.4	2.1	1.5
問1 年齢	0歳	30	13	24	7	5	−	−	−	−	−
		100.0	43.3	80.0	23.3	16.7	−	−	−	−	−
	1歳	68	41	66	19	6	−	1	−	−	1
		100.0	60.3	97.1	27.9	8.8	−	1.5	−	−	1.5
	2歳	74	27	58	13	16	−	−	−	2	−
		100.0	36.5	78.4	17.6	21.6	−	−	−	2.7	−
	3歳	90	30	58	21	28	−	1	−	1	2
		100.0	33.3	64.4	23.3	31.1	−	1.1	−	1.1	2.2
	4歳	108	37	75	33	30	−	−	−	5	2
		100.0	34.3	69.4	30.6	27.8	−	−	−	4.6	1.9
	5歳	93	36	75	26	21	1	−	2	2	2
		100.0	38.7	80.6	28.0	22.6	1.1	−	2.2	2.2	2.2
	6歳	2	−	1	1	−	−	−	−	−	−
		100.0	−	50.0	50.0	−	−	−	−	−	−

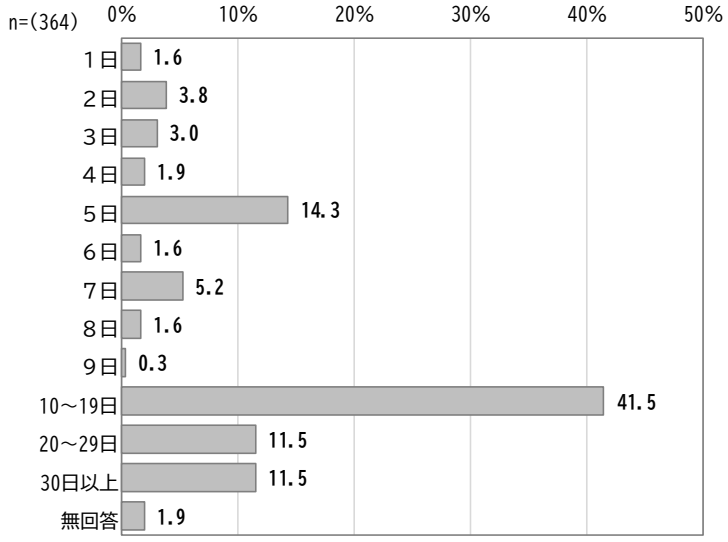
■「父親が仕事を休んだ」日数

父親が仕事を休んだ日数は、「5日」が30.5％で最も多く、次いで「10～19日」が18.7％、「3日」が17.6％となっている。



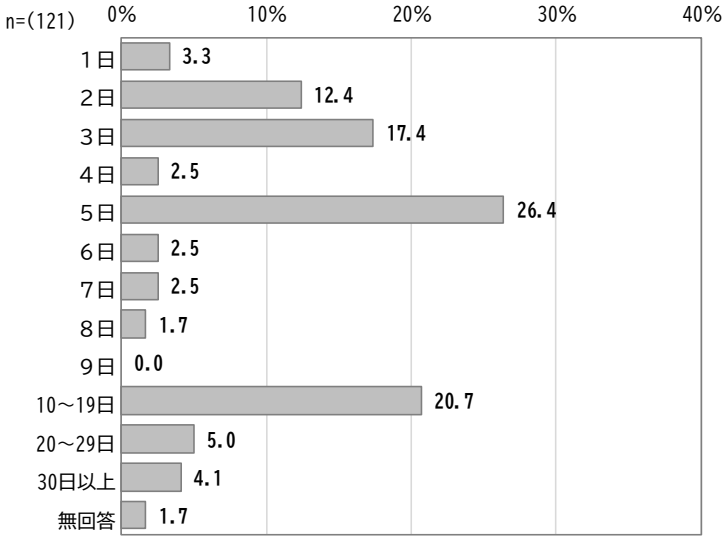
■「母親が仕事を休んだ」日数

母親が仕事を休んだ日数は、「10～19日」が41.5％と最も多く、次いで「5日」が14.3％、「20～29日」「30日以上」がそれぞれ11.5％となっている。



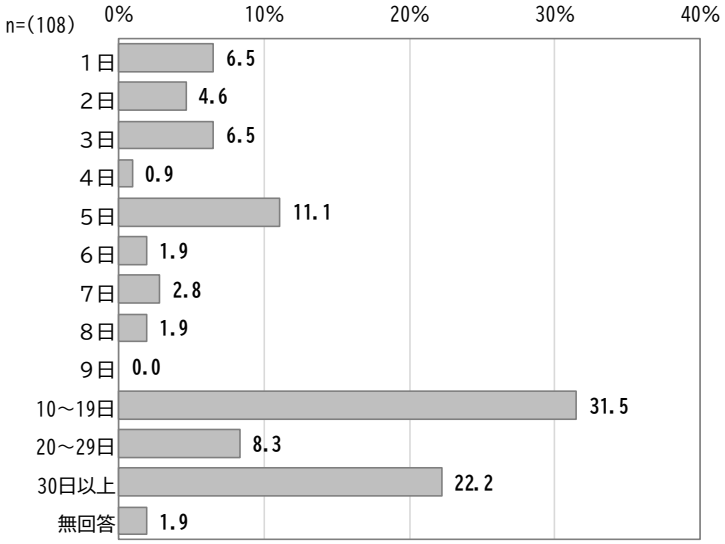
■「親族・知人にみてもらった」日数

親族・知人にみてもらった日数は、「5日」が26.4%と最も多く、次いで「10～19日」が20.7%、「3日」が17.4%となっている。



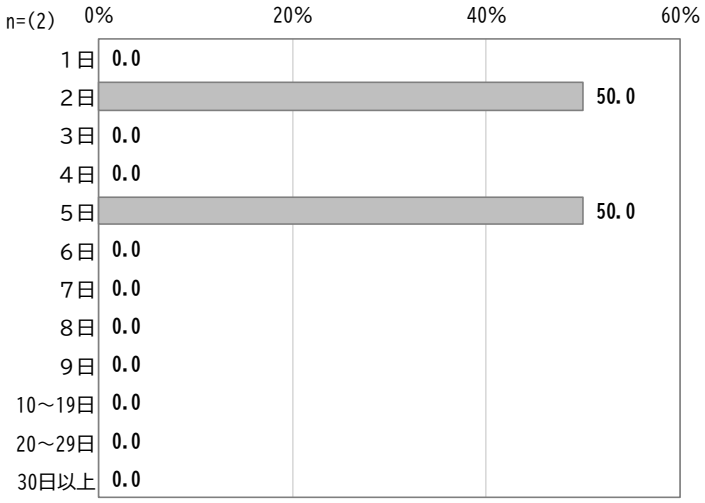
■「就労していない方がみた」日数

就労していない方がみた日数は、「10～19日」が31.5%と最も多く、次いで「30日以上」が22.2%となっている。



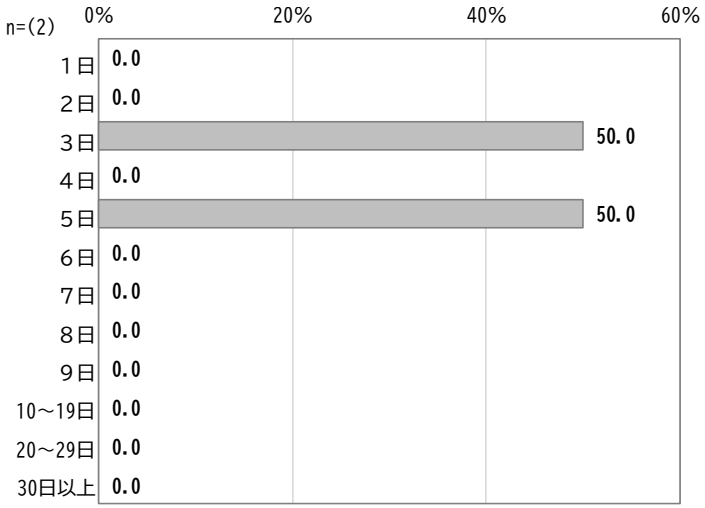
■「幼稚園・保育園等を利用した」日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。



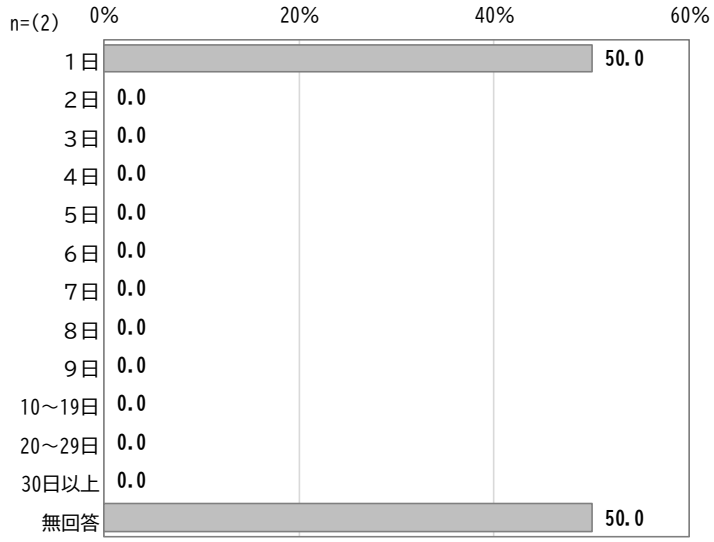
■「ファミリー・サポート・センターを利用した」日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。



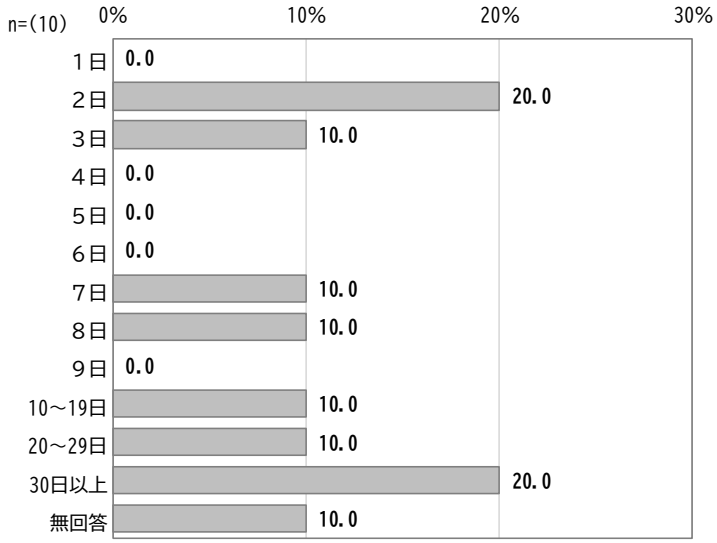
■「子どもだけで留守番をさせた」日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「その他」の方法を用いた日数

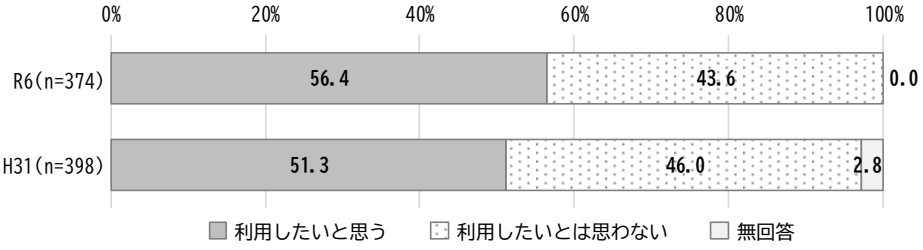
回答者数が30人以下のためコメント省略。



【問29で「1.父親が仕事を休んだ」「2.母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にうかがいます。】

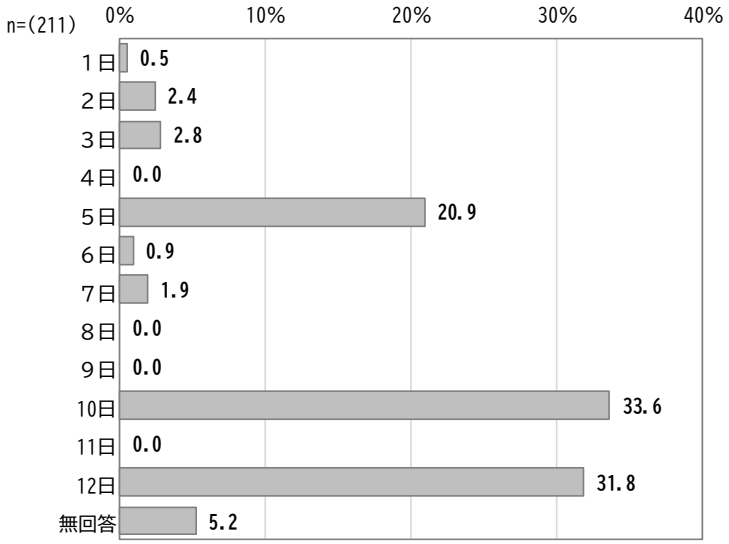
問30　「病児・病後児のための幼稚園・保育園・認定こども園等を利用したい」と思いますか。
また、利用したいと思わない場合はその理由をお答えください。
（○は1つ、□には数字1つずつ）

病児・病後児のため保育施設等に対する利用意向は、「利用したいと思う」が56.4%、「利用したいとは思わない」が43.6%となっている。



■病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数

年間の利用希望日数は、「10日」が33.6%と最も多く、次いで「12日」が31.8%となっている。



問31　これまでに、お子さんの病気やケガで幼稚園・保育園・認定こども園等を利用できなかった場合に、困ったことは何ですか。困った内容についてご記入ください。

主な記述内容は下表のとおりとなっている。

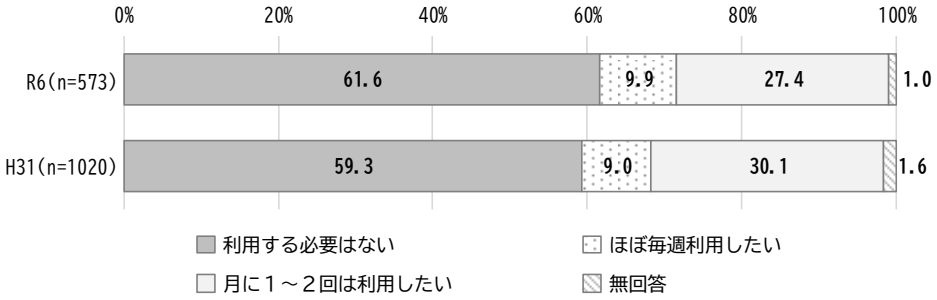
記述内容	件数
仕事を休む、職場に迷惑をかけてしまう、仕事を休めない	192
近くに頼れる親族がいない・預け先がない（病児施設希望）	36
収入が減る	25
有休がない、有休が減る	23
（母親の）体調不良が重なったとき	19
買い出しにいけない	14
すぐに子供を迎えに行けない	10
自身の親・配偶者の親（子の祖父母）を頼らざるを得ない、頼ることの不安	6
親や他のきょうだいの予定に支障が生じる	5
その他	21
合　計	351

7. お子さんの土曜と日曜・祝日や長期休暇中の施設などの利用希望について

問32　土曜と日曜・祝日に、幼稚園・保育園・認定こども園等の利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。
(○は1つ、□には数字1つずつ)

(1) 土曜

土曜日の教育･保育事業の利用意向は､「利用する必要はない」が61.6%と最も多く､次いで「月に1～2回は利用したい」が27.4%となっている。

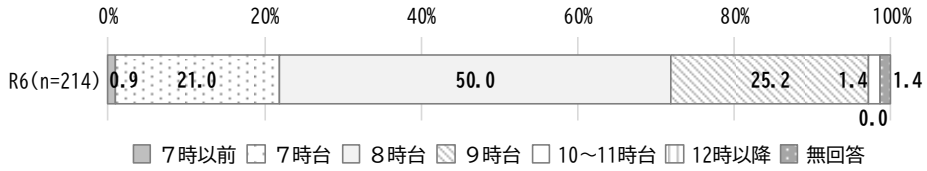


		調査数	問32（1） 土曜日の教育・保育事業の利用意向			
			利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に１～２回は利用したい	無回答
全 体		573	353	57	157	6
		100.0	61.6	9.9	27.4	1.0
問20 平日利用している教育・保育事業	幼稚園	165	110	16	37	2
		100.0	66.7	9.7	22.4	1.2
	幼稚園の預かり保育	78	49	8	20	1
		100.0	62.8	10.3	25.6	1.3
	認可保育所	60	27	9	24	－
		100.0	45.0	15.0	40.0	－
	認定こども園	373	226	35	109	3
		100.0	60.6	9.4	29.2	0.8
	小規模保育施設	11	4	3	3	1
		100.0	36.4	27.3	27.3	9.1
	事業所内保育施設	10	5	2	3	－
		100.0	50.0	20.0	30.0	－
	その他の認可外の保育施設	13	8	1	4	－
		100.0	61.5	7.7	30.8	－
	ファミリー・サポート・センター	4	3	－	1	－
		100.0	75.0	－	25.0	－
	その他	9	3	2	4	－
		100.0	33.3	22.2	44.4	－
	無回答	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－

		調査数	問32（1） 土曜日の教育・保育事業の利用意向			
			利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に１～２回は利用したい	無回答
全 体		573	353	57	157	6
		100.0	61.6	9.9	27.4	1.0
問25 定期的に利用したい教育・保育事業	幼稚園	191	127	18	44	2
		100.0	66.5	9.4	23.0	1.0
	幼稚園の預かり保育	168	103	16	46	3
		100.0	61.3	9.5	27.4	1.8
	認可保育所	94	35	18	41	－
		100.0	37.2	19.1	43.6	－
	認定こども園	374	213	43	116	2
		100.0	57.0	11.5	31.0	0.5
	小規模保育施設	20	8	6	5	1
		100.0	40.0	30.0	25.0	5.0
	事業所内保育施設	17	6	4	7	－
		100.0	35.3	23.5	41.2	－
	その他の認可外の保育施設	11	3	2	6	－
		100.0	27.3	18.2	54.5	－
	ファミリー・サポート・センター	61	25	12	23	1
		100.0	41.0	19.7	37.7	1.6
	その他	6	5	－	－	1
		100.0	83.3	－	－	16.7
	無回答	19	10	1	8	－
		100.0	52.6	5.3	42.1	－

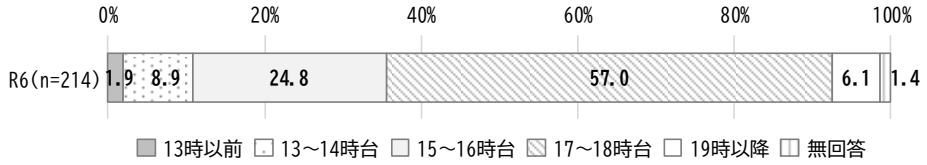
■土曜に利用したい開始時間

開始時間は、「8時台」が50.0%と最も多くなっている。



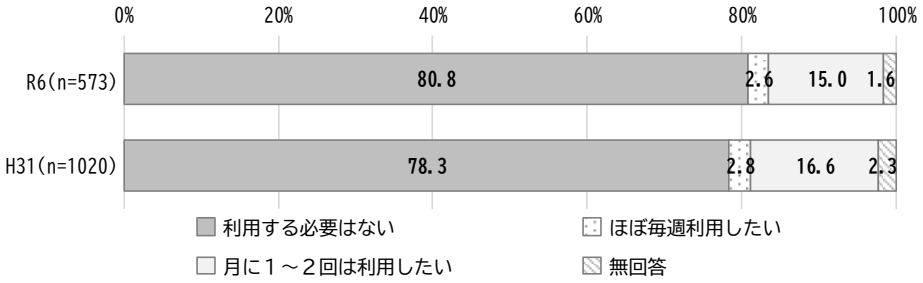
■土曜に利用したい終了時間

終了時間は、「17時～18時台」が57.0%と最も多くなっている。



（2）日曜・祝日

日曜・祝日の教育・保育事業を利用意向は、「利用する必要はない」が80.8%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が15.0%となっており、土曜に比べると利用意向が低めになっている。

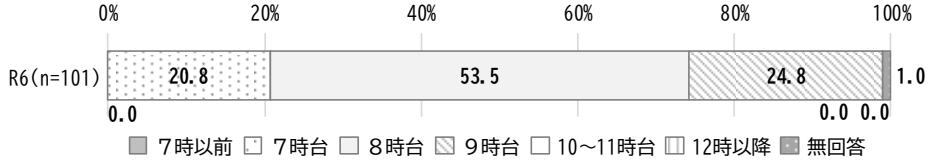


		調査数	問32（2） 日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向			
			利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に１～２回は利用したい	無回答
全 体		573	463	15	86	9
		100.0	80.8	2.6	15.0	1.6
問20 平日利用している教育・保育事業	幼稚園	165	135	4	24	2
		100.0	81.8	2.4	14.5	1.2
	幼稚園の預かり保育	78	62	2	13	1
		100.0	79.5	2.6	16.7	1.3
	認可保育所	60	45	3	11	1
		100.0	75.0	5.0	18.3	1.7
	認定こども園	373	298	9	61	5
		100.0	79.9	2.4	16.4	1.3
	小規模保育施設	11	8	－	2	1
		100.0	72.7	－	18.2	9.1
	事業所内保育施設	10	6	1	3	－
		100.0	60.0	10.0	30.0	－
	その他の認可外の保育施設	13	11	－	2	－
		100.0	84.6	－	15.4	－
	ファミリー・サポート・センター	4	4	－	－	－
		100.0	100.0	－	－	－
	その他	9	5	1	3	－
		100.0	55.6	11.1	33.3	－
	無回答	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－

		調査数	問32（2） 日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向			
			利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に１～２回は利用したい	無回答
全 体		573	463	15	86	9
		100.0	80.8	2.6	15.0	1.6
問25 定期的に利用したい教育・保育事業	幼稚園	191	159	4	25	3
		100.0	83.2	2.1	13.1	1.6
	幼稚園の預かり保育	168	136	4	24	4
		100.0	81.0	2.4	14.3	2.4
	認可保育所	94	66	7	19	2
		100.0	70.2	7.4	20.2	2.1
	認定こども園	374	294	9	66	5
		100.0	78.6	2.4	17.6	1.3
	小規模保育施設	20	13	2	4	1
		100.0	65.0	10.0	20.0	5.0
	事業所内保育施設	17	11	2	4	－
		100.0	64.7	11.8	23.5	－
	その他の認可外の保育施設	11	8	1	2	－
		100.0	72.7	9.1	18.2	－
	ファミリー・サポート・センター	61	48	3	9	1
		100.0	78.7	4.9	14.8	1.6
	その他	6	5	－	－	1
		100.0	83.3	－	－	16.7
	無回答	19	14	－	5	－
		100.0	73.7	－	26.3	－

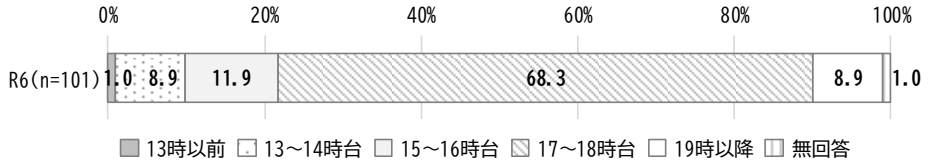
■日曜・祝日に利用したい開始時間

開始時間は、「8時台」が53.5%と最も多くなっている。



■日曜・祝日に利用したい終了時間

終了時間は、「17時～18時台」が68.3%と最も多くなっている。

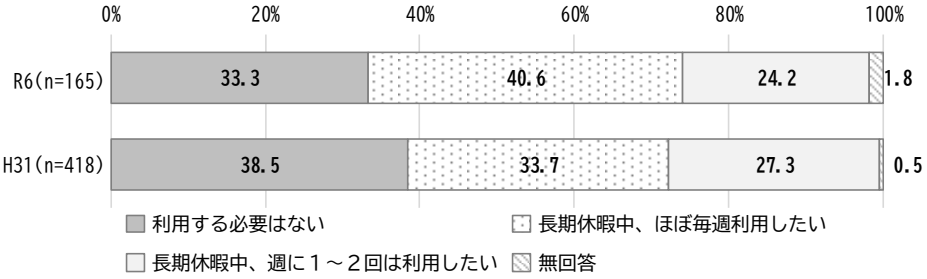


【問20で「1.幼稚園」に○をつけた方にうかがいます。】

問33　夏休みなど長期休暇中の利用を希望しますか。利用したい場合は、利用したい時間帯を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。(○は1つ、□には数字1つずつ)

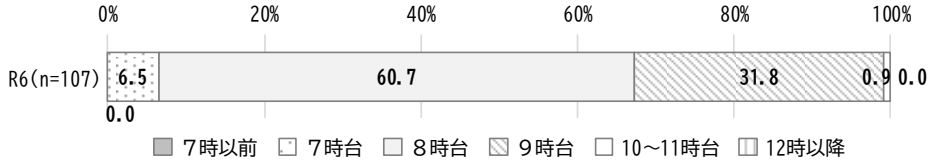
長期休暇中の教育・保育事業の利用意向は、「長期休暇中、ほぼ毎週利用したい」が40.6%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が33.3%となっている。土曜や日曜日・祝日に比べると全体的に利用意向は高くなっている。

H31年との比較において、「長期休暇中、ほぼ毎週利用したい」が6.9ポイント高くなっていることから、働いている親が増加していることにより、保育ニーズが高まっていることがうかがえる。



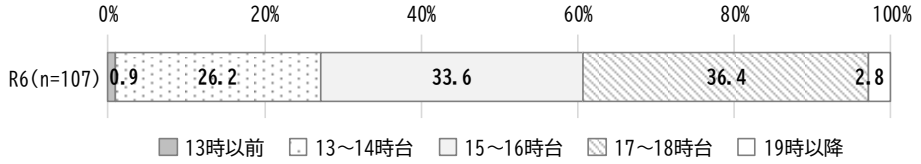
■長期休暇中に利用したい開始時間

開始時間は、「8時台」が60.7%と最も多くなっている。



■長期休暇中に利用したい終了時間

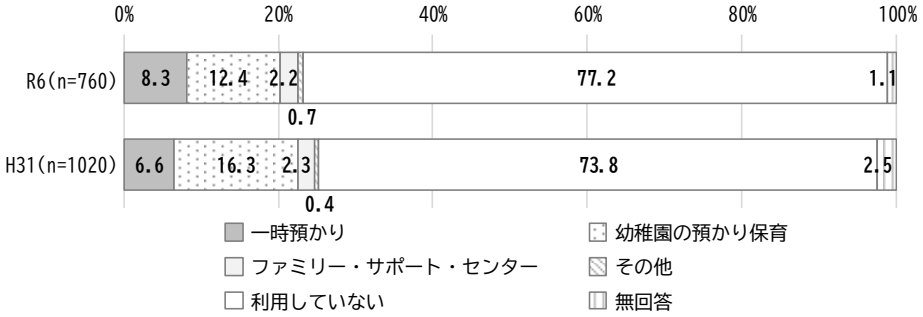
終了時間は、「17時～18時台」が36.4%、次いで「15～16時台」が33.6%となっている。



8. お子さんの一時預かり等の利用状況について

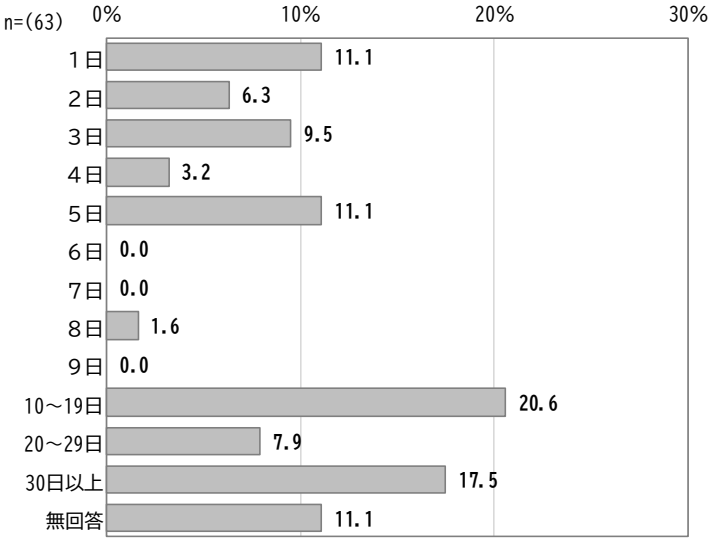
問34　この1年間に、私用や親の通院、不定期の就労等の目的で利用した事業はありますか。また、おおよその利用日数をお答えください。
（あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ）

私用等の目的で一時預かり等の利用経験は、「利用していない」が77.2%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が12.4%となっている。



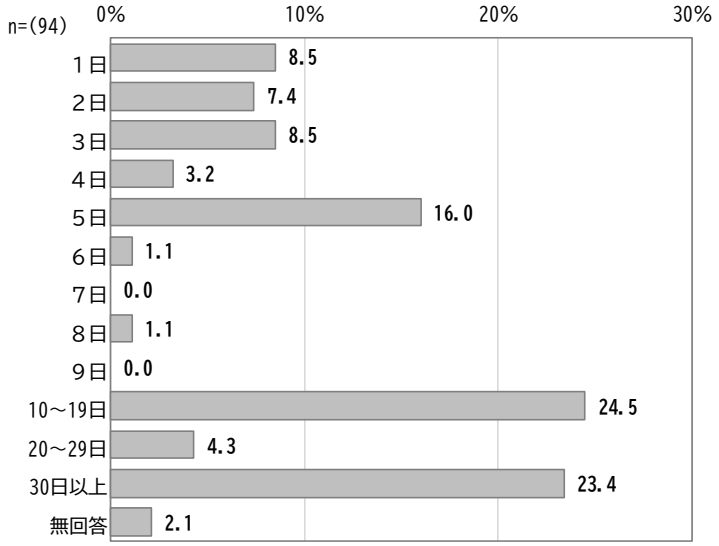
■「一時預かり」を利用した日数

利用日数は、「10～19日」が20.6%と最も多く、次いで「30日以上」が17.5%となっている。



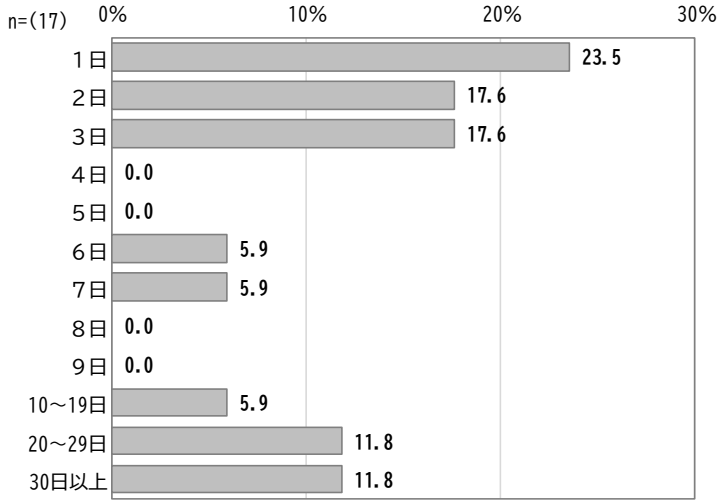
■「幼稚園の預かり保育」を利用した日数

利用日数は、「10～19日」が24.5%と最も多く、次いで「30日以上」が23.4%となっている。



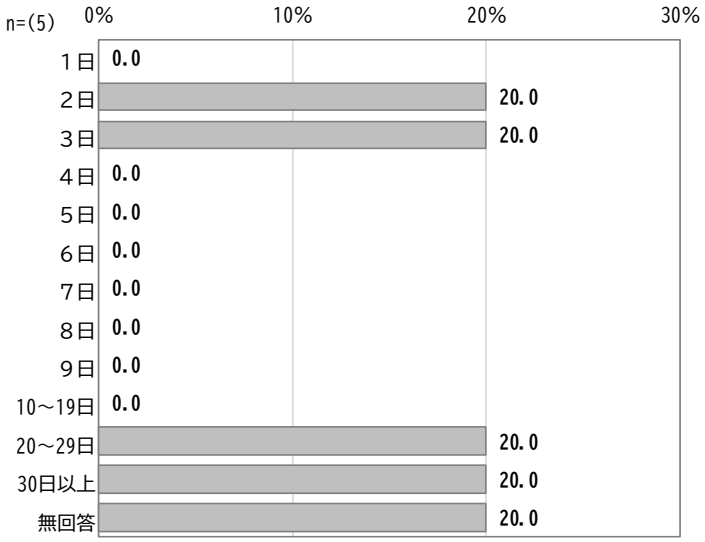
■「ファミリー・サポート・センター」を利用した日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「その他」の事業を利用した日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。

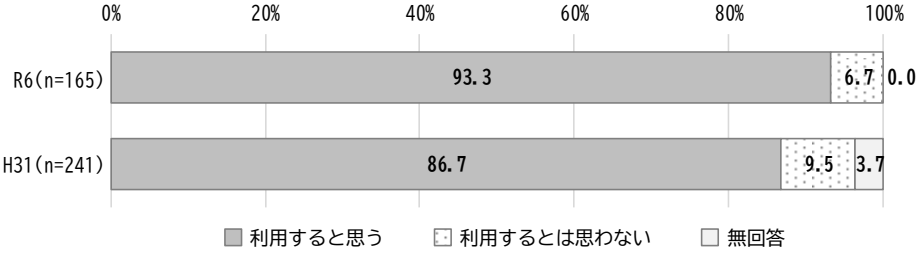


【問34で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問35　今後も利用すると思いますか。利用する場合、利用の理由とおおよその利用日数をお答えください。（あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ）

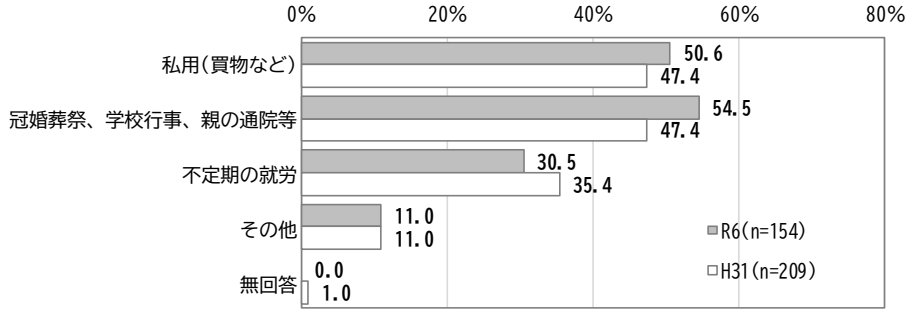
一時預かり等を利用したことがある人の今後の利用意向は、「利用すると思う」が93.3%となっている。

H31年との比較において、「利用すると思う」が6.6ポイント高くなっていることから、一時預かり事業のニーズが高まっていることがうかがえる。



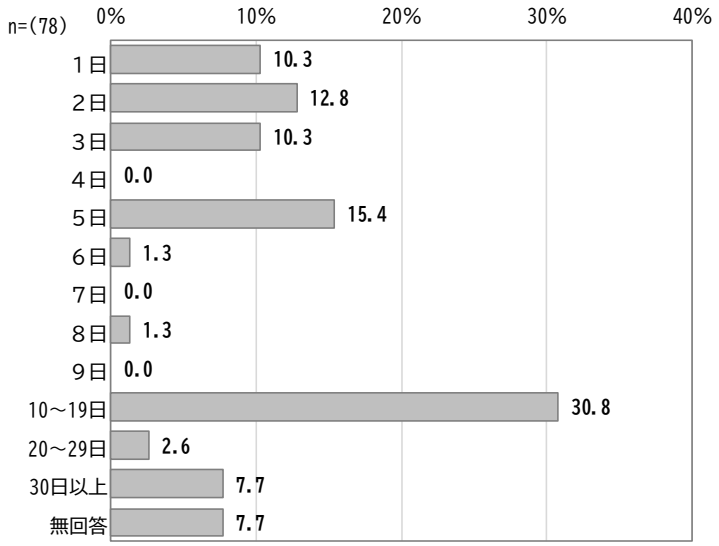
■利用する理由

一時預かり等を利用する理由は、「冠婚葬祭、学校行事、親の通院等」が54.5%と最も多く、次いで「私用（買物など）」が50.6%、「不定期の就労」が30.5%となっている。



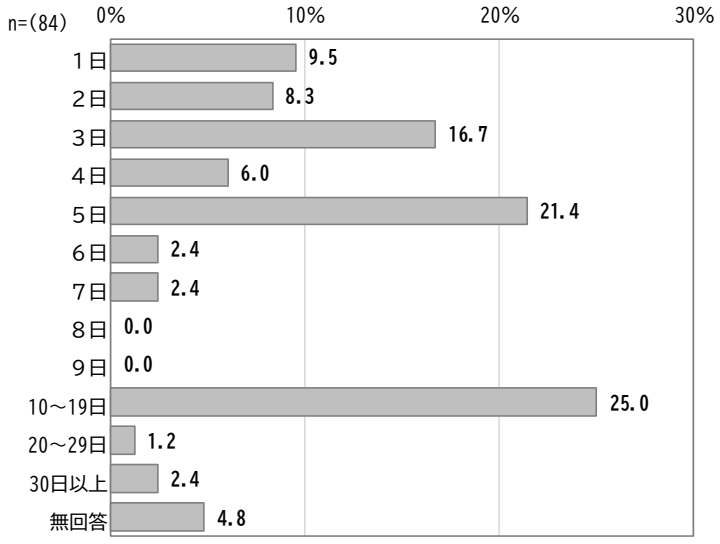
■「私用」のために利用したい日数

利用希望日数は、「10～19日」が30.8%と最も多く、次いで「5日」が15.4%、「2日」が12.8%となっている。



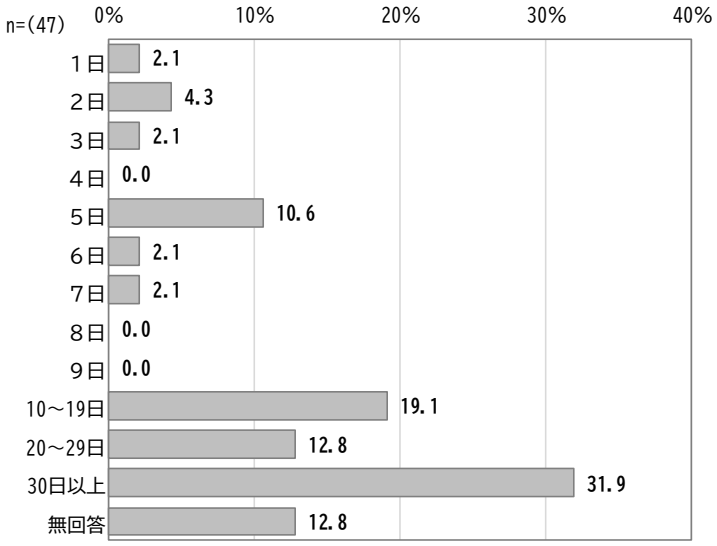
■「冠婚葬祭、学校行事、親の通院等」のために利用したい日数

利用希望日数は、「10～19日」が25.0%と最も多く、次いで「5日」が21.4%、「3日」が16.7%となっている。



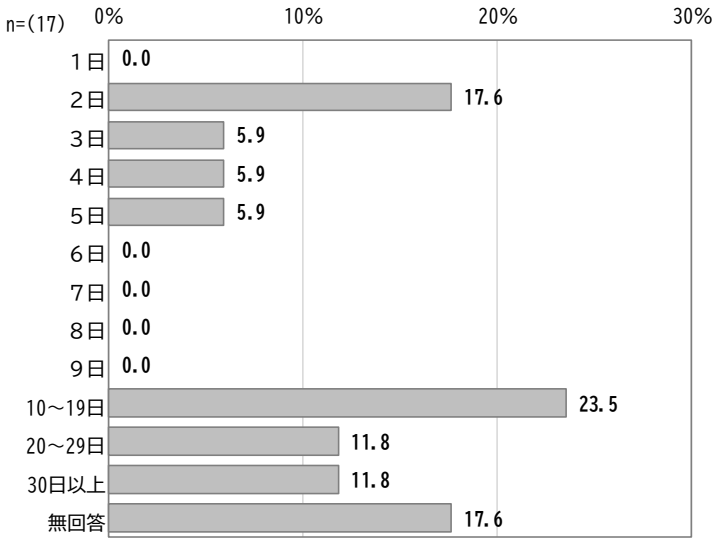
■「不定期の就労」のために利用したい日数

利用希望日数は、「30日以上」が31.9%と最も多く、「10～19日」が19.1%となっている。



■「その他」の理由のために利用したい日数

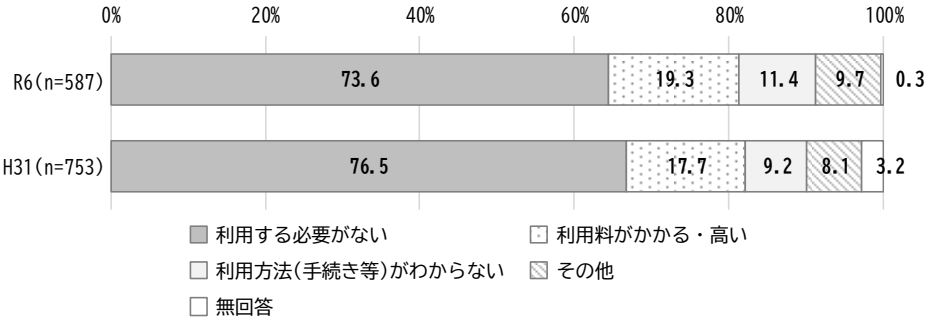
回答者数が30人以下のためコメント省略。



【問34で「5.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

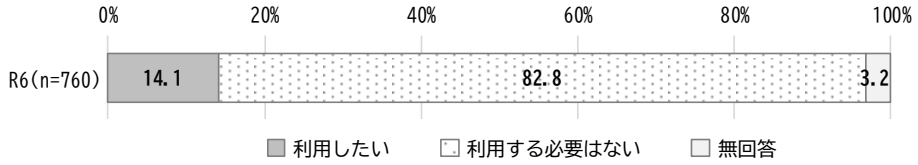
問36　利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

利用していない理由は、「利用する必要がない」が73.6%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が19.3%、「利用方法（手続き等）がわからない」が11.4%となっている。



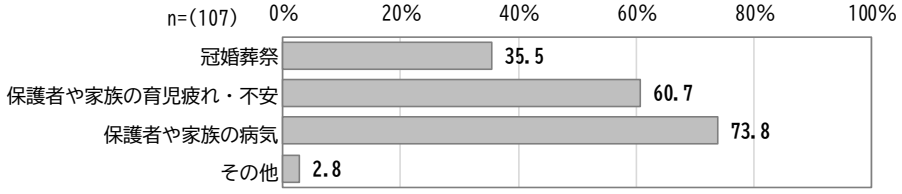
問37　宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、子育て支援短期利用事業（ショートステイ：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望はありますか。利用したい場合、目的別の内訳の泊数もお答えください。
なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。
（あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ）

保護者の用事等で子育て支援短期利用事業の利用意向については、「利用する必要はない」が82.8%、「利用したい」が14.1%となっている。



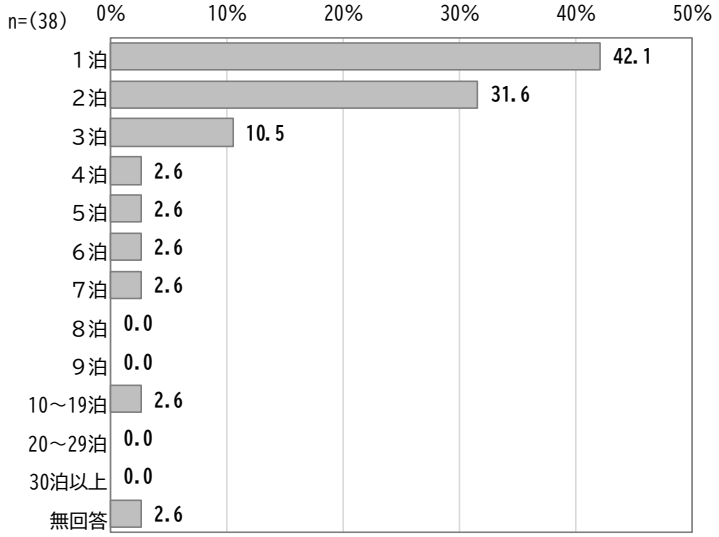
■「利用したい」と回答した方の利用の目的

利用の目的は、「保護者や家族の病気」が73.8%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が60.7%、「冠婚葬祭」が35.5%となっている。



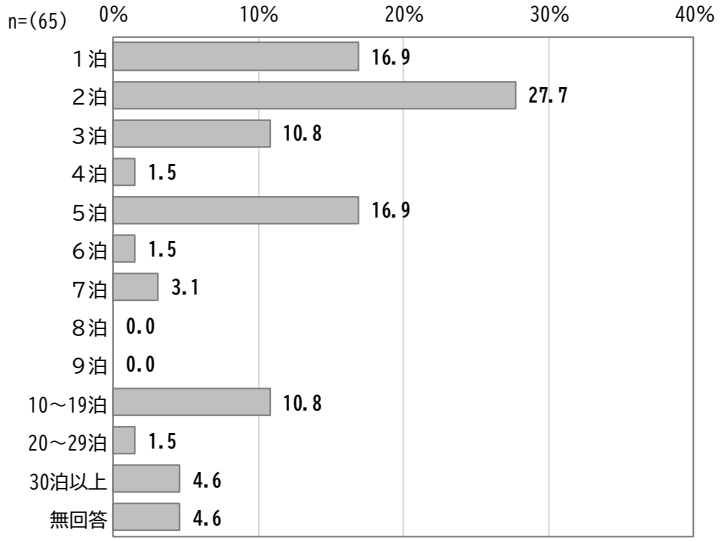
■「冠婚葬祭」のために利用したい日数

利用希望日数は、「1泊」が42.1%と最も多く、次いで「2泊」が31.6%、「3泊」が10.5%となっている。



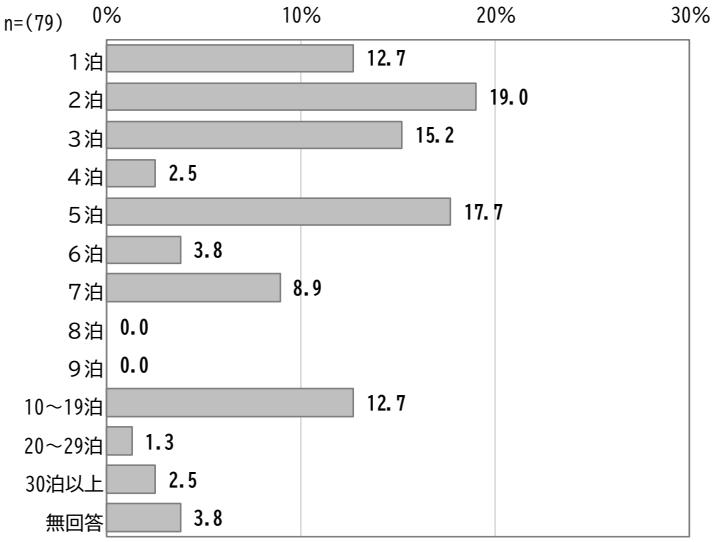
■「保護者や家族の育児疲れ・不安」のために利用したい日数

利用希望日数は、「2泊」が27.7と最も多く、次いで「1泊」「5泊」がそれぞれ16.9%となっている。



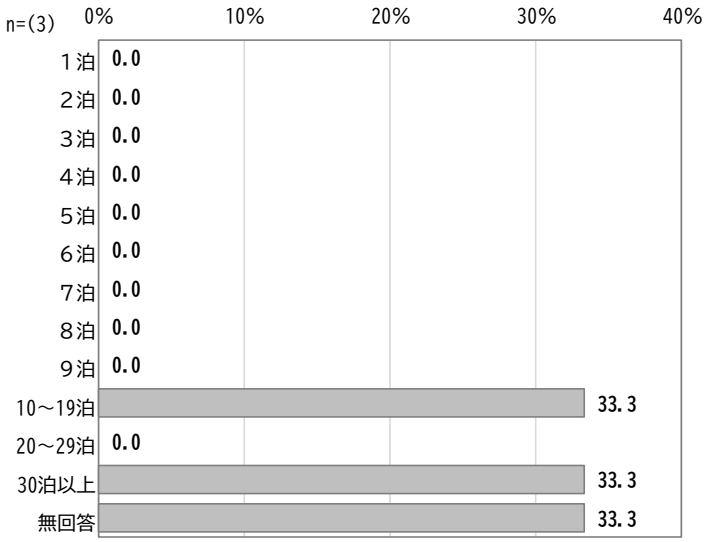
■「保護者や家族の病気」のために利用したい日数

利用希望日数は、「2泊」が19.0%と最も多く、次いで「5泊」が17.7%、「3泊」が15.2%となっている。



■「その他」の理由のために利用したい日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。

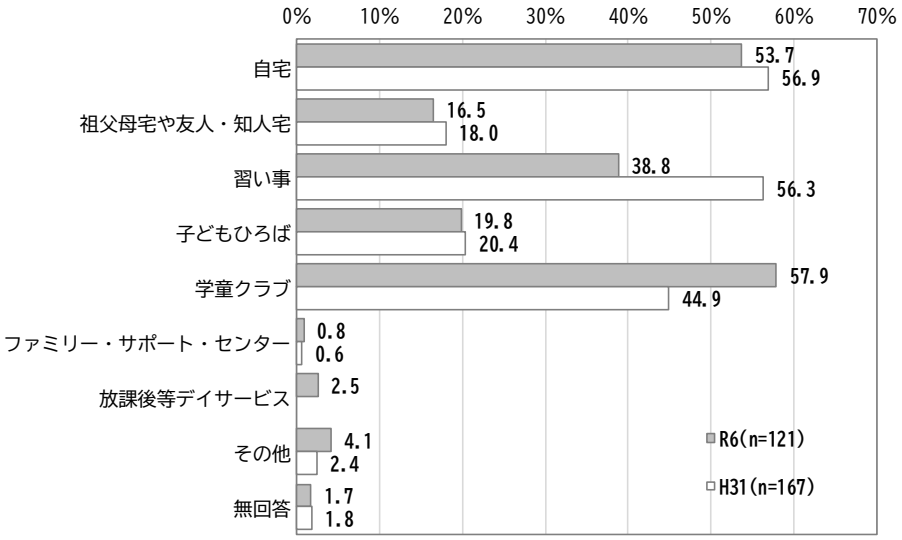


9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問38　小学校低学年(1～3年生)では、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ週あたりの日数や時間についてお答えください。(あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ)

低学年時における過ごし方は、「学童クラブ」が57.9%と最も多く、次いで「自宅」が53.7%、「習い事」が38.8%となっている。

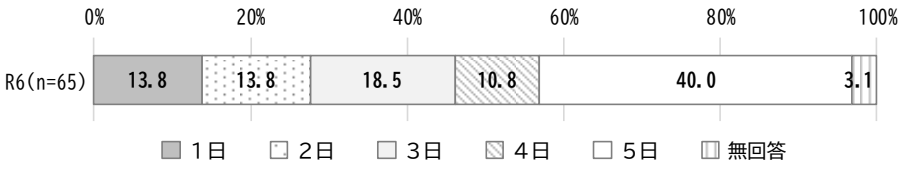
H31年との比較において、「学童クラブ」が13.0ポイント高くなっており、共働き家庭の増加とともに、学童クラブのニーズが高まっていることがうかがえる。また、「習い事」が17.5ポイント低くなっている。



※選択肢追加のため、H31の「放課後等デイサービス」は記載なし

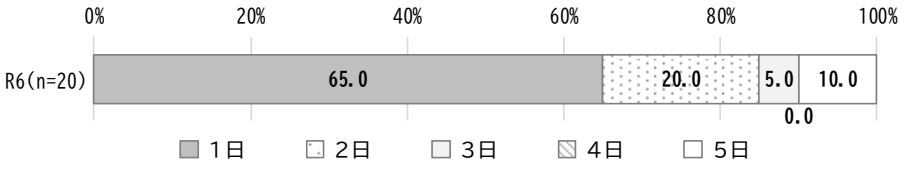
■「自宅」で利用したい日数

自宅の利用希望日数は、「5日」が40.0%と最も多くなっている。



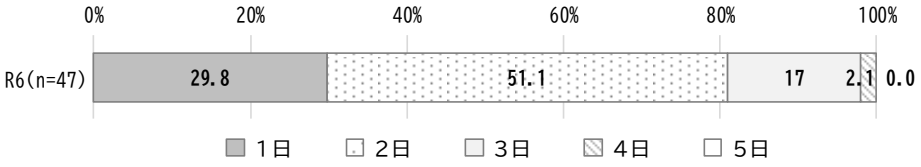
■「祖父母宅や友人・知人宅」で利用したい日数

祖父母宅や友人・知人宅の利用希望日数は、「1日」が65.0%と最も多くなっている。



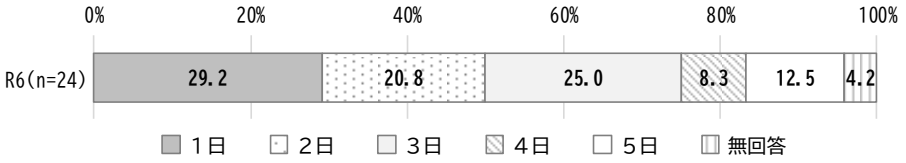
■「習い事」で利用したい日数

習い事の利用希望日数は、「2日」が51.1%と最も多くなっている。



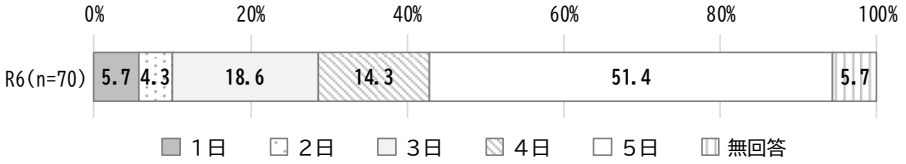
■「子どもひろば」で利用したい日数

子どもひろばの利用希望日数は、「1日」が29.2%と最も多くなっている。



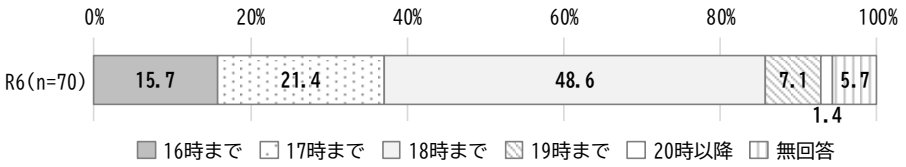
■「学童クラブ」で利用したい日数

学童クラブの利用希望日数は、「5日」が51.4%と最も多くなっている。



■「学童クラブ」で利用したい終了時間

学童クラブの利用終了時間は、「18時まで」が48.6%と最も多くなっている。

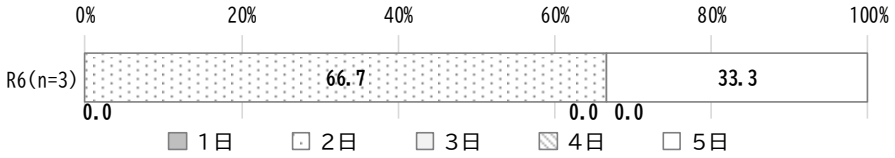


■「ファミリー・サポート・センター」で利用したい日数

ファミリー・サポート・センターの利用希望日数は、回答者1名が「2日」と回答している。

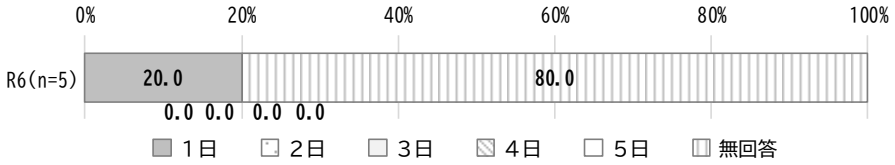
■「放課後等デイサービス」で利用したい日数

回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「その他」の方法で利用したい日数

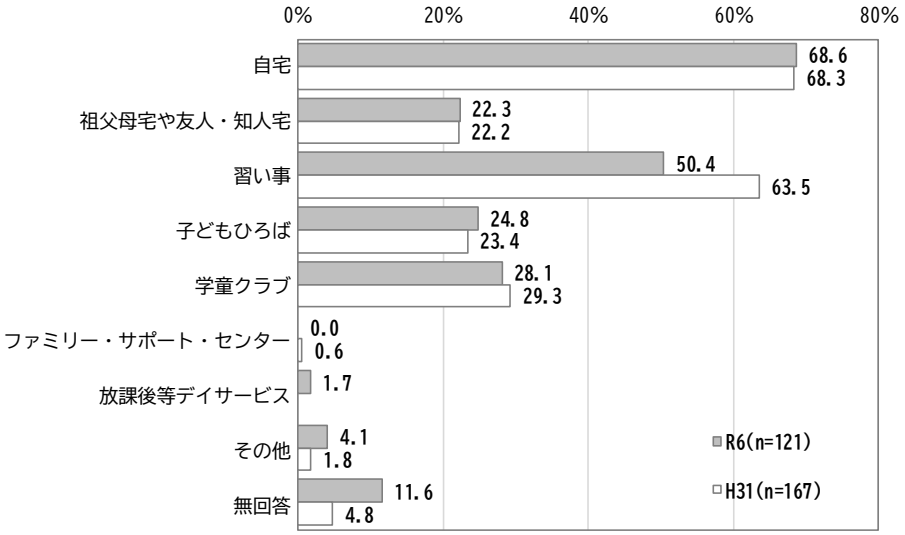
回答者数が30人以下のためコメント省略。



問39　小学校高学年(4～6年生)では、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ週あたりの日数や時間についてお答えください。(あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ)

高学年時における過ごし方は、「自宅」が68.6%と最も多く、次いで「習い事」が50.4%、「学童クラブ」が28.1%となっている。

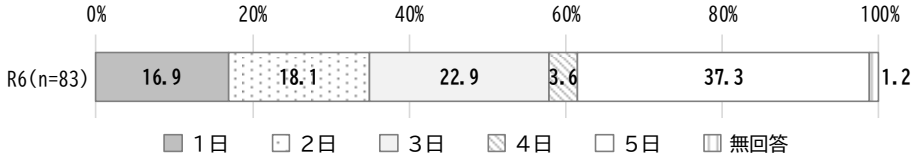
H31年との比較において、「習い事」が13.1ポイント低くなっている。また、問38の結果と合わせてみると、高学年になってから習い事をさせたいと考えていることがうかがえる。



※選択肢追加のため、H31の「放課後等デイサービス」は記載なし

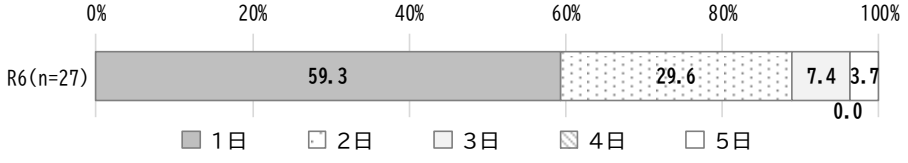
■「自宅」で利用したい日数

自宅の利用希望日数は、「5日」が37.3%と最も多くなっている。



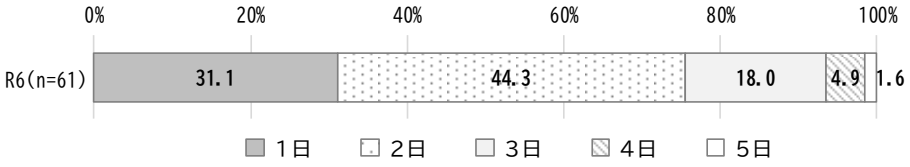
■「祖父母宅や友人・知人宅」で利用したい日数

祖父母宅や友人・知人宅の利用希望日数は、「1日」が59.3%と最も多くなっている。



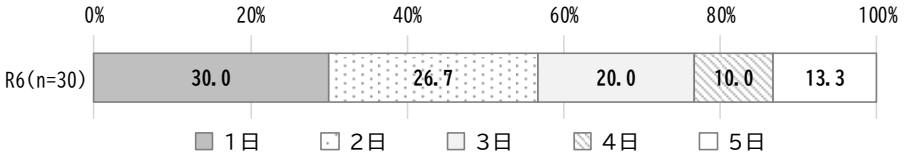
■「習い事」で利用したい日数

習い事の利用希望日数は、「2日」が44.3%と最も多くなっている。



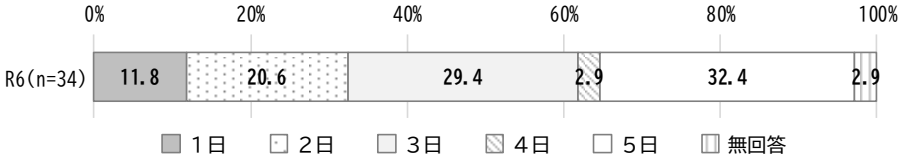
■「子どもひろば」で利用したい日数

子どもひろばの利用希望日数は、「1日」が30.0%と最も多くなっている。



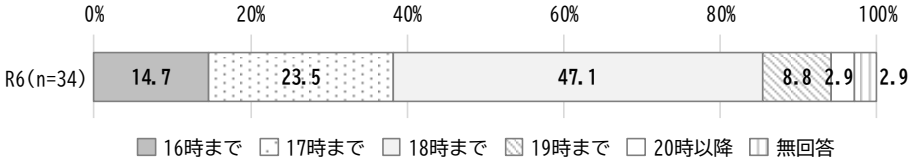
■「学童クラブ」で利用したい日数

学童クラブの利用希望日数は、「5日」が32.4%と最も多くなっている。



■「学童クラブ」で利用したい終了時間

学童クラブの利用終了時間は、「18時まで」が最も多く47.1%となっている。



■「ファミリー・サポート・センター」で利用したい日数

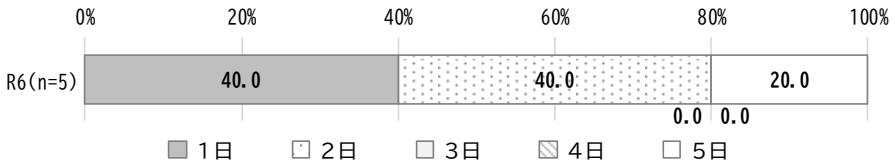
該当者なし

■「放課後等デイサービス」で利用したい日数

回答者2人がそれぞれ「2日」「5日」と回答している。

■「その他」の方法で利用したい日数

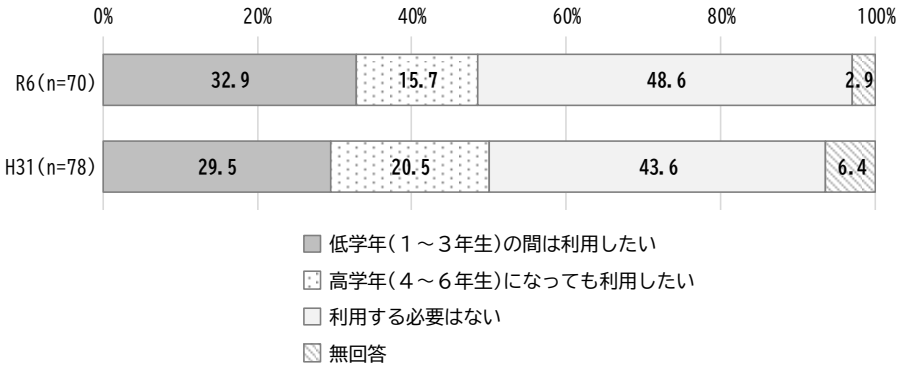
回答者数が30人以下のためコメント省略。



【問38または問39で「5.学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。】

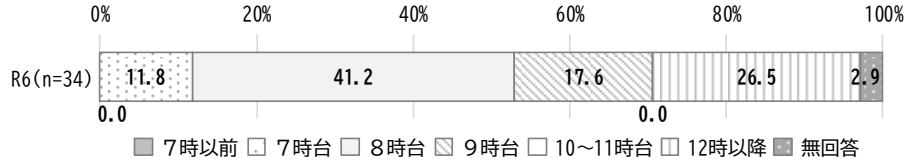
問40　土曜に学童クラブの利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。(○は1つ、□には数字1つずつ)

土曜の学童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が48.6%、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が32.9%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が15.7%となっている。



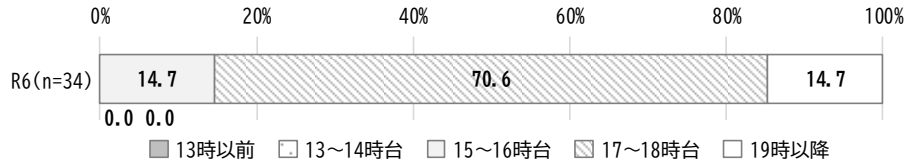
■土曜の学童クラブの利用したい開始時間

利用開始時間は、「8時台」が41.2%と最も多くなっている。



■土曜の学童クラブの利用したい終了時間

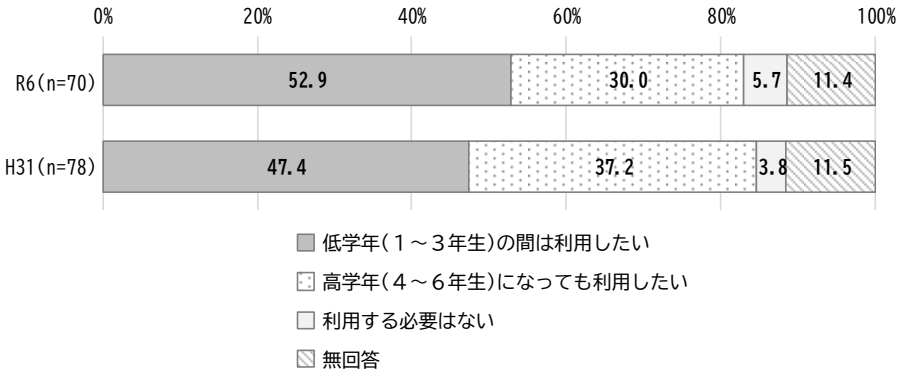
利用終了時間は、「17～18時台」が70.6%と最も多くなっている。



【問38または問39で「5.学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。】

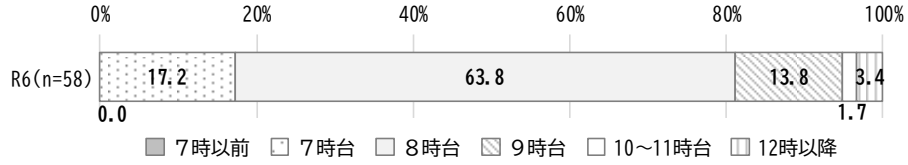
問41　夏休みなど長期休暇中に学童クラブの利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。
(○は1つ、□には数字1つずつ)

長期休暇中の学童クラブの利用意向は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が52.9%、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が30.0%となっている。土曜日に比べて利用希望が多く、また、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が半数以上となっていることから、長期休暇中の学童クラブの利用について検討の必要があると考えられる。



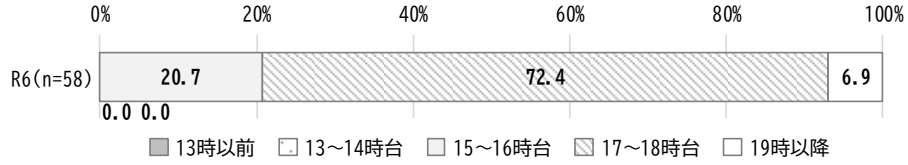
■長期休暇中の学童クラブの利用したい開始時間

利用開始時間は、「8時台」が63.8%と最も多くなっている。



■長期休暇中の学童クラブの利用したい終了時間

利用終了時間は、「17～18時台」が72.4%と最も多くなっている。



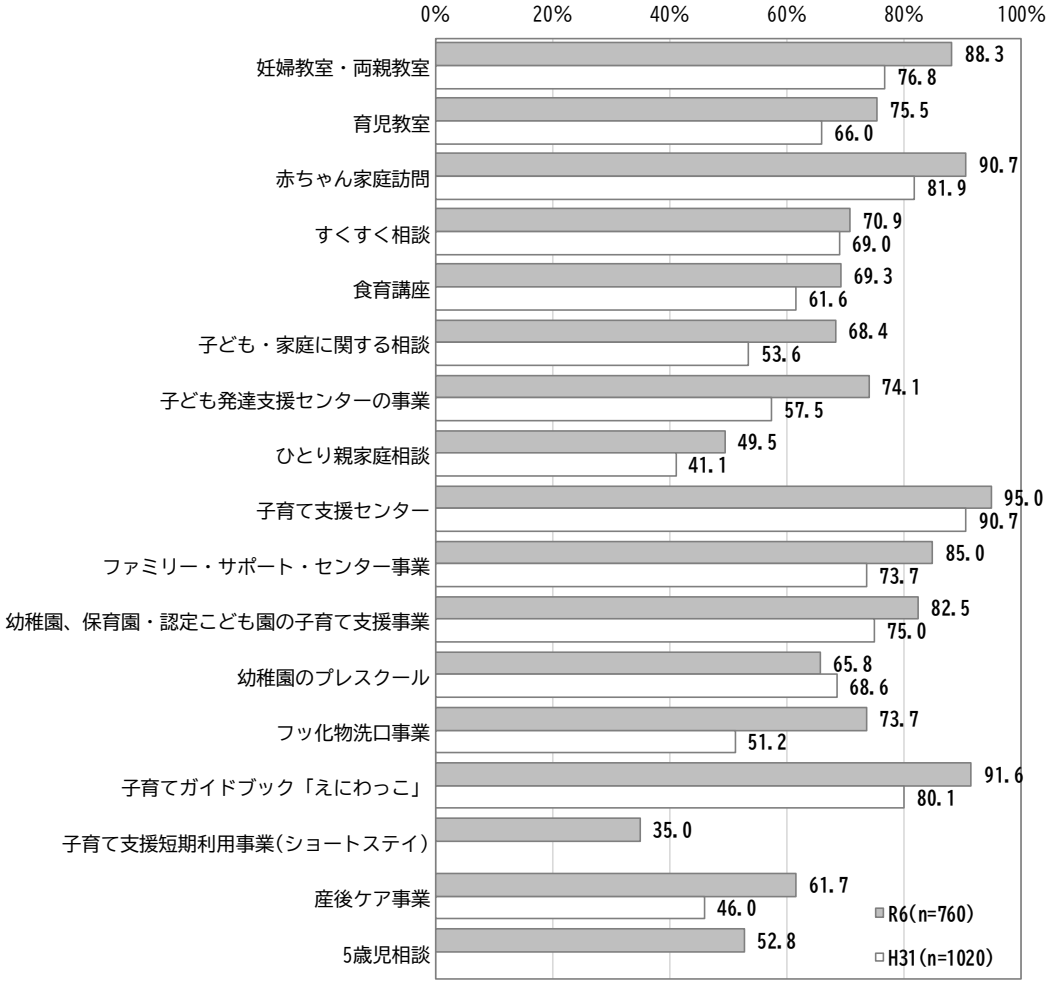
10. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問42　下記の事業について、「知っている」「これまでに利用したことがある」「今後利用したい」の項目ごとにお答えください。（それぞれ○は1つ）

■知っている【認知度】

子育て支援事業の認知状況は、「子育て支援センター」が95.0%と最も多く、次いで「子育てガイドブック「えにわっこ」」が91.6%、「赤ちゃん家庭訪問」が90.7%となっている。

H31年と比較すると、「フッ化物洗口事業」が22.5ポイント、「子ども発達支援センターの事業」が16.6ポイント高くなっている。

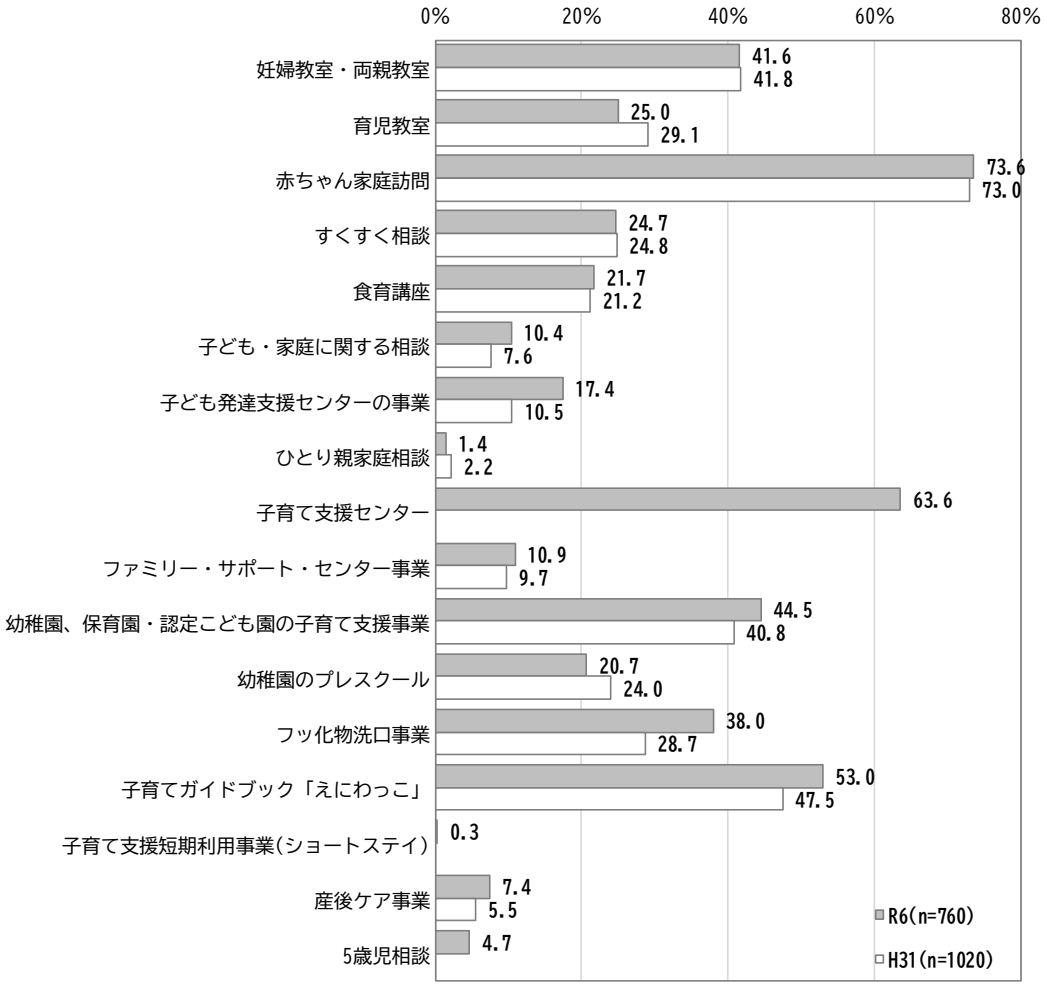


※選択肢追加のため、H31の「子育て支援短期利用事業(ショートステイ)」「5歳児相談」は記載なし

■これまでに利用したことがある【利用経験】

子育て支援事業の利用経験は、「赤ちゃん家庭訪問」が73.6％と最も多く、次いで「子育て支援センター」が63.6％、「子育てガイドブック「えにわっこ」」が53.0％となっている。

H31年と比較すると、「フッ化物洗口事業」が9.3ポイント高くなっており、「育児教室」が4.1ポイント低くなっている。

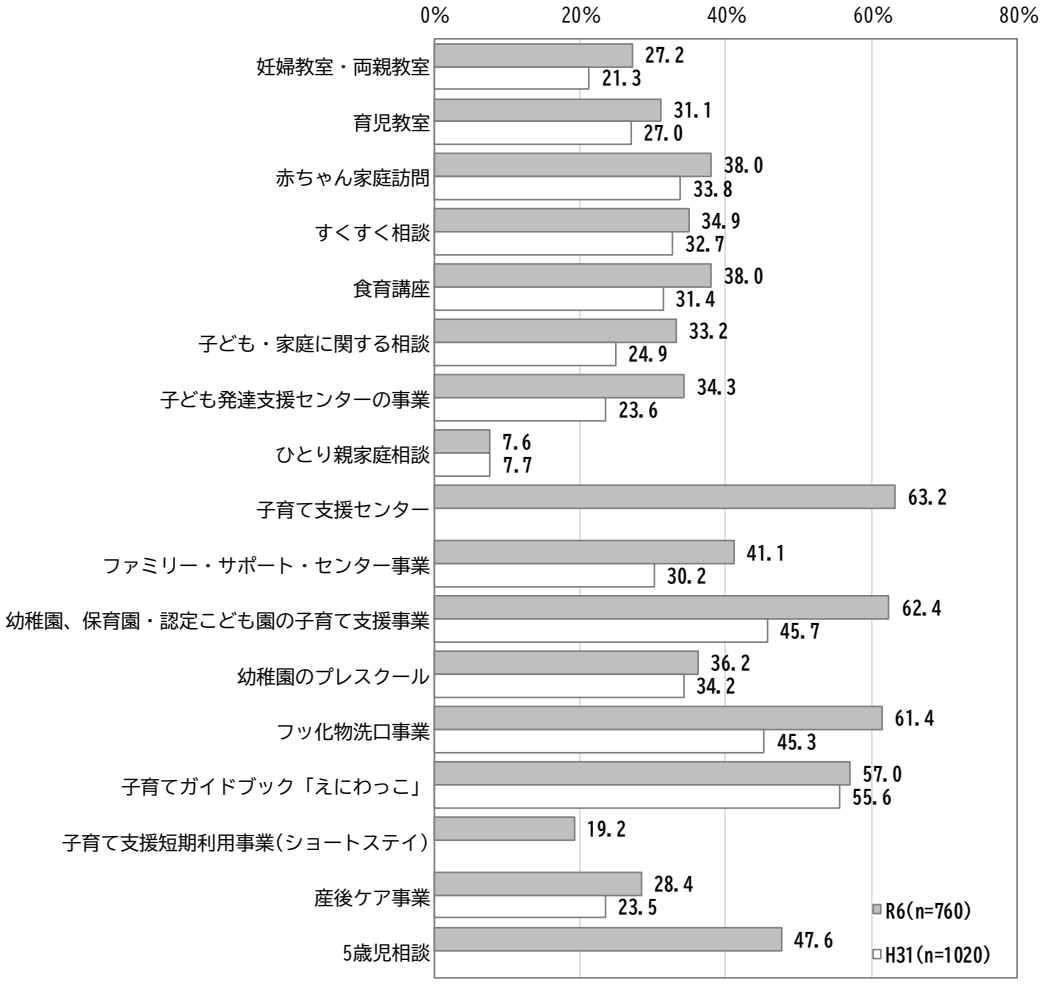


※選択肢追加のため、H31の「子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」「5歳児相談」は記載なし
※H31の「子育て支援センター」は比較不可のため記載なし

■今後利用したい【利用意向】

子育て支援事業の利用意向は、「子育て支援センター」が63.2%と最も多く、次いで「幼稚園、保育園・認定こども園の子育て支援事業」が62.4%、「フッ化物洗口事業」が61.4%となっている。

H31年との比較において、「幼稚園、保育園・認定こども園の子育て支援事業」が16.7ポイント高くなっており、子育て支援事業のニーズが高まっていることがうかがえる。

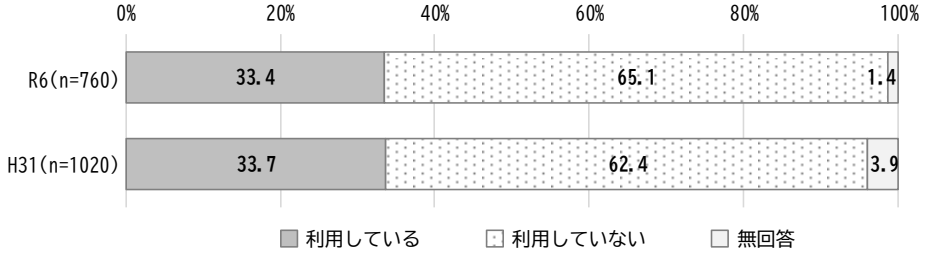


※選択肢追加のため、H31の「子育て支援短期利用事業(ショートステイ)」「5歳児相談」は記載なし
※H31の「子育て支援センター」は比較不可のため記載なし

問43　子育て支援センター等の利用状況についてお答えください。利用している場合は、日数または回数もお答えください。（○は1つ、□には数字1つずつ）

子育て支援センター等の利用状況は、「利用していない」が65.1%、「利用している」が33.4%となっている。

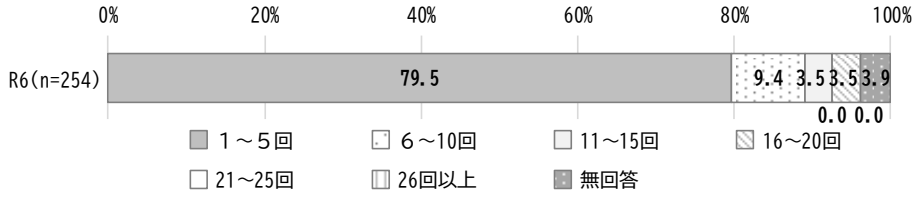
年齢別にみると、0歳で「利用している」が全体と比較して8.9ポイント高くなっている。



		調査数	問43　子育て支援センター等の利用状況		
			利用している	利用していない	無回答
全 体		760	254	495	11
		100.0	33.4	65.1	1.4
問1 年齢	0歳	130	55	75	－
		100.0	42.3	57.7	－
	1歳	145	58	85	2
		100.0	40.0	58.6	1.4
	2歳	112	41	68	3
		100.0	36.6	60.7	2.7
	3歳	109	37	71	1
		100.0	33.9	65.1	0.9
	4歳	129	31	96	2
		100.0	24.0	74.4	1.6
	5歳	119	29	88	2
		100.0	24.4	73.9	1.7
	6歳	2	－	2	－
		100.0	－	100.0	－

■「利用している」と回答した方の子育て支援センター等の1ヶ月当たりの利用回数

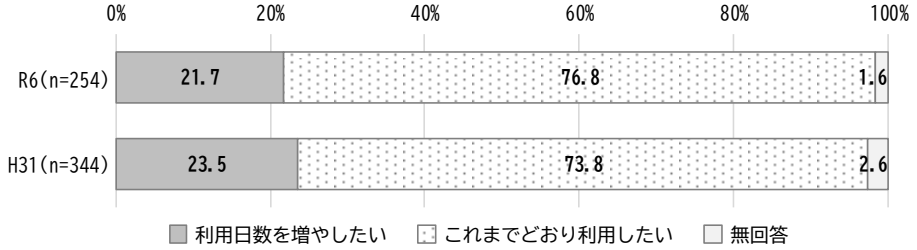
1ヶ月当たりの利用回数は、「1回～5回」が79.5%と最も多くなっている。



【問43で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。】

問44　今後利用日数を増やしたいと思いますか。増やしたい場合は、日数または回数もお答えください。（○は1つ、□には数字1つずつ）

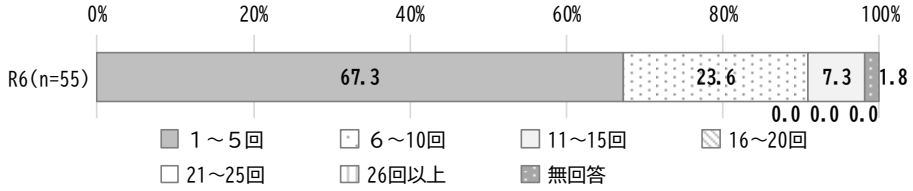
今利用日数を増やしたいと思うかは、「これまでどおり利用したい」が76.8%と最も多く、次いで「利用日数を増やしたい」が21.7%となっている。



		調査数	問44　【利用している】子育て支援センター等の今後の利用意向		
			利用日数を増やしたい	これまでどおり利用したい	無回答
全 体		254	55	195	4
		100.0	21.7	76.8	1.6
問1 年齢	0歳	55	16	39	－
		100.0	29.1	70.9	－
	1歳	58	16	42	－
		100.0	27.6	72.4	－
	2歳	41	10	31	－
		100.0	24.4	75.6	－
	3歳	37	3	33	1
		100.0	8.1	89.2	2.7
	4歳	31	6	24	1
		100.0	19.4	77.4	3.2
	5歳	29	3	25	1
		100.0	10.3	86.2	3.4
	6歳	－	－	－	－
		－	－	－	－

■「利用日数を増やしたい」と回答した方の子育て支援センター等の1ヶ月当たりの利用希望回数

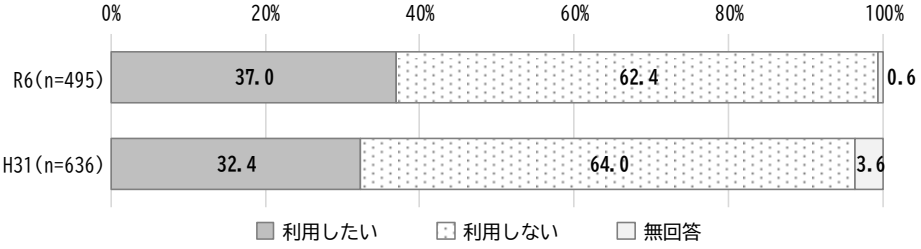
1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1～5回」が67.3%と最も多くなっている。



【問43で「2.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

問45　今後利用したいと思いますか。利用したい場合は、日数または回数もお答えください。
（○は1つ、□には数字1つずつ）

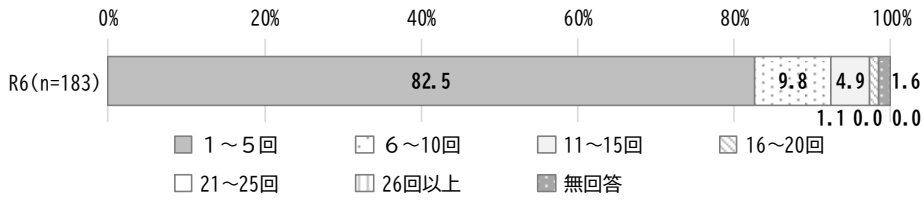
今後利用したいと思うかは、「利用しない」が62.4％と最も多く、次いで「利用したい」が37.0％となっている。



		調査数	問45　【利用していない】子育て支援センター等の今後の利用意向		
			利用したい	利用しない	無回答
全 体		495	183	309	3
		100.0	37.0	62.4	0.6
問1 年齢	0歳	75	50	25	－
		100.0	66.7	33.3	－
	1歳	85	37	48	－
		100.0	43.5	56.5	－
	2歳	68	21	47	－
		100.0	30.9	69.1	－
	3歳	71	29	42	－
		100.0	40.8	59.2	－
	4歳	96	29	65	2
		100.0	30.2	67.7	2.1
	5歳	88	16	71	1
		100.0	18.2	80.7	1.1
	6歳	2	－	2	－
		100.0	－	100.0	－

■「利用したい」と回答した方の子育て支援センター等の1ヶ月当たりの利用希望回数

1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1～5回」が82.5％と最も多くなっている。



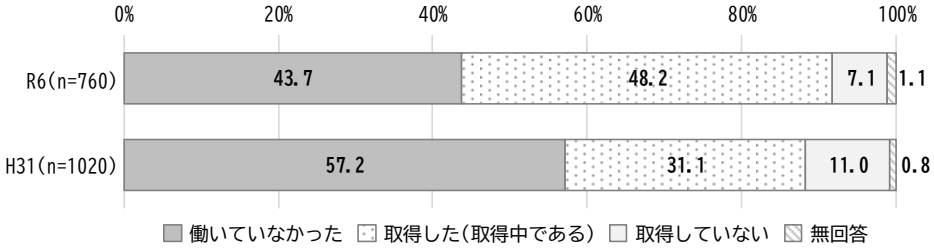
11. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

問46　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

■母親

母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が48.2%と最も多く、次いで「働いていなかった」が43.7%、「取得していない」が7.1%となっている。

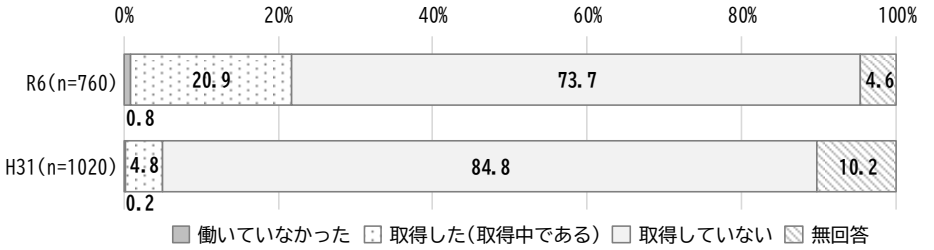
H31年との比較において、「取得した（取得中である）」が17.1ポイント高くなっており、働き方が多様となったことなどから、育児休業を取得しやすく変化したことがうかがえる。



■父親

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が73.7%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が20.9%となっている。

H31年との比較において、「取得した（取得中である）」が16.1ポイント高くなっており、育児休業等の取得状況の公表の義務付けなどによる企業側の意識の変化と、男性の家事・育児参画についての本人や周囲の意識の変化がうかがえる。



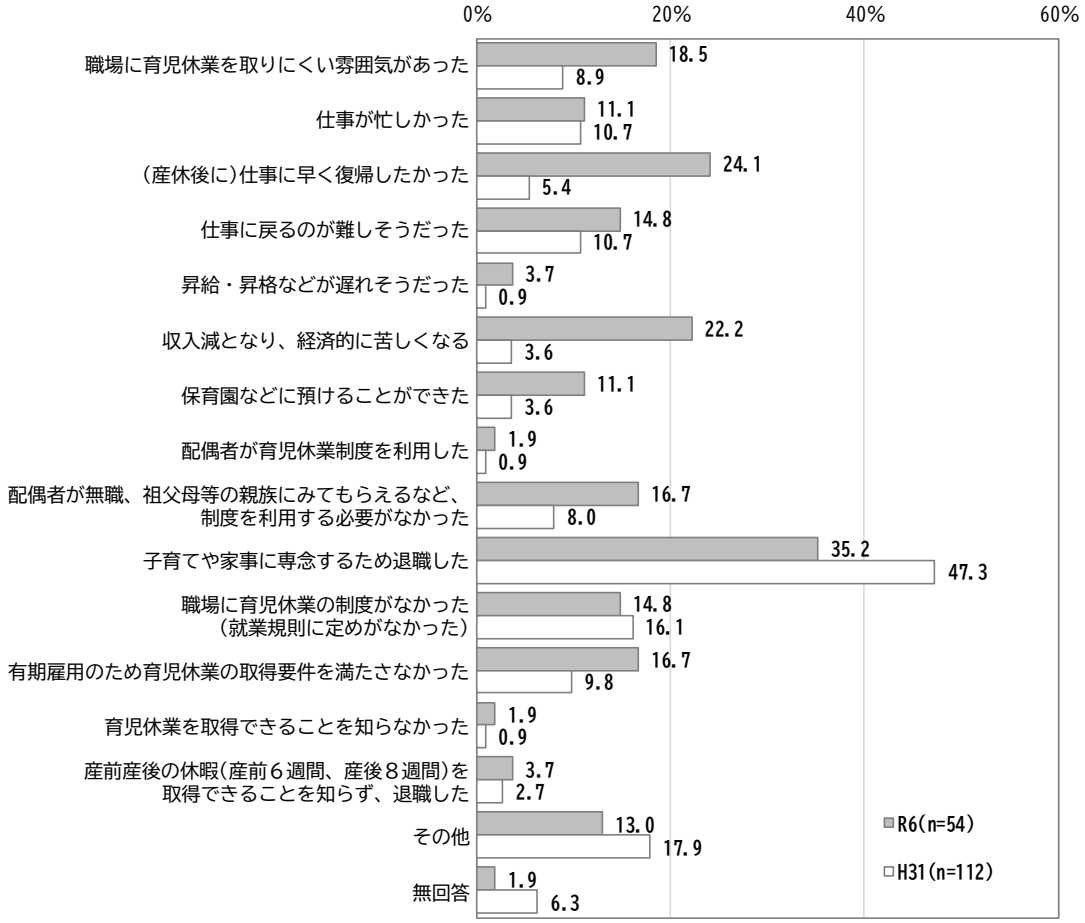
【問46で「3.取得していない」に○をつけた方にうかがいます。】

問47　取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについてお答えください。
（それぞれあてはまるものすべてに○）

■母親

母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.2%と最も多く、次いで「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が24.1%となっている。

H31年との比較において、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」が18.7ポイント高く、「子育てや家事に専念するため退職した」が12.1ポイント低くなっていることについて、問14の『フルタイム勤務』が13.5ポイント高くなっていることから、出産退職によるキャリアの中断をせずに就労を継続している母親が増加していることがうかがえる。

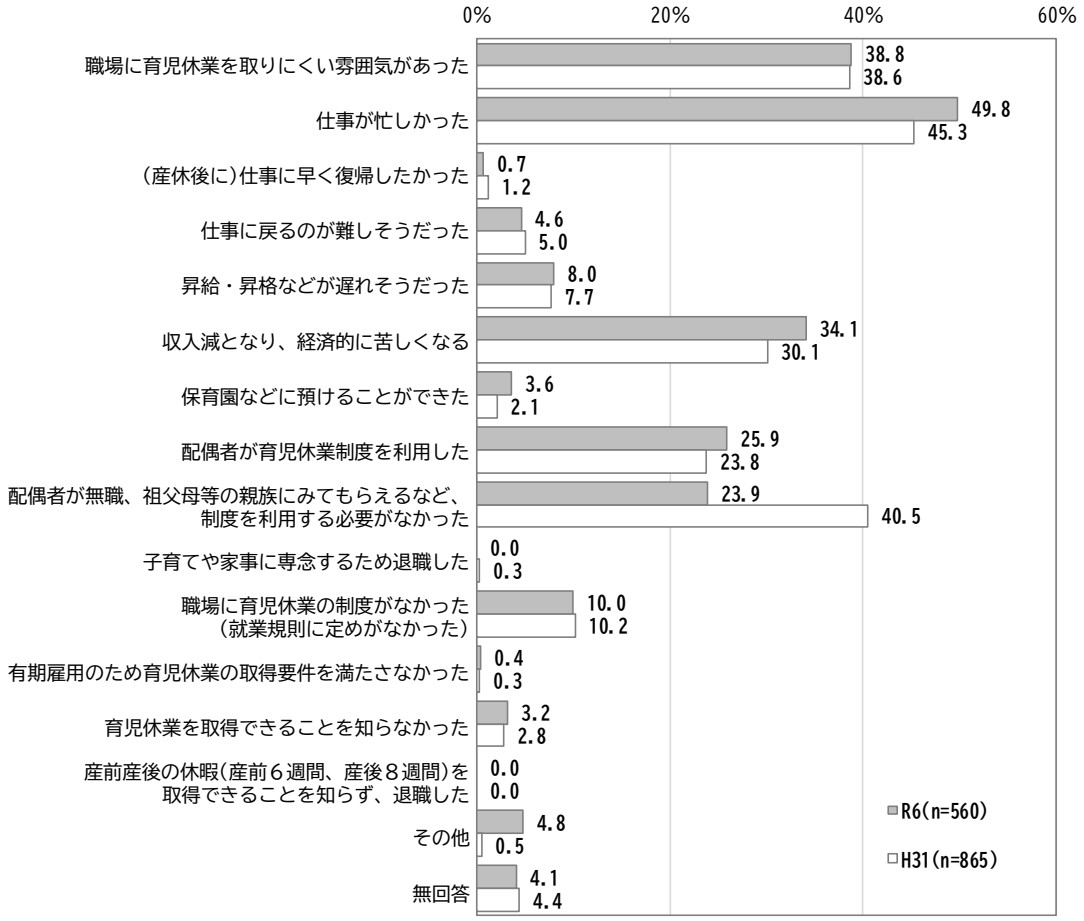


■父親

父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が49.8%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が34.1%となっている。

H31年との比較において、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が16.6ポイント低くなっていることから、共働き家庭の増加や核家族化の進行がうかがえる。

また、問46からみる育児休業の取得状況は高まっているものの、父親の仕事と子育ての両立を支援する取組が必要であると考えられる。

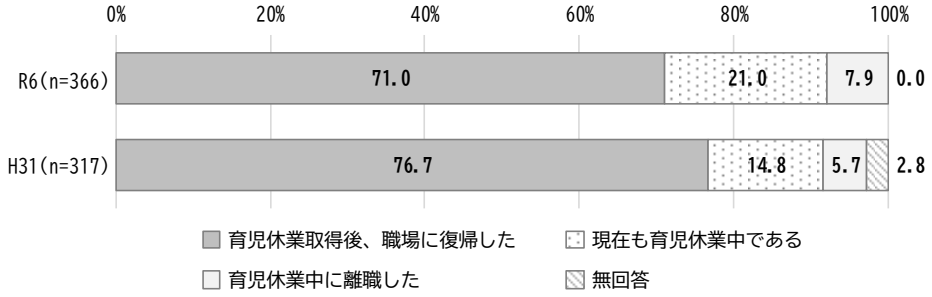


【問46で「2.取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。】

問48　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。
（それぞれ○は1つ）

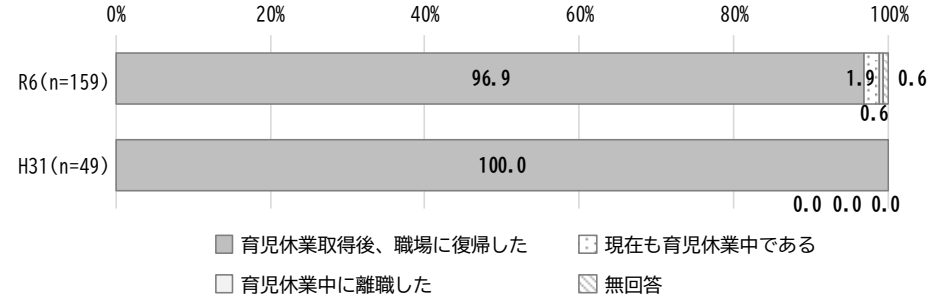
■母親

母親が育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が71.0%となっている。



■父親

父親が育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が96.9%となっている。



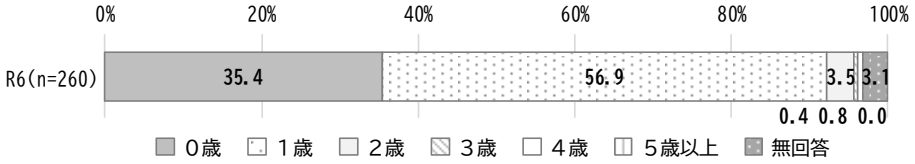
【問48で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】

問49　育児休業からは、「実際」に宛名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについてお答えください。（□には数字1つずつ）

■母親の育児休業の実際の取得期間

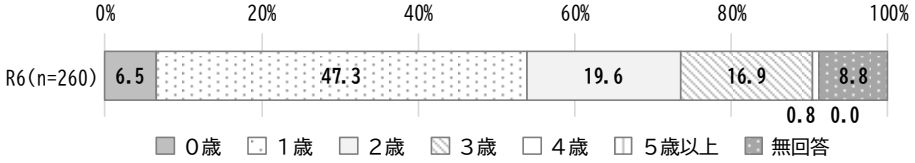
育児休業取得後、職場に復帰した母親の実際の取得期間は、「1歳」が56.9%となっている。

母親の育児休業の希望の取得期間と比較すると、「0歳」が大幅に多くなっていることから、やむを得ず早く復帰している母親がいることがうかがえる。



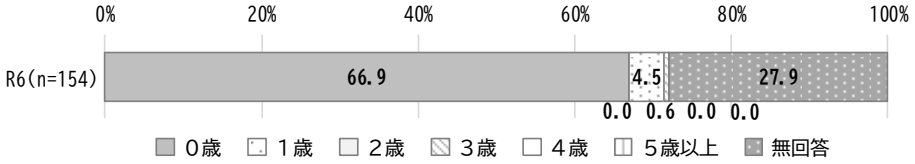
■母親の育児休業の希望の取得期間

育児休業の取得希望期間は、「1歳」が47.3%と最も多くなっている。



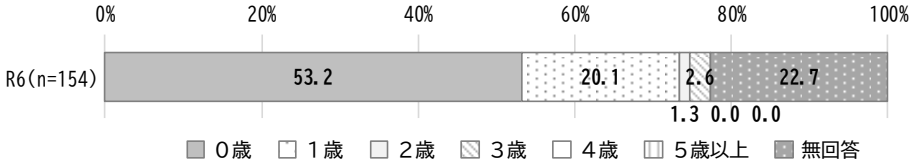
■父親の育児休業の実際の取得期間

育児休業取得後、職場に復帰した父親の実際の取得期間は、「0歳」が66.9%と最も多くなっている。



■父親の育児休業の希望の取得期間

育児休業の取得希望期間は、「0歳」が53.2%と最も多くなっている。

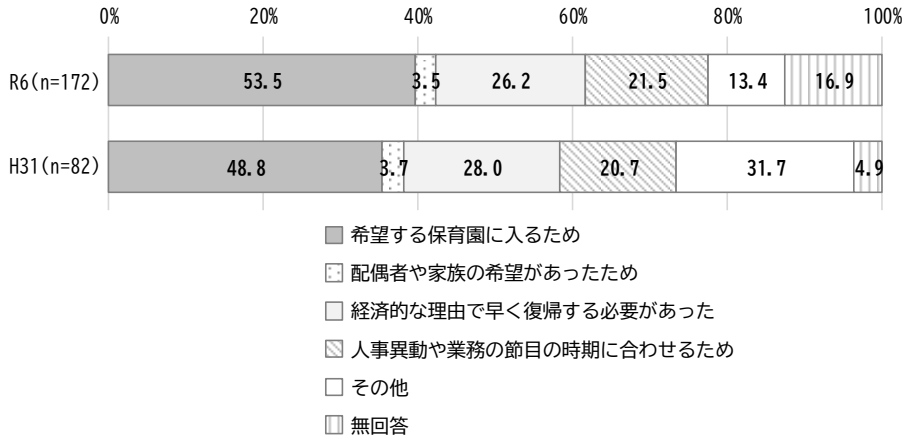


【問49で「実際の取得期間」と「希望」が異なる方で、【希望より早く復帰した】方にうかがいます。】

問50　希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。母親、父親それぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

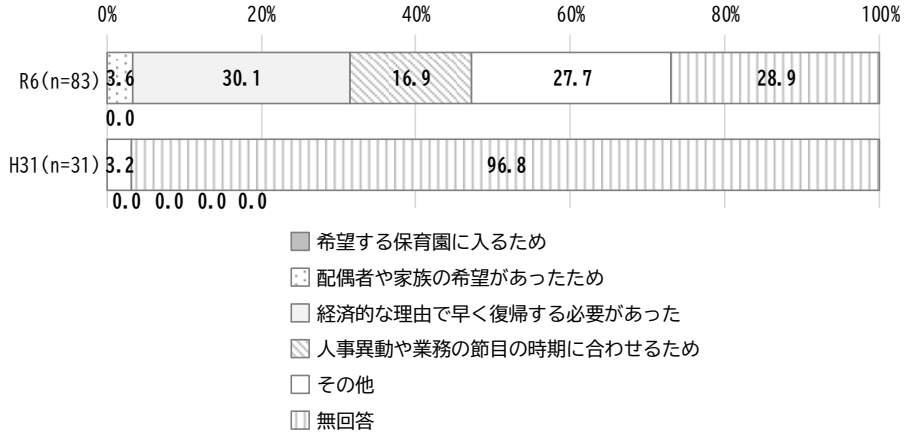
■母親

母親が希望より早く職場復帰した理由については、「希望する保育園に入るため」が53.5%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が26.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が21.5%となっている。



■父親

父親が希望より早く職場復帰した理由については、「希望する保育園に入るため」が30.1%と最も多くなっている。



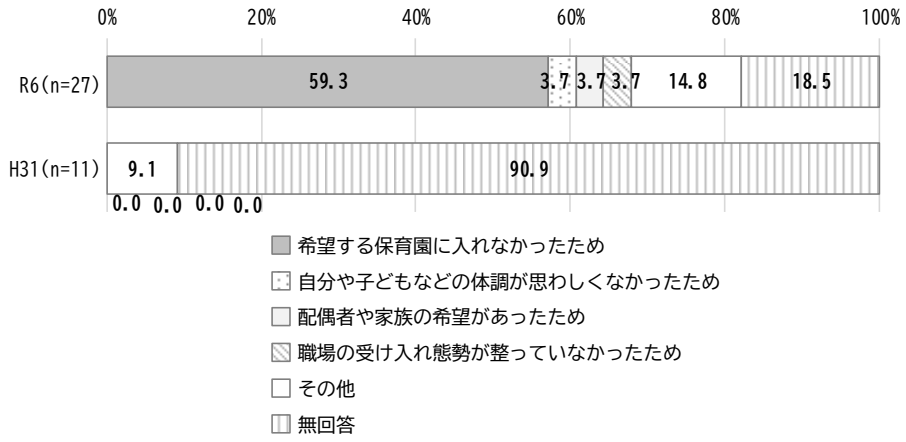
【問49で「実際の取得期間」と「希望」が異なる方で、【希望より遅く復帰した】方にうかがいます。】

問51　希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。母親、父親それぞれについてお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

■母親

母親が希望より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育園に入れなかったため」が59.3％と最も多くなっている。

問50の結果と合わせてみると、希望する時期に希望する保育園に入ることが困難な状況が多いことがうかがえる。



■父親

回答者4人のうち全員が「無回答」となっている。

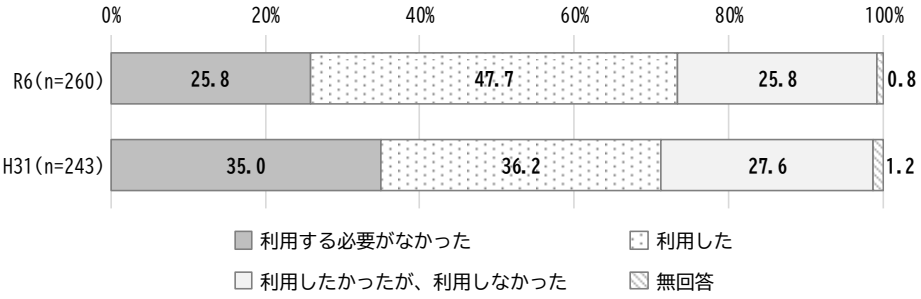
【問48で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】

問52　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

■母親

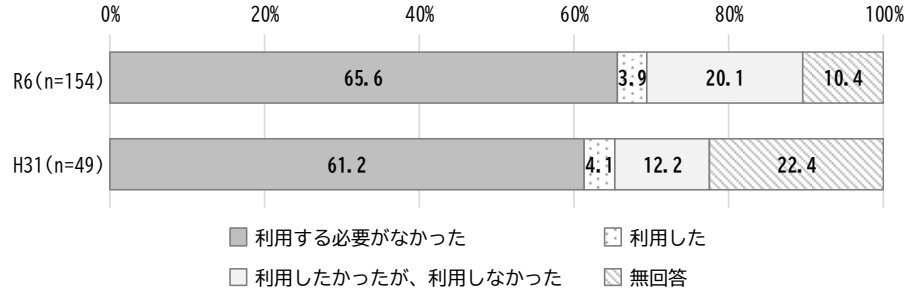
母親が育児休業からの復帰時に短時間勤務を利用したかは、「利用した」が47.7％と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」、「利用したかったが、利用しなかった」がそれぞれ25.8％となっている。

H31年との比較において、「利用した」が11.5％ポイント高くなっている。



■父親

父親が育児休業からの復帰時に短時間勤務を利用したかは、「利用する必要がなかった」が65.6％と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」が20.1％となっている。



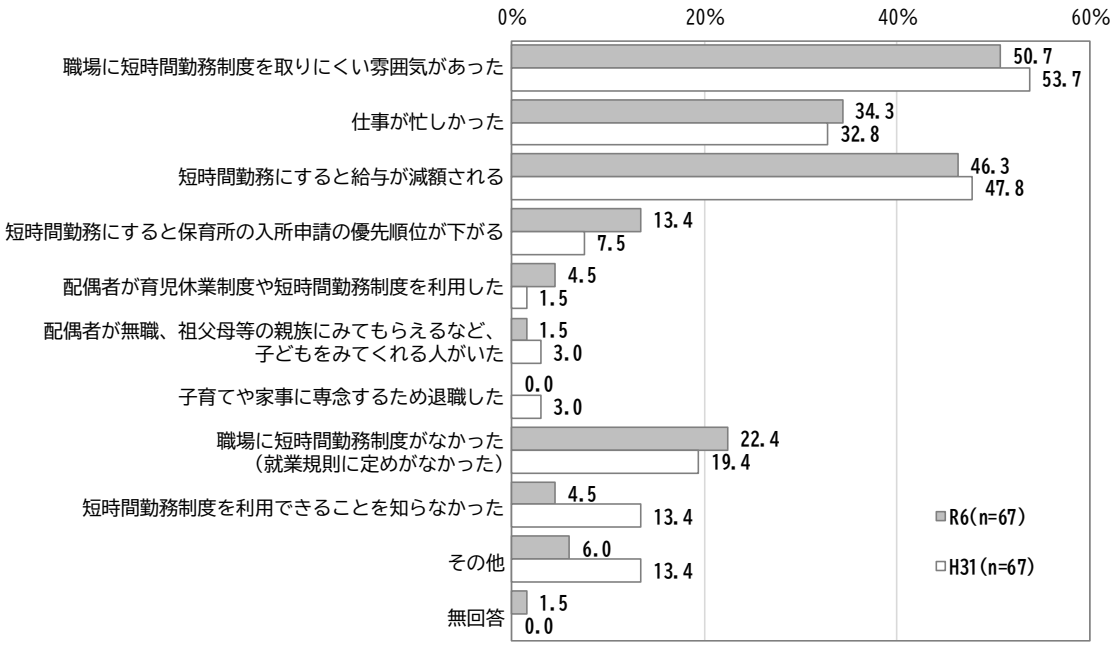
【問52で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。】

問53　短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。母親、父親それぞれについてお答えください。(それぞれあてはまるものすべてに○)

■母親

母親が育児休業を取得していない理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が50.7%で最も多く、次いで「短時間勤務にすると給料が減額される」が46.3%、「仕事が忙しかった」が34.3%となっている。

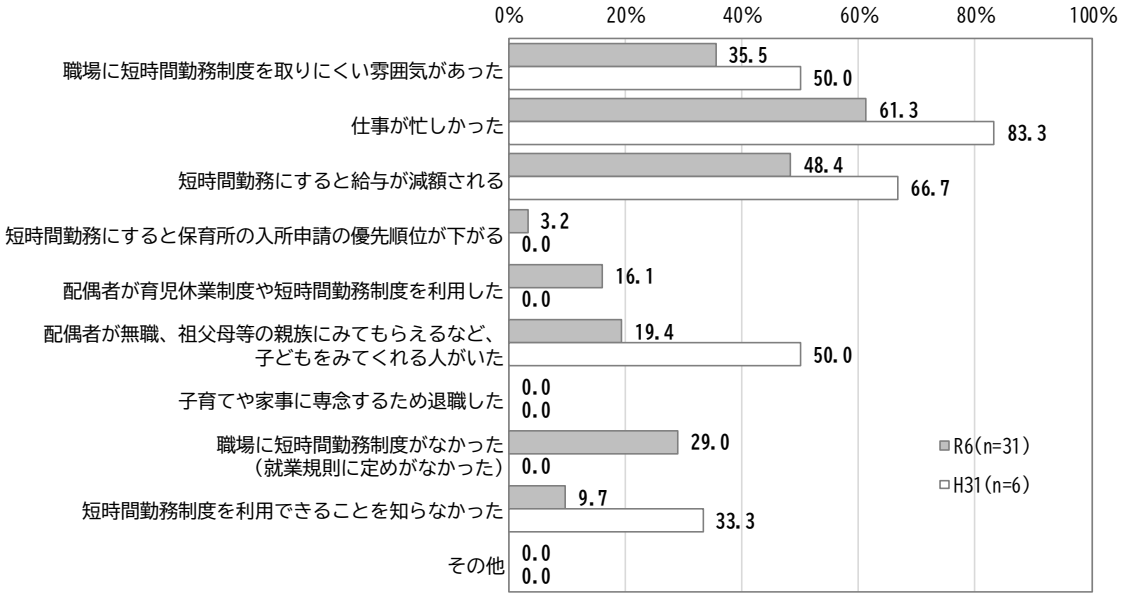
H31年との比較において、「短時間勤務にすると、保育所の入所申請の優先順位が下がる」が5.9ポイント高くなっており、問51と同様に、こちらでも保育所への入所が困難な状況が多いことがうかがえる。



■父親

父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が61.3％と最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が48.4％、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が35.5％となっている。

H31年との比較において、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が30.6ポイント低くなっており、共働き家庭の増加と核家族化の進行がうかがえる。ほか、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が23.6ポイント、「仕事が忙しかった」が22.0ポイント、「短時間勤務にすると給与が減額される」が18.3ポイント、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が14.5ポイント、それぞれ低くなっている。一方、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が29.0ポイント高くなっており、企業側には短時間勤務制度が義務化されているにも関わらず、徹底されていない可能性があることがうかがえる。

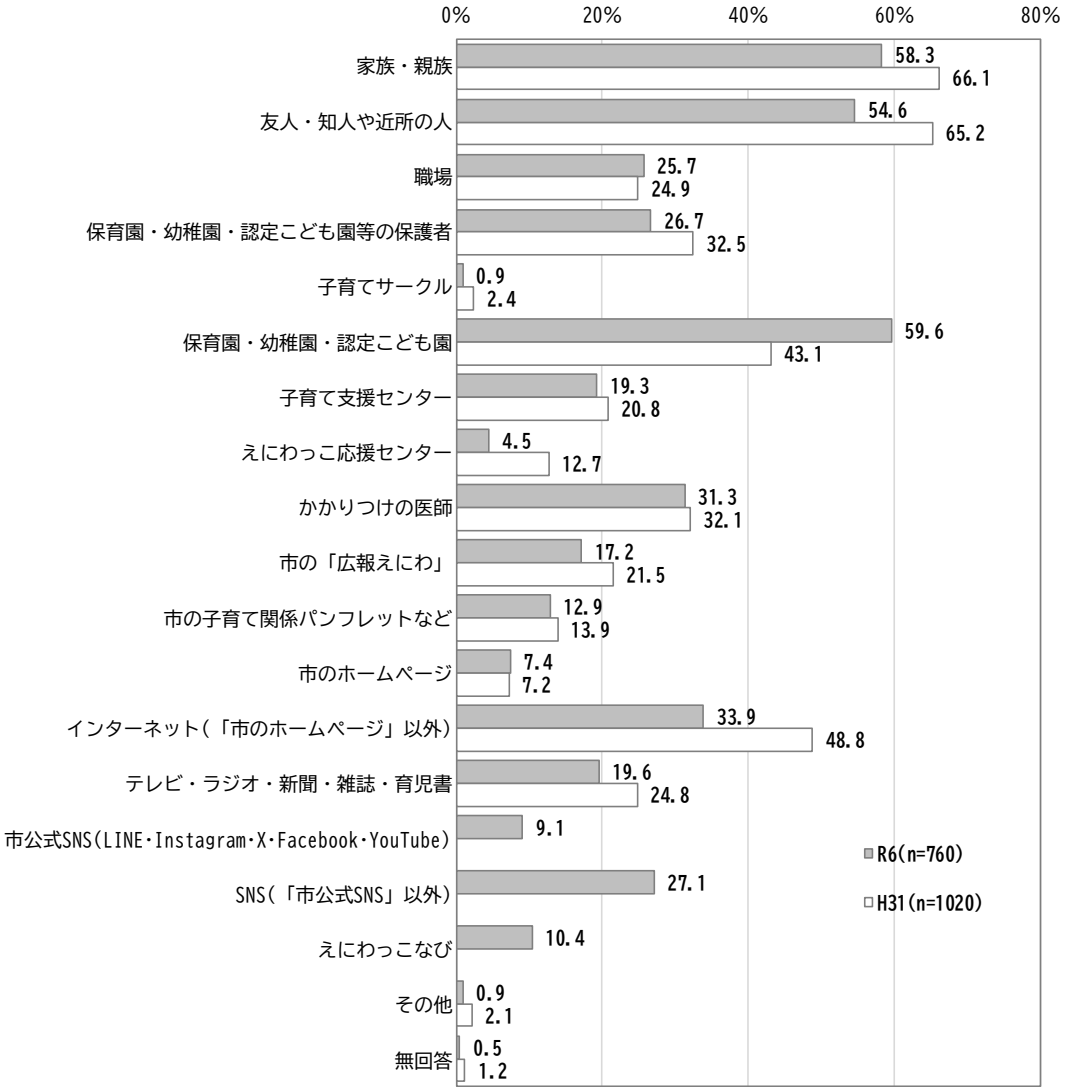


12. これからの子ども・子育て支援全般について

問54　現在、子どもの健康(病気予防・発育・発達)・子育て(育児・施設等)に関する情報をどこから(または、誰から)受け取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの健康に関する情報の入手先は、「保育園・幼稚園・認定こども園」が59.6%と最も多く、次いで「家族・親族」が58.3%、「友人・知人や近所の人」が54.6%となっている。このことから、「保育園・幼稚園・認定こども園」が子どもの健康や子育てに関する情報の入手先として重要な役割を担っていることがうかがえる。一方、「市のホームページ」や「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・Youtube)」が10%前後に留まっていることから、市の取組が十分に利用されていないことがうかがえる。

H31年との比較において、「保育園・幼稚園・認定こども園」が16.5ポイント高くなっていることについて、共働き等により保育施設の利用者が増加しているためと考えられる。なお、「インターネット(「市のホームページ」以外)」が14.9ポイント低くなっていることについて、追加選択肢である「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・YouTube)」「SNS(「市公式SNS」以外)」「えにわっこなび」に分散されたためと考えられる。



※選択肢追加のため、H31の「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・YouTube)」「SNS(「市公式SNS」以外)」「えにわっこなび」は記載なし

		調査数	問54　情報の入手先								
			家族・親族	友人・知人や近所の人	職場	保育園・幼稚園・認定こども園等の保護者	子育てサークル	保育園・幼稚園・認定こども園	子育て支援センター	えにわっこ応援センター	かかりつけの医師
全 体		760	443	415	195	203	7	453	147	34	238
		100.0	58.3	54.6	25.7	26.7	0.9	59.6	19.3	4.5	31.3
問1年齢	0歳	130	83	70	20	12	－	34	33	17	48
		100.0	63.8	53.8	15.4	9.2	－	26.2	25.4	13.1	36.9
	1歳	145	82	79	37	23	－	79	36	6	54
		100.0	56.6	54.5	25.5	15.9	－	54.5	24.8	4.1	37.2
	2歳	112	58	64	34	27	2	75	27	3	27
		100.0	51.8	57.1	30.4	24.1	1.8	67.0	24.1	2.7	24.1
	3歳	109	66	57	29	39	4	79	19	5	30
		100.0	60.6	52.3	26.6	35.8	3.7	72.5	17.4	4.6	27.5
	4歳	129	78	73	33	50	－	88	16	3	39
		100.0	60.5	56.6	25.6	38.8	－	68.2	12.4	2.3	30.2
	5歳	119	65	64	37	49	1	90	15	－	37
		100.0	54.6	53.8	31.1	41.2	0.8	75.6	12.6	－	31.1
	6歳	2	2	2	1	1	－	1	－	－	1
		100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	－	50.0	－	－	50.0

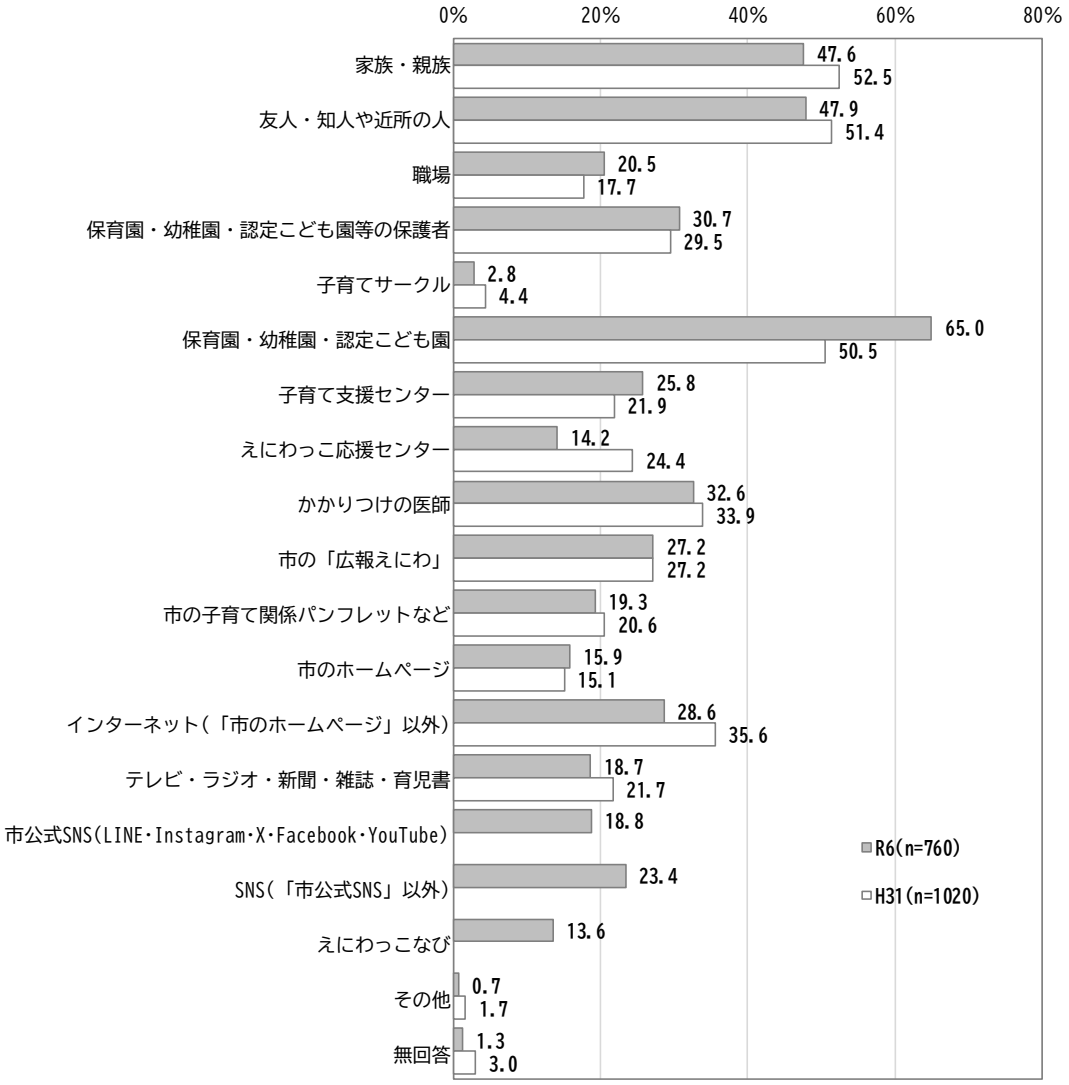
（続き）

		問54　情報の入手先									
		市の「広報えにわ」	市の子育て関係パンフレットなど	市のホームページ	インターネット（「12.」以外）	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・育児書	市公式SNS	SNS（「15.」以外）	えにわっこなび	その他	無回答
全 体		131	98	56	258	149	69	206	79	7	4
		17.2	12.9	7.4	33.9	19.6	9.1	27.1	10.4	0.9	0.5
問1年齢	0歳	15	18	11	53	30	12	48	20	2	－
		11.5	13.8	8.5	40.8	23.1	9.2	36.9	15.4	1.5	－
	1歳	22	20	14	59	29	16	50	21	1	－
		15.2	13.8	9.7	40.7	20.0	11.0	34.5	14.5	0.7	－
	2歳	23	19	8	29	24	11	28	8	－	－
		20.5	17.0	7.1	25.9	21.4	9.8	25.0	7.1	－	－
	3歳	19	13	6	36	18	8	27	12	2	1
		17.4	11.9	5.5	33.0	16.5	7.3	24.8	11.0	1.8	0.9
	4歳	27	20	7	41	21	13	27	8	1	1
		20.9	15.5	5.4	31.8	16.3	10.1	20.9	6.2	0.8	0.8
	5歳	22	7	8	36	24	9	23	10	1	1
		18.5	5.9	6.7	30.3	20.2	7.6	19.3	8.4	0.8	0.8
	6歳	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
		－	－	50.0	－	－	－	－	－	－	－

問55　今後、子どもの健康(病気予防・発育・発達)・子育て(育児・施設等)に関する情報をどこから(または、誰から)受け取りたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

今後希望する子どもの健康に関する情報の入手先は、「保育園・幼稚園・認定こども園」が65.0%と最も多く、次いで「友人・知人や近所の人」が47.9%、「家族・親族」が47.6%となっている。このことから、「保育園・幼稚園・認定こども園」が子どもの健康や子育てに関する情報の入手先として重要な役割を担っていることがうかがえる。一方、「市のホームページ」や「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・Youtube)について、問54の結果と合わせてみると、市公式の情報元が増えたことにより、今後利用者の増加が見込まれる。

H31年との比較において、「保育園・幼稚園・認定こども園」が14.5ポイント高くなっていることについて、問54と同様に、共働き等により保育施設の利用者が増加しているためと考えられる。

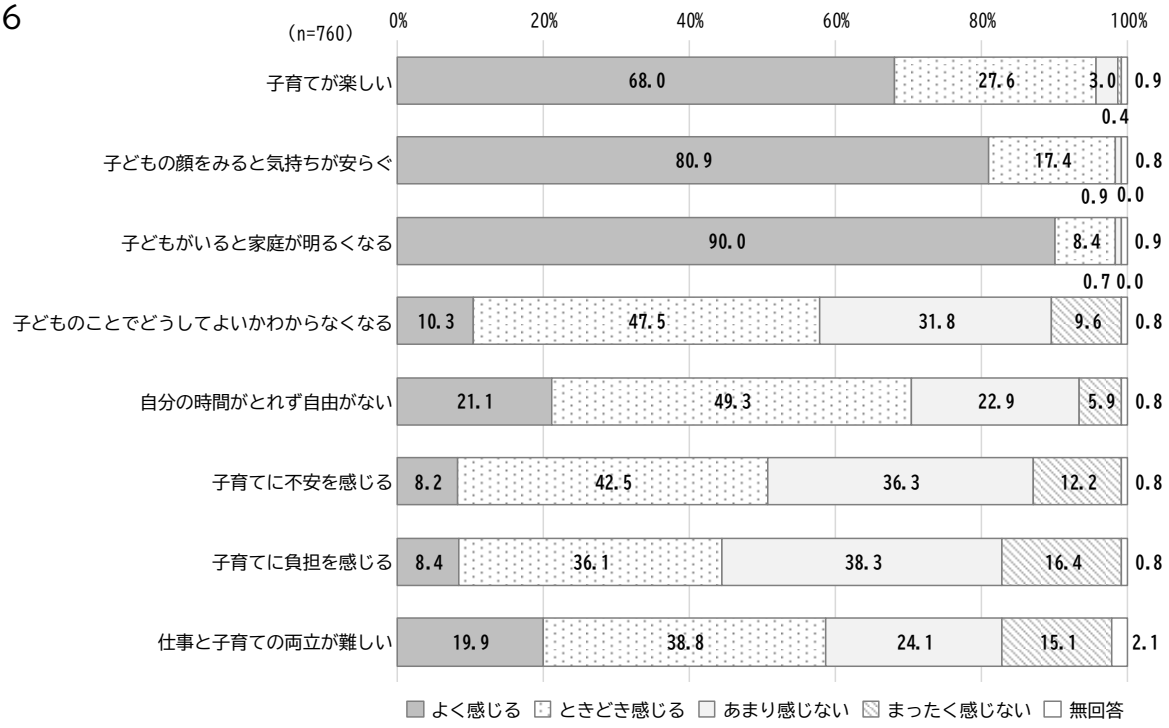


※選択肢追加のため、H31の「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・YouTube)」「SNS(「市公式SNS」以外)」「えにわっこなび」は記載なし

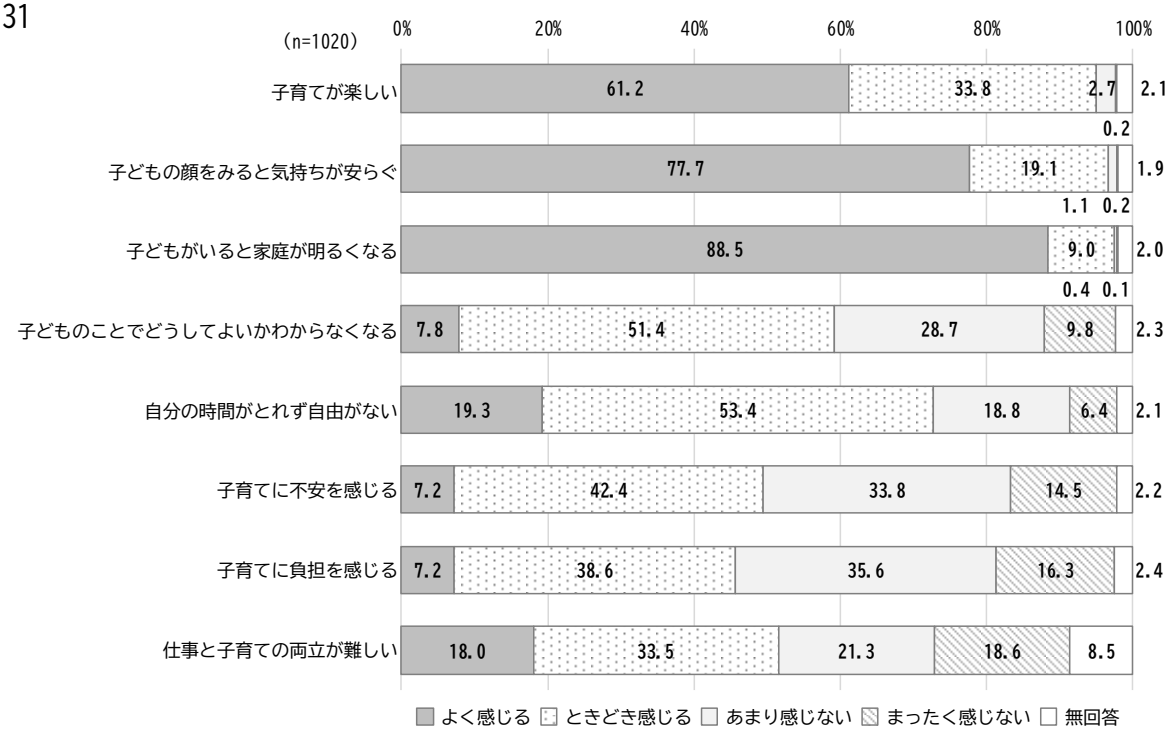
問56　子育てをしていて感じることについて、その程度をお答えください。（それぞれ○は1つ）

90％以上の人が「子育てが楽しい」「子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」「子どもがいると家庭が明るくなる」と感じている反面、「自分の時間がとれず自由がない」「子どものことでどうしてよいかわからなくなる」「子育てに不安を感じる」など、精神的な負担を感じることがある人が50％以上となっている。また、「仕事と子育ての両立が難しい」と感じる人が58.7％となっており、職場・家庭それぞれにおける子育てしやすい環境の整備が求められている。

■R６

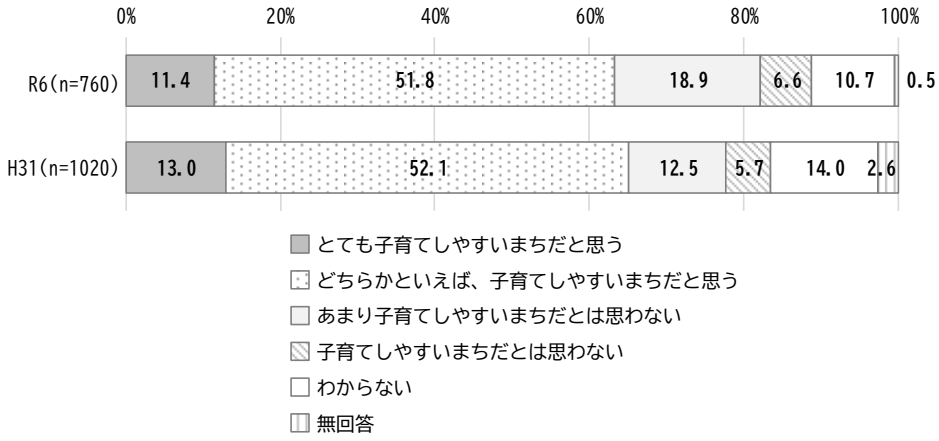


■H31



問57　恵庭市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。（○は1つ）

恵庭市における子育ては、「とても子育てしやすいまちだと思う」の11.4％と、「どちらかといえば、子育てしやすいまちだと思う」の51.8％を合わせると、63.2％の人が恵庭市は子育てがしやすいまちだと感じている。一方、「あまり子育てしやすいまちだとは思わない」の18.9％と、「子育てしやすいまちだとは思わない」の6.6％を合わせると25.5％となり、H31年から7.3ポイント高くなっていることから、子どもや子育てに関する支援が十分でないと感じている人が増加している。



		調査数	問57　恵庭市は子育てがしやすいまちだと思うか					
			とても子育てしやすいまちだと思う	どちらかといえば、子育てしやすいまちだと思う	あまり子育てしやすいまちだとは思わない	子育てしやすいまちだとは思わない	わからない	無回答
全体		760	87	394	144	50	81	4
		100.0	11.4	51.8	18.9	6.6	10.7	0.5
問1 年齢	0歳	130	19	66	25	7	12	1
		100.0	14.6	50.8	19.2	5.4	9.2	0.8
	1歳	145	18	76	23	9	19	－
		100.0	12.4	52.4	15.9	6.2	13.1	－
	2歳	112	15	54	25	6	12	－
		100.0	13.4	48.2	22.3	5.4	10.7	－
	3歳	109	17	57	18	9	6	2
		100.0	15.6	52.3	16.5	8.3	5.5	1.8
	4歳	129	8	72	22	10	17	－
		100.0	6.2	55.8	17.1	7.8	13.2	－
	5歳	119	9	61	26	7	15	1
		100.0	7.6	51.3	21.8	5.9	12.6	0.8
	6歳	2	－	1	1	－	－	－
		100.0	－	50.0	50.0	－	－	－

■「とても子育てしやすいまちだと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
サポート事業(施設等)の充実	44
子どもの遊び場が充実	25
治安が良い	8
地域の人柄が親切	4
多すぎない人口	3
子育てイベントの多さ	1
合　計	85

■「どちらかといえば、子育てしやすいまちだと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
子どもの遊び場が充実	79
サポート事業(施設等)の充実	77
生活環境が整っている・良い	58
助成制度(医療費等)が充実している・サービス拡大希望	44
病院が少ない	19
地域の人柄が親切	13
困っていない	13
その他	13
治安が良い	6
子どもが多い	5
子育てイベントの多さ	2
ゴミ袋	2
送迎・交通手段に困っている	2
防犯面が不安	1
合　計	334

■「あまり子育てしやすいまちだとは思わない」と回答した方の理由

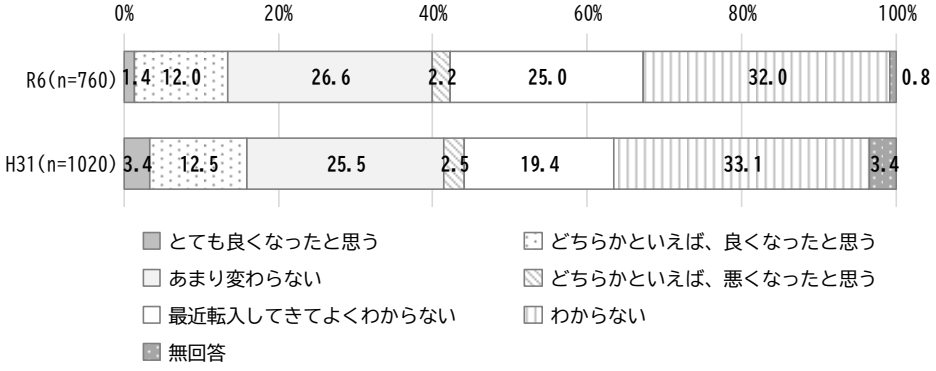
記述内容	件数
助成制度(医療費等)サービスが少ない・延長希望	35
病院が少ない	30
遊べる場所が少ない・増やしてほしい	16
保育料が高い	12
経済的支援のサポート	12
保育所が少ない	8
住みやすいまちづくりを希望	5
医療費が高い・かかる	4
施設が少ない	3
他の自治体と比べて	3
障がい児へのサポート	2
医療施設が少ない・サービスが不十分	1
学童を充実させてほしい	1
子どもが少ない	1
とくにない・わからない	10
その他	6
合　計	149

■「子育てしやすいまちだとは思わない」と回答した方の理由

記述内容	件数
経済的支援のサポートが少ない	11
医療費が高い	7
病院が少ない	7
地域の人柄に不安	5
保育料が高い	3
他の自治体と比べて	3
遊び場が少ない	3
保育所が少ない	2
障がい児へのサポートが少ない	2
学校が遠い	2
ゴミ袋	1
その他	1
合　計	47

問58　以前(3～5年前)に比べ、恵庭市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(○は1つ)

以前(3～5年前)に比べての恵庭市の子育て環境は、「あまり変わらない」が26.6%、「どちらかといえば、悪くなったと思う」が2.2%に対して、「とても良くなったと思う」が1.4%と「どちらかといえば、良くなったと思う」の12.0%を合わせると、13.4%の人は子育て環境が良くなったと感じている。一方、「最近転入してきてよくわからない」が25.0%となっており、孤立しやすい状況の子育て世帯が増加していることがうかがえるため、対策が必要であると考えられる。



		調査数	問58　恵庭市の子育て環境は良くなったと思うか						
			とても良くなったと思う	どちらかといえば、良くなったと思う	あまり変わらない	どちらかといえば、悪くなったと思う	最近転入してきてよくわからない	わからない	無回答
全体		760	11	91	202	17	190	243	6
		100.0	1.4	12.0	26.6	2.2	25.0	32.0	0.8
問1 年齢	0歳	130	2	11	16	2	50	48	1
		100.0	1.5	8.5	12.3	1.5	38.5	36.9	0.8
	1歳	145	－	6	33	2	42	61	1
		100.0	－	4.1	22.8	1.4	29.0	42.1	0.7
	2歳	112	2	11	17	3	30	48	1
		100.0	1.8	9.8	15.2	2.7	26.8	42.9	0.9
	3歳	109	3	14	38	4	22	26	2
		100.0	2.8	12.8	34.9	3.7	20.2	23.9	1.8
	4歳	129	2	22	48	2	27	28	－
		100.0	1.6	17.1	37.2	1.6	20.9	21.7	－
	5歳	119	1	26	43	2	17	29	1
		100.0	0.8	21.8	36.1	1.7	14.3	24.4	0.8
	6歳	2	－	1	1	－	－	－	－
		100.0	－	50.0	50.0	－	－	－	－

■「とても良くなったと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
施設がきれい・整備された	6
子育て支援サポートが良くなった	2
子育て世帯が増えた	1
その他	1
合　計	10

■「どちらかといえば、良くなったと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
施設や公園が整備された	22
子育て支援が増えた	11
金銭的な負担が減った	9
イベントが増えた	4
わからない	4
医療費の負担が減った	3
子育て世帯が増えた	1
保育所のクラスが増えた	1
保育料無償化	1
地域の人柄が良くなった	1
その他	3
合　計	60

■「あまり変わらない」と回答した方の理由

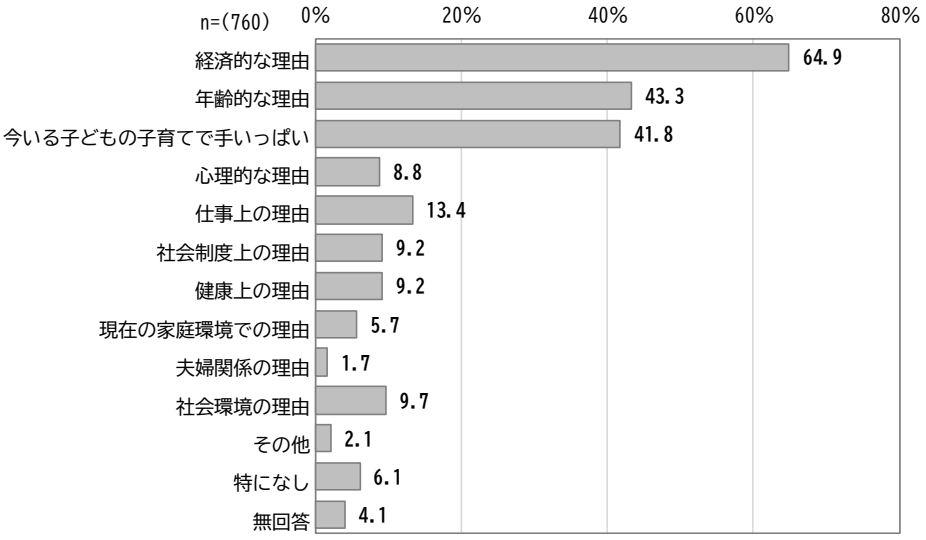
記述内容	件数
なにもかわってない	83
わからない	20
遊び場が少ない	4
産婦人科がない	3
金銭的な負担が欲しい	2
商業施設が少ない	2
施設等の整備されていない	2
子育て情報が少ない	1
その他	10
合　計	127

■「どちらかといえば、悪くなったと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
ゴミ袋が小さくなったので不便	7
産婦人科がない	2
文房具屋、本屋がなくなった	1
保育園の入所	1
その他	3
合　計	14

問59　今後、もう一人子どもを産む際にためらうことや、心配なことはありますか。
（3つまで○）

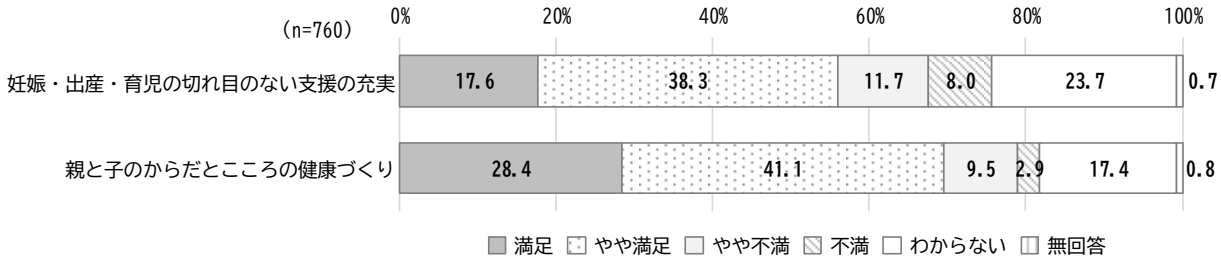
今後、もう一人子どもを産む際の心配なことは、「経済的な理由」が64.9％と最も多く、次いで「年齢的な理由」が43.3％、「今いる子どもの子育てで手いっぱい」が41.8％となっている。このことから、2人以上の子どもの保育・教育に関するためらいや心配を解消するためには、経済的な支援やサポート体制の構築が有効であると考えられる。



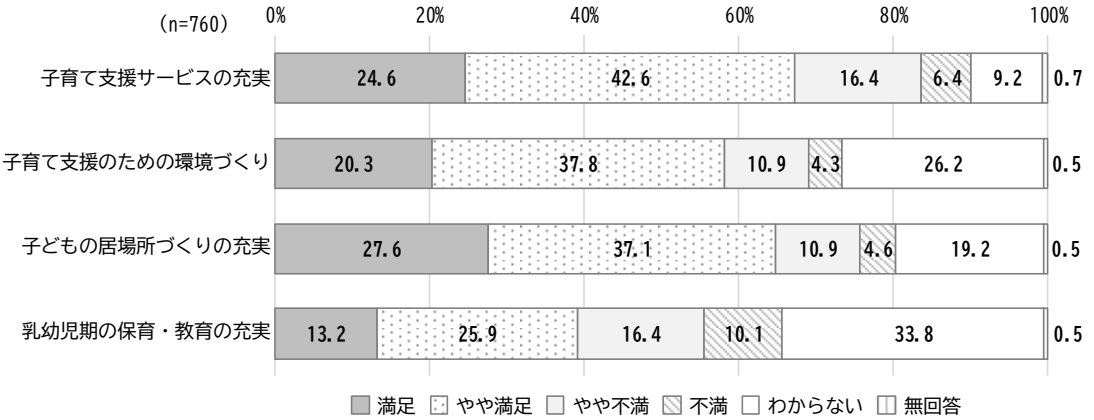
問60　恵庭市の子育て環境についての満足度をお答えください。（それぞれ○は1つ）

恵庭市の子育て環境は、『親子の健康』『子育て支援』『子どもの安全と子育てしやすい生活環境』において、「満足」や「やや満足」を合わせると50％を超える項目が多くなっている。一方、『配慮を必要とする子ども・家庭への支援』『仕事と家庭の両立』『豊かな心を育む教育環境』において、「わからない」が60％を超える項目が多くなっている。

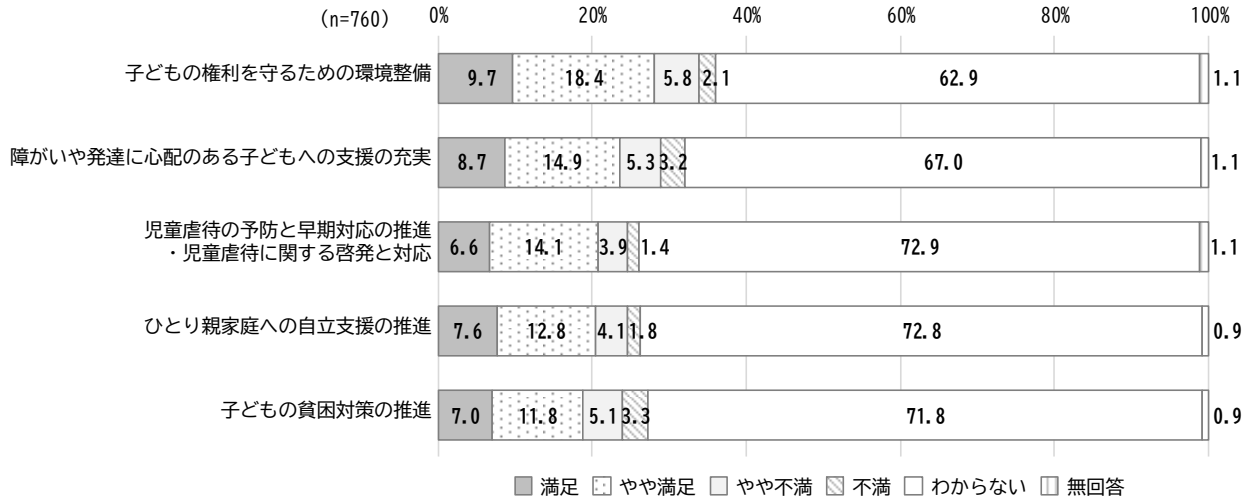
■親子の健康について



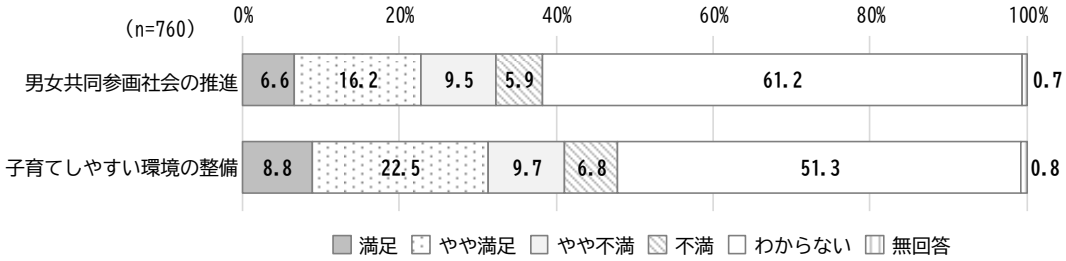
■子育て支援について



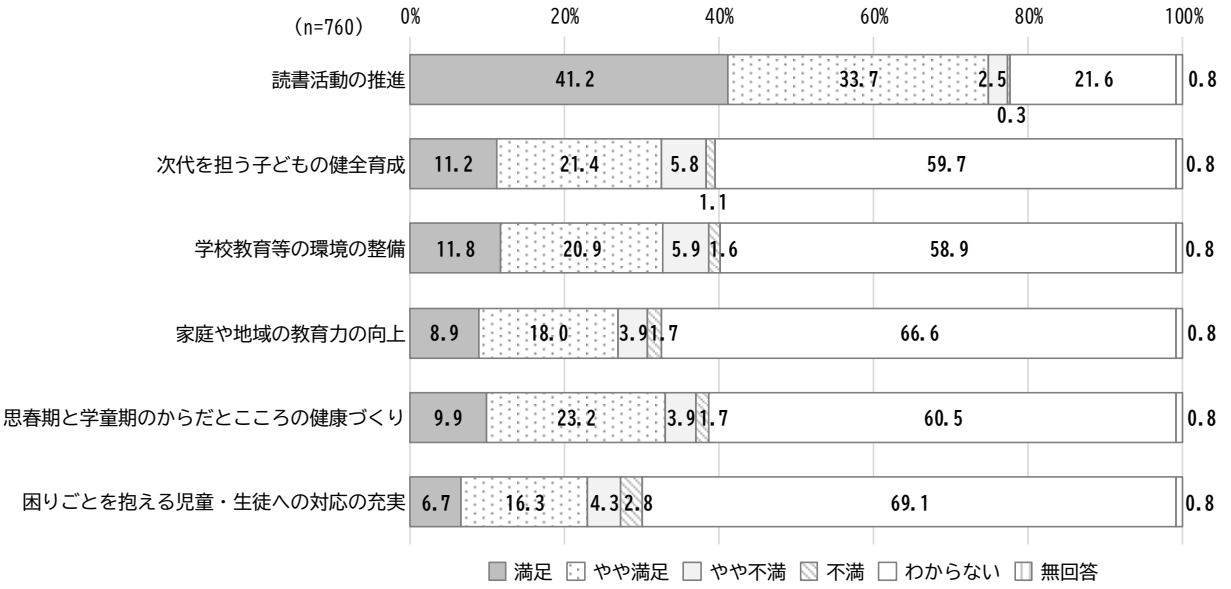
■配慮を必要とする子ども・家庭への支援について



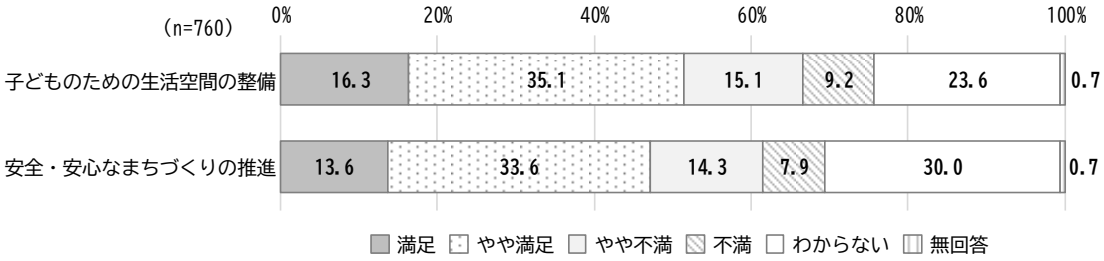
■仕事と家庭の両立について



■豊かな心を育む教育環境について

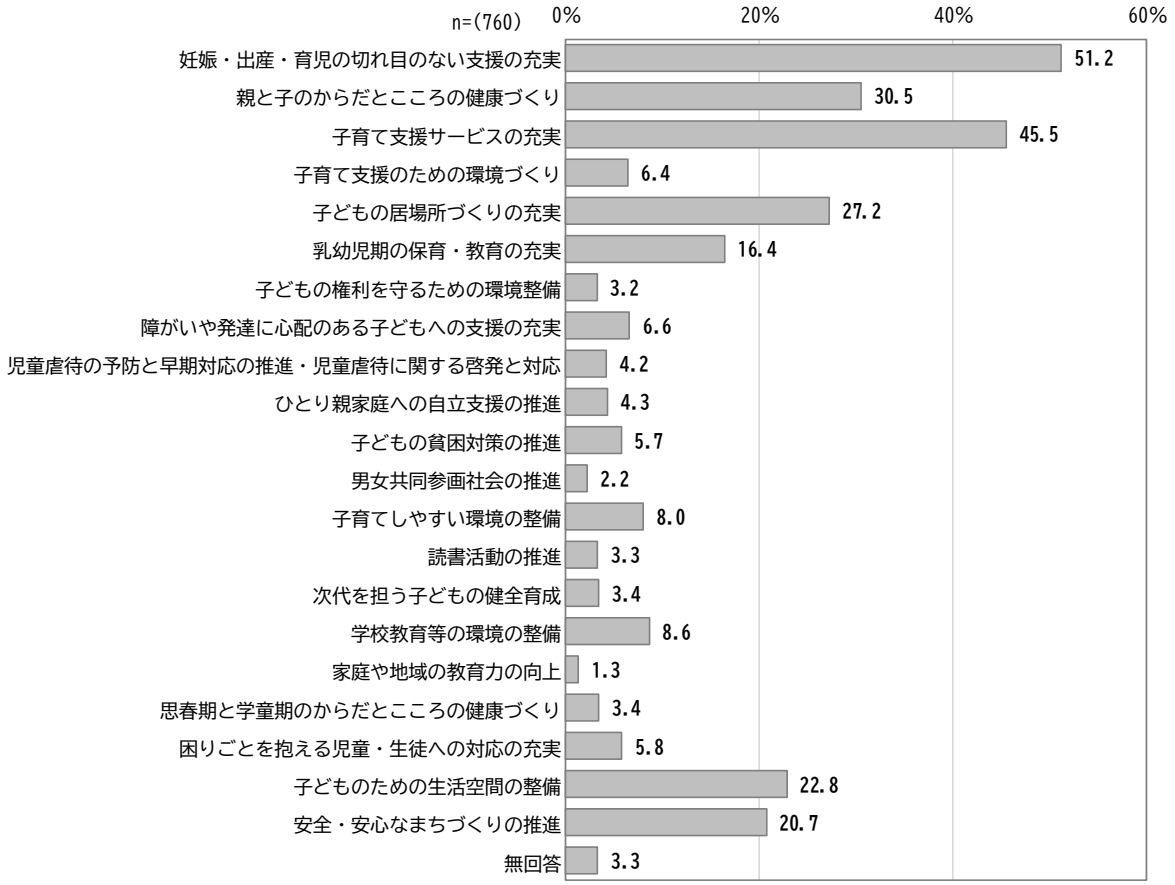


■子どもの安全と子育てしやすい生活環境について



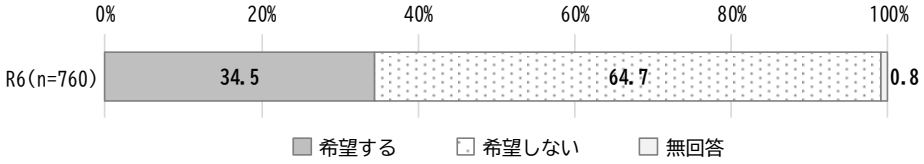
問61　恵庭市の子育て環境について、特に重要だと思うものを問60の「ア.」～「ナ.」から3つまで選び、下記の枠に1つずつ記入して下さい。

恵庭市の子育て環境で特に重要だと思うものは、「妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の充実」が51.2%と最も多く、次いで「子育て支援サービスの充実」が45.5%、「親と子のからだとこころの健康づくり」が30.5%となっている。このことから、子育て支援サービスの充実を図るとともに、支援体制の整備・連携を強化する必要があると考えられる。



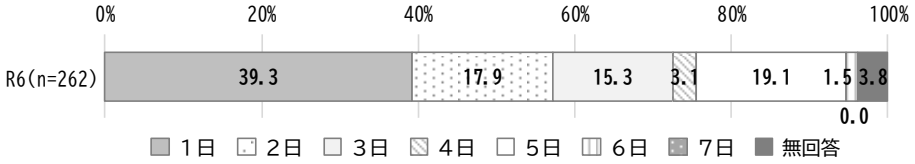
問62　今後、恵庭市で「こども誰でも通園制度」を実施した場合、利用を希望しますか。希望する場合は、日数と時間帯もお答えください。（○は1つ、□には数字1つずつ）

今後、恵庭市で「こども誰でも通園制度」を実施した場合の利用意向は、「希望しない」が64.7%、「希望する」が34.5%となっている。



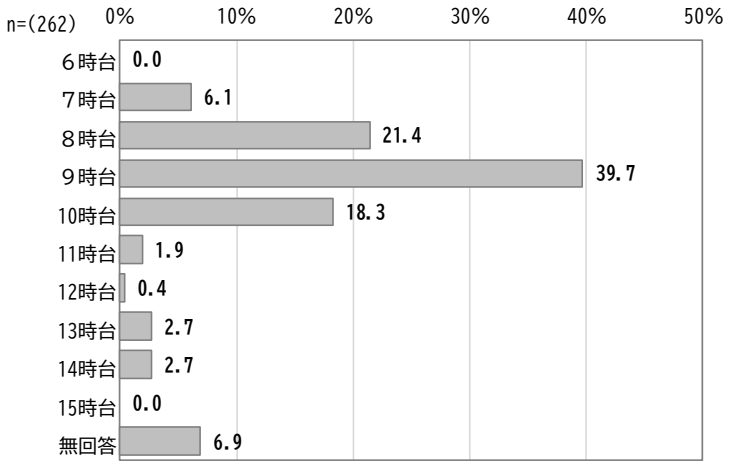
■1週当たりの利用したい日数

利用希望日数は、「1日」が39.3%と最も多くなっている。



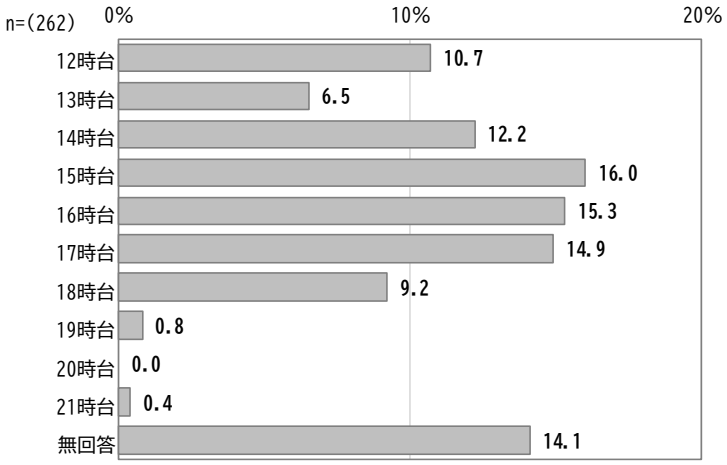
■利用したい開始時間

利用希望開始時間は、「9時台」が39.7%と最も多くなっている。



■利用したい終了時間

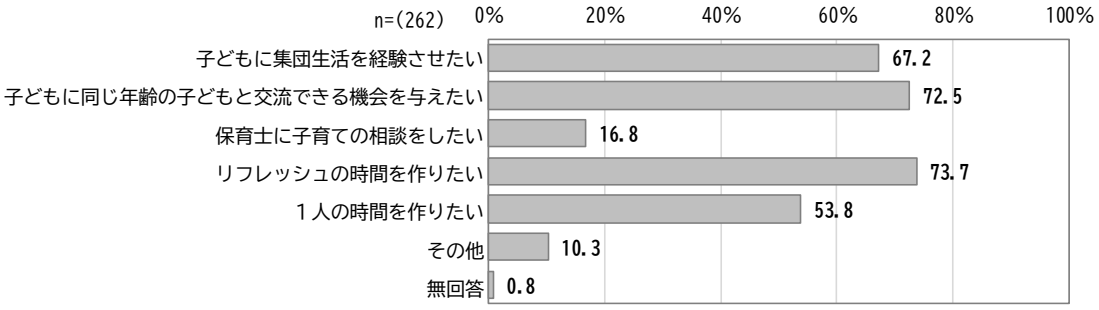
利用希望終了時間は、「15時台」が16.0%と最も多くなっている。



【問62で「1.希望する」に○をつけた方にうかがいます。】

問63　利用を希望する理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

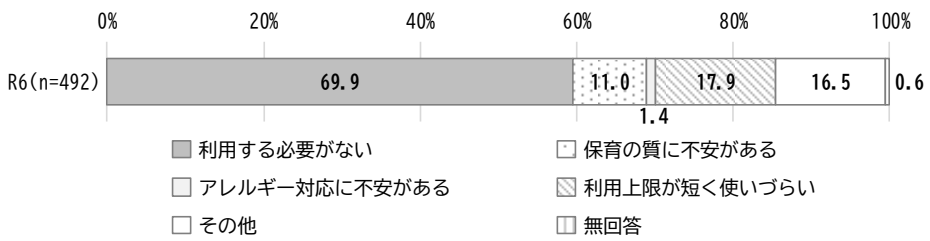
利用を希望する理由は、「リフレッシュの時間を作りたい」が73.7%と最も多く、次いで「子どもに同じ年齢の子どもと交流できる機会を与えたい」が72.5%、「子どもに集団生活を経験させたい」が67.2%となっている。



【問62で「2.希望しない」に○をつけた方にうかがいます。】

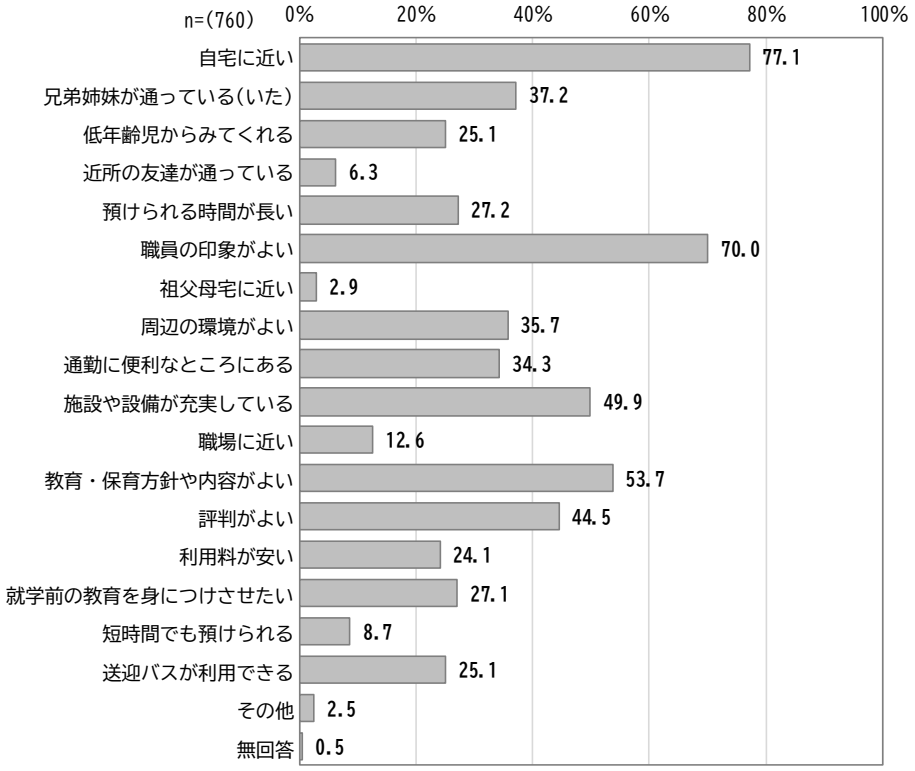
問64　利用を希望しない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

利用を希望しない理由は、「利用する必要がない」が69.9%と最も多く、次いで「利用上限が短く使いづらい」が17.9%となっている。



問65　保育所(園)や幼稚園等を選ぶとき、どのような点を重視しますか。
（あてはまるものすべてに○）

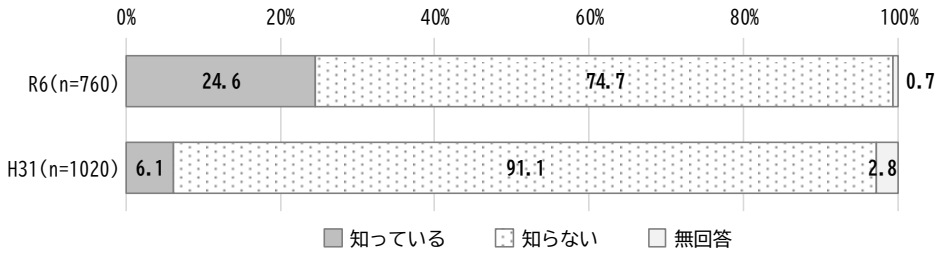
保育施設等を選ぶとき、どのような点を重視するかは、「自宅に近い」が77.1%と最も多くなっている一方、「職員の印象がよい」が70.0%、「教育・保育方針や内容がよい」が53.7%となっているなど、子どもの保育環境や内容の向上が求められていることがうかがえる。



問66　えにわ子育て応援隊を知っていますか。（○は1つ）

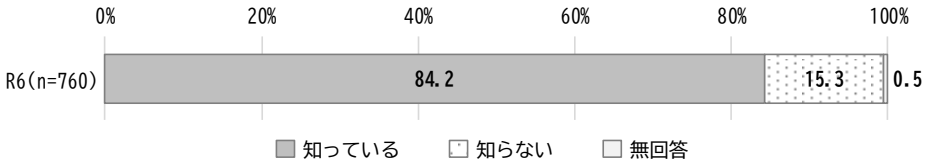
えにわ子育て応援隊の認知状況は、「知らない」が74.7%、「知っている」が24.6%であり、認知度が低いことがうかがえる。

H31年との比較において、「知っている」が18.5ポイント高くなっていることから、認知度が上昇していることがうかがえる。



問67　えにわっこサポートカードは知っていますか。（○は1つ）

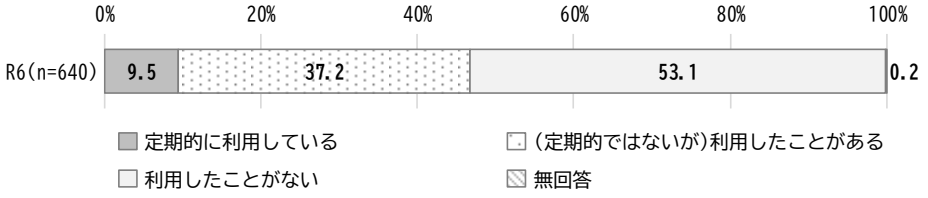
えにわっこサポートカードの認知状況は、「知っている」が84.2%、「知らない」が15.3%であり、認知度が高いことがうかがえる。



【問67で「1.知っている」に○をつけた方にうかがいます。】
問68　えにわっこサポートカードの利用状況についてお答えください。（○は1つ）

えにわっこサポートカードの利用状況は、「利用したことがない」が53.1%と最も多く、次いで「（定期的ではないが）利用したことがある」が37.2%、「定期的に利用している」が9.5%となっている。

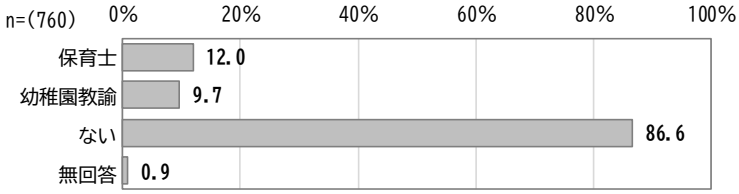
また、半数以上が「利用したことがない」としていることから、利用方法や利点、利用できる協賛店などのさらなる周知が必要であると考えられる。



13. 潜在保育士の就労ニーズについて

問69　この調査票にご回答いただいている方およびご家族は以下の資格を所持していますか。（あてはまるものすべてに○）

資格の有無は、「ない」が86.6％と最も多く、次いで「保育士」が12.0％、「幼稚園教諭」が9.7％となっている。

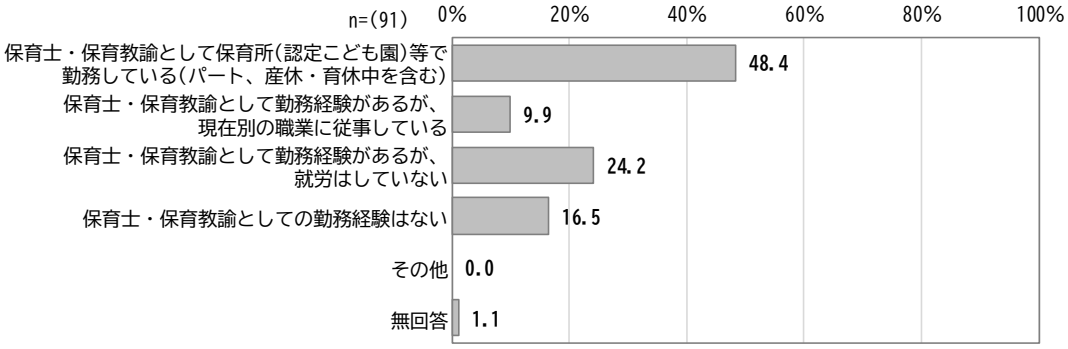


【問69で「1.保育士」に○をつけた方にうかがいます。】

問70　この調査にご回答いただいている方およびご家族で保育士資格をお持ちの方の勤務経験についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

保育士資格をお持ちの方の勤務経験は、「保育士・保育教諭として保育所（認定こども園）等で勤務している（パート・産休・育休中を含む）」が48.4％と最も多くなっている。

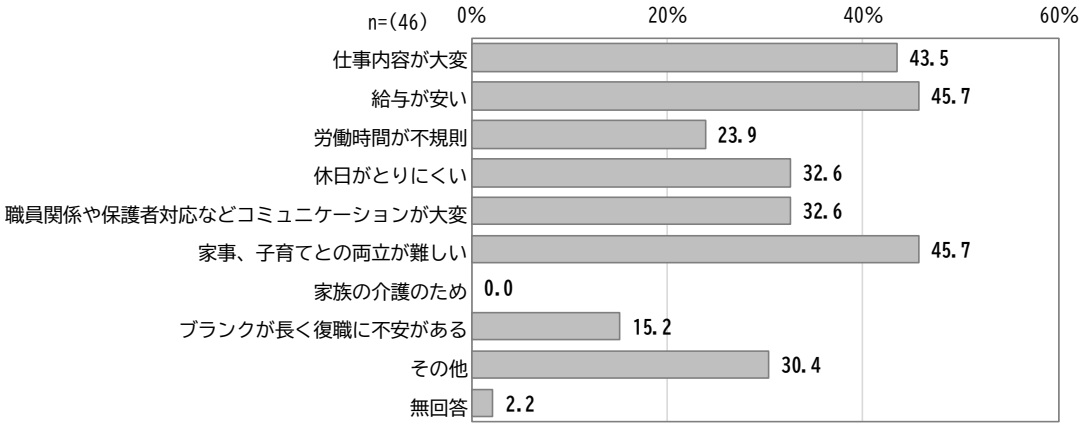
一方、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが就労はしていない」が24.2％、「保育士・保育教諭としての勤務経験はない」が16.5％、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、現在別の職業に従事している」が9.9％となっており、回答者もしくは家族が潜在保育士であるとする人が半数に及んでいる。保育士不足の解消に向け、保育士の労働環境の改善やライフスタイルに合わせた働き方の提案など、潜在保育士の現場復帰を後押しする支援や体制の構築が必要であると考えられる。



【問70で「2.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問71　保育士・保育教諭として勤務していない理由についてお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

勤務していない理由は、「給料が安い」「家事、子育てとの両立が難しい」がそれぞれ45.7％と最も多く、次いで「仕事内容が大変」が43.5％、「休日がとりにくい」「職員関係や保護者対応などコミュニケーションが大変」がそれぞれ32.6％となっていることから、労働条件の見直しや仕事の負担の軽減などが求められていることがうかがえる。



問72　教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

基本目標	回答の分類	件数
親子の健康について	病院(産婦人科・小児科含む)を作ってほしい	34
	医療費の無償化・負担軽減	17
	休日や夜間に利用できる小児科がほしい	11
	産後ケアの充実	6
	健診の拡大・内容の改善	5
	親子の心のケアの体制づくり	3
子育て支援について	紙おむつ用ゴミ袋支給の条件や内容の改善	25
	金銭的なサポート(おむつ・ミルク・給食など)	17
	幼児教育・保育の無償化・軽減、内容の改善	15
	子育てを支援する施設の利用料の軽減・内容の充実	13
	どのような支援があるのかわからない・支援の内容がわかりづらい	8
	どこに相談したらよいのかわからない・相談しづらい	6
	サービス利用の手続きの簡略化・利用料の軽減・内容の改善	6
	病児保育施設の増設・整備	6
配慮を必要とする子ども・家庭への支援について	ひとり親家庭への手当の充実	1
	保育・教育への支援	1
仕事と家庭との両立について	子どもの居場所の確保(時間延長含む)	16
	保育施設の増設・定員拡大	11
	保育施設の利用基準の見直し	9
	学童が少ない・利用基準・内容の見直し	9
	就労条件等により家庭との両立が難しい	4
豊かな心を育む教育環境について	保育士の確保・待遇改善	21
	子育て世代のイベントや交流の場の充実	7
	学校や保育施設の指導内容の改善	5
	習い事をするための環境整備	5
	学校にクーラーをつけてほしい(熱中症対策)	3
	本を購入できるところが少ない	2
	カウンセラーの増員など相談しやすい環境の整備	2
子どもの安全と子育てしやすい生活環境について	公園(屋内含む)や子どもが遊べる施設の増設・整備・遊具の更新	37
	道路・歩道の整備・拡張	11
	スクールバス・通学方法の検討	10
	商業施設を増やしてほしい・設備の充実	9
	子供を守るための対策の充実	7
その他		35

【分類別の意見（一部抜粋）】

※以下に記載する意見は、原文のままではありませんが、なるべく回答者の表現を用いる形としています。

〇親子の健康について

- 産科婦人科と小児科を増やしてほしい。
- 中学または高校まで子供の医療費無料を行ってほしい。
- 休日・夜間診療の小児科医を入れてほしい。市外まで連れて行かなければならないのは本当に辛い。急病なのに…。
- 妊娠～育児まで切れ目ない支援について、産科や産後ケア施設が市内にあると安心して過ごすことができると思います。

〇子育て支援について

- オムツのごみ袋を無料でいただいているが、10lの袋だと2日程でいっぱいになってしまうし、次のごみの回収日まで持たない。20lの袋だとごみの回収日まで持つし、サイズぴったりなオムツ用のゴミ箱も多いので、枚数が減っても良いから20lの袋にしていただけると大変助かります。
- とにかくお金がかかるので支援してほしいです。食費も服もオムツもとにかく色々かかる。
- 第2子以降の保育料を無料にしてほしい。
- 下の子を遊ばせることを優先すると上の子の年代に合わない遊び場だったりしてしまうので様々な年代でも遊ばせることができる施設があればいいなとよく思います。

〇配慮を必要とする子ども・家庭への支援について

- ひとり親のためにもう少し手当てを充実させてほしい。働き方改革で働けなくなりとても困っています。
- 医療的配慮が必要な子どもが、他の健康な子供達と同様に保育や教育が受けられるよう、必要な時には支援をいただきたいと考えます。

〇仕事と家庭との両立について

- 1歳で保育園に入れたかったが空きがなかったので、こども誰でも通園制度よりも入園できる子供の枠を増やしてほしい。
- 就学時の長期休暇中の子どもの居場所はどうするか不安に思っています。長期休暇中のみの学童利用を今年度から試験運用されているようなので、是非本格運用して欲しい。
- 学童の充実を切に願います。働くお母さんが増えている今、育てやすい町を訴えるのであれば、放課後子供が安心して過ごせる環境が必要と考えます。幼児期まで預りが利用できていたのに、急に預り場所がなくなり長期休暇中も自宅にいなければならないのは、大変不安です。
- 生まれ月が遅いのを理由に希望の保育園に入所できないのは残念に思う。また、はやいもの勝ちで魅力ある園に入れられないのは少し悲しい。
- 父母共にシフト勤務だと子供を預ける場所が必要となる。小学低学年も可能なこどもひろばのような場所もあると職場復帰しやすい。

〇豊かな心を育む教育環境について

- 先生方の給与を高くして欲しい。休日をとりやすくしてあげて欲しい。
- こども誰でも通園制度自体はよいと思うが、まずは待機児童解消、そのための保育士確保、そのための待遇改善が必要だと思います。
- 住んでいる地域別での子育て世代の交流やイベントの場がもっとあれば、幼稚園や小学校前からのつながりができやすく親子共に安心できる環境が増えると思います。
- 小・中学校も恵庭で考えているので、学力UPにつながるような教育の充実を期待しています！！

〇子どもの安全と子育てしやすい生活環境について

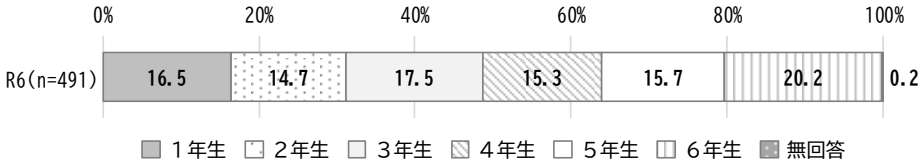
- 公園の遊具をもう少し充実させて欲しいです。自宅近くの公園は、ブランコも撤去されたままで、小さい子の遊べる遊具がほとんどありません。
- スーパーや公園の周辺でも歩道が細く整備がされておらずベビーカーで通りづらい。
- 今後子供が小学生になったときに、通学が心配。近所の子供たち数人で通学するシステムや通学路でのみまもりを増やしていただけると安心です。
- おむつ替えできる場所をもっと増やしてほしい（スーパー、公園等）。

第３章　小学生子どもアンケート　調査結果

1. お子さんとご家族の状況について

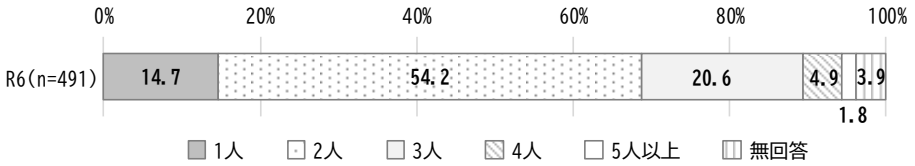
問1　宛名のお子さんは小学校の何年生ですか。（○は1つ）

お子さんの学年は、「6年生」が20.2%と最も多く、次いで「3年生」が17.5%、「1年生」が16.5%、「5年生」が15.7%、「4年生」が15.3%、「2年生」が14.7%となっている。



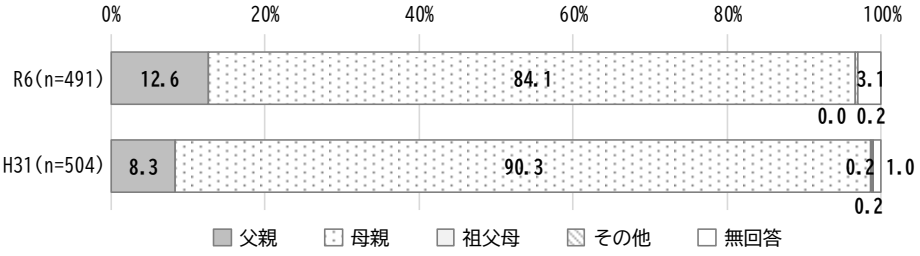
問2　宛名のお子さんを含めたきょうだいの人数をご記入ください。（□には数字1つずつ）

きょうだいの人数は、「2人」が54.2%と最も多く、次いで「3人」20.6%、「1人」14.7%となっている。



問3　この調査票にご回答いただく方はお子さんからみてどなたですか。（○は1つ）

回答者は、「母親」が84.1%、「父親」が12.6%となっている。



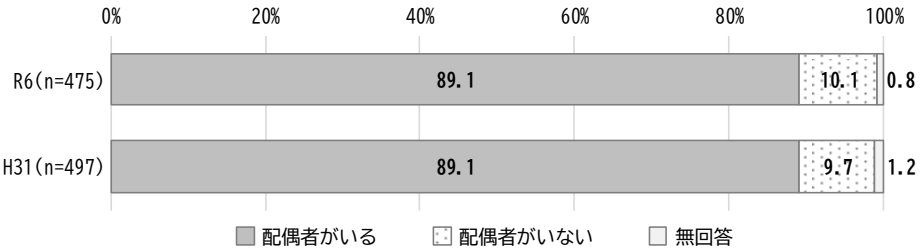
		調査数	問3　回答者				
			父親	母親	祖父母	その他	無回答
全 体		491	62	413	－	1	15
		100.0	12.6	84.1	－	0.2	3.1
問1 学年	1年生	81	13	68	－	－	－
		100.0	16.0	84.0	－	－	－
	2年生	72	8	58	－	－	6
		100.0	11.1	80.6	－	－	8.3
	3年生	86	13	68	－	－	5
		100.0	15.1	79.1	－	－	5.8
	4年生	75	7	67	－	－	1
		100.0	9.3	89.3	－	－	1.3
	5年生	77	10	66	－	－	1
		100.0	13.0	85.7	－	－	1.3
	6年生	99	11	85	－	1	2
		100.0	11.1	85.9	－	1.0	2.0

【問3で「1. 父親」「2. 母親」に○をつけた方にうかがいます。】

問4　配偶者についてお答えください。（○は1つ）

「配偶者がいる」と回答された方は89.1%となっている。

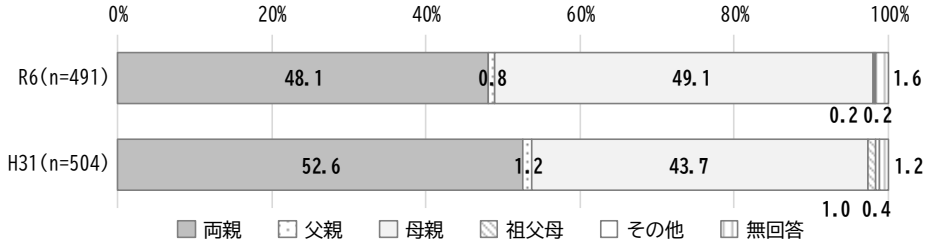
「配偶者がいない」と回答された方48人のうち、父子家庭は3人、母子家庭は45人となっている。



		調査数	問4　配偶者の有無		
			配偶者がいる	配偶者がいない	無回答
全 体		475	423	48	4
		100.0	89.1	10.1	0.8
問3 回答者	父親	62	59	3	－
		100.0	95.2	4.8	－
	母親	413	364	45	4
		100.0	88.1	10.9	1.0
	祖父母	－	－	－	－
		－	－	－	－
	その他	－	－	－	－
		－	－	－	－

問5　子育て(教育を含む)を主に行っているのはお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

子育てを主に行っている方は、「母親」が49.1%、「両親」が48.1%となっている。



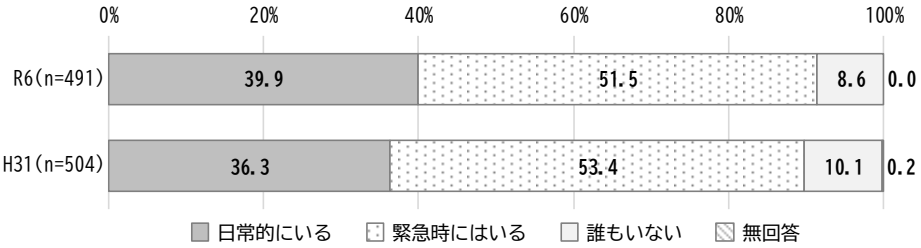
		調査数	問5　子育てを主に行っている方					
			両親	父親	母親	祖父母	その他	無回答
全 体		491	236	4	241	1	1	8
		100.0	48.1	0.8	49.1	0.2	0.2	1.6
問1 学年	1年生	81	49	－	30	－	－	2
		100.0	60.5	－	37.0	－	－	2.5
	2年生	72	36	1	33	－	－	2
		100.0	50.0	1.4	45.8	－	－	2.8
	3年生	86	38	－	47	－	－	1
		100.0	44.2	－	54.7	－	－	1.2
	4年生	75	28	－	45	－	－	2
		100.0	37.3	－	60.0	－	－	2.7
	5年生	77	39	1	37	－	－	－
		100.0	50.6	1.3	48.1	－	－	－
	6年生	99	46	2	48	1	1	1
		100.0	46.5	2.0	48.5	1.0	1.0	1.0

2. お子さんの育ちの環境について

問6　お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。（○は1つ）

お子さんの面倒をみてもらえる親族･知人がいるかは、「緊急時にはいる」が51.5％と最も多く、次いで「日常的にいる」が39.9％、「誰もいない」が8.6％となっている。

H31年と比較すると、「日常的にいる」が3.6ポイント高くなっている。一方、「誰もいない」が1.5ポイント低くなってはいるものの、約1割の人が孤立していることがうかがえる。

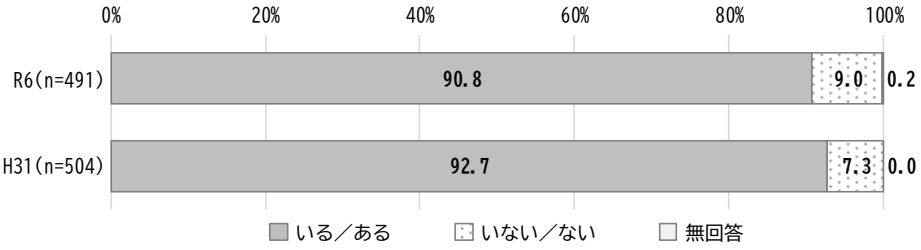


		調査数	問6　お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人の有無		
			日常的にいる	緊急時にはいる	誰もいない
全 体		491	196	253	42
		100.0	39.9	51.5	8.6
問1 学年	1年生	81	34	40	7
		100.0	42.0	49.4	8.6
	2年生	72	25	38	9
		100.0	34.7	52.8	12.5
	3年生	86	35	44	7
		100.0	40.7	51.2	8.1
	4年生	75	28	42	5
		100.0	37.3	56.0	6.7
	5年生	77	32	37	8
		100.0	41.6	48.1	10.4
	6年生	99	42	51	6
		100.0	42.4	51.5	6.1

問7　子育て(教育を含む)を行う上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所はありますか。(○は1つ)

子育てについて気軽に相談できる相手・場所は、「いる／ある」が90.8%、「いない／ない」が9.0%となっている。

H31年と比較すると、「いない／ない」が1.7ポイント高くなっており、問8と同様に、約1割の人が孤立していることがうかがえる。

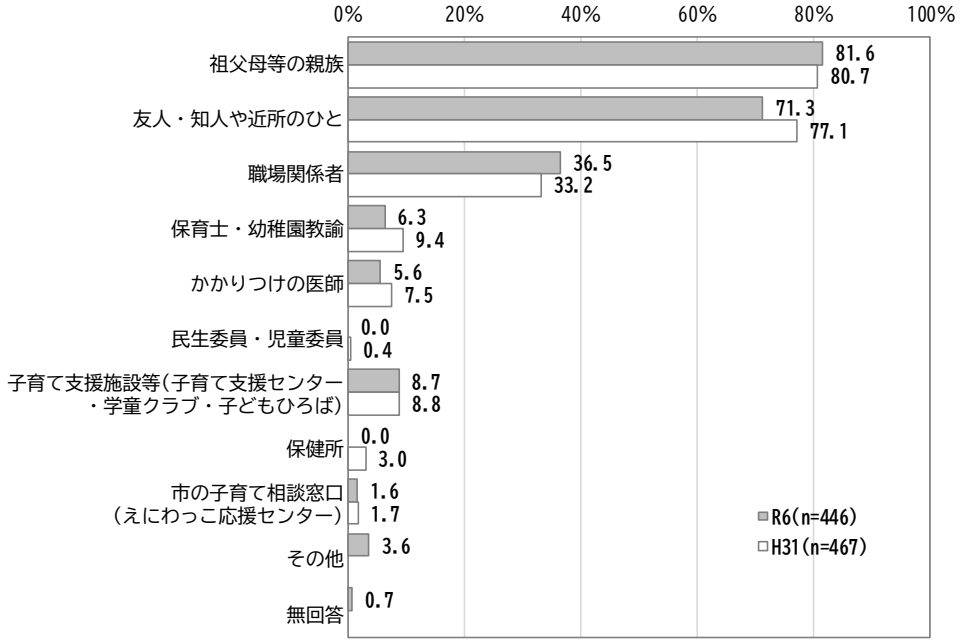


		調査数	問7　子育てについて気軽に相談できる相手・場所の有無		
			いる／ある	いない／ない	無回答
全 体		491	446	44	1
		100.0	90.8	9.0	0.2
問1 学年	1年生	81	71	10	－
		100.0	87.7	12.3	－
	2年生	72	67	5	－
		100.0	93.1	6.9	－
	3年生	86	78	7	1
		100.0	90.7	8.1	1.2
	4年生	75	69	6	－
		100.0	92.0	8.0	－
	5年生	77	66	11	－
		100.0	85.7	14.3	－
	6年生	99	94	5	－
		100.0	94.9	5.1	－

【問7で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。】

問8　気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てについて気軽に相談できる相手は、「祖父母等の親族」が81.6%と最も多く、次いで「友人・知人や近所のひと」が71.3%となっている。



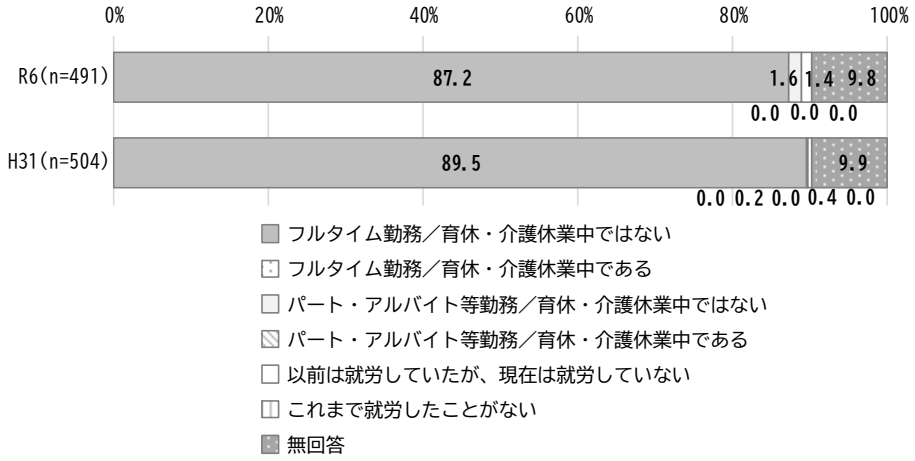
※設問変更のため、H31の「その他」「無回答」については記載なし

		調査数	問8　子育てについて気軽に相談できる相手										
			祖父母等の親族	友人・知人や近所のひと	職場関係者	保育士・幼稚園教諭	かかりつけの医師	民生委員・児童委員	子育て支援施設等	保健所	市の子育て相談窓口	その他	無回答
全体		446	364	318	163	28	25	-	39	-	7	16	3
		100.0	81.6	71.3	36.5	6.3	5.6	-	8.7	-	1.6	3.6	0.7
問1学年	1年生	71	61	52	27	11	7	-	7	-	-	1	-
		100.0	85.9	73.2	38.0	15.5	9.9	-	9.9	-	-	1.4	-
	2年生	67	55	46	24	4	1	-	5	-	-	2	-
		100.0	82.1	68.7	35.8	6.0	1.5	-	7.5	-	-	3.0	-
	3年生	78	65	44	32	5	6	-	8	-	2	2	1
		100.0	83.3	56.4	41.0	6.4	7.7	-	10.3	-	2.6	2.6	1.3
	4年生	69	53	53	28	5	4	-	6	-	3	2	-
		100.0	76.8	76.8	40.6	7.2	5.8	-	8.7	-	4.3	2.9	-
	5年生	66	54	49	18	1	2	-	4	-	1	2	1
		100.0	81.8	74.2	27.3	1.5	3.0	-	6.1	-	1.5	3.0	1.5
	6年生	94	75	74	34	2	5	-	9	-	1	7	1
		100.0	79.8	78.7	36.2	2.1	5.3	-	9.6	-	1.1	7.4	1.1

3. お子さんの保護者【父親】の就労状況について

問9　父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(○は1つ)

父親の就労状況は、「フルタイム勤務／育休・介護休業中ではない」が87.2%と最も多くなっている。



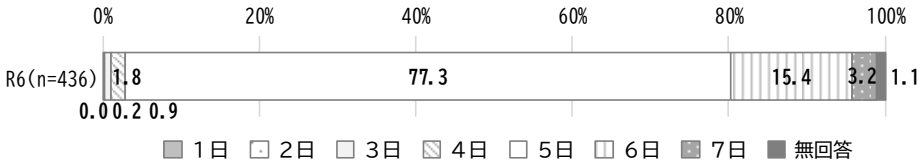
		調査数	問9　【父親】就労状況						
			フルタイム勤務／育休・介護休業中ではない	フルタイム勤務／育休・介護休業中である	パート・アルバイト等勤務／育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等勤務／育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		491	428	－	8	－	7	－	48
		100.0	87.2	－	1.6	－	1.4	－	9.8
問1学年	1年生	81	73	－	1	－	1	－	6
		100.0	90.1	－	1.2	－	1.2	－	7.4
	2年生	72	64	－	2	－	1	－	5
		100.0	88.9	－	2.8	－	1.4	－	6.9
	3年生	86	79	－	－	－	－	－	7
		100.0	91.9	－	－	－	－	－	8.1
	4年生	75	62	－	2	－	1	－	10
		100.0	82.7	－	2.7	－	1.3	－	13.3
	5年生	77	71	－	－	－	－	－	6
		100.0	92.2	－	－	－	－	－	7.8
	6年生	99	78	－	3	－	4	－	14
		100.0	78.8	－	3.0	－	4.0	－	14.1

【問9で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問10　1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をそれぞれお答えください。（□には数字1つずつ）

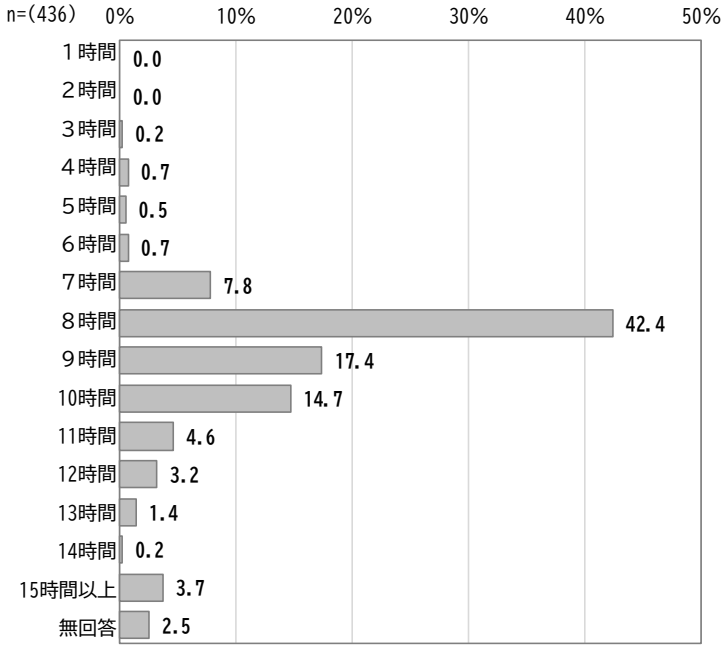
■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「5日」が77.3%と最も多くなっている。



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「8時間」が42.4%と最も多くなっている。

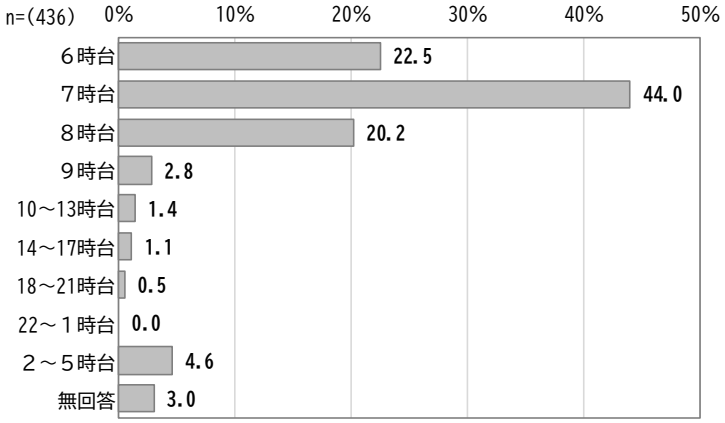


【問9で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問11　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。（□には数字1つずつ）

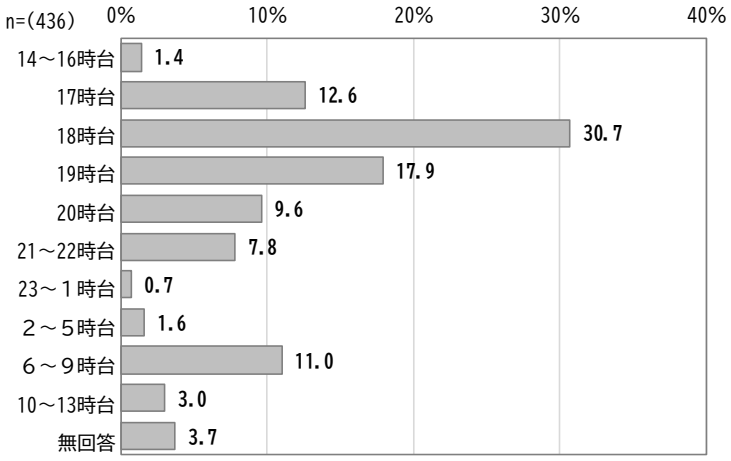
■家を出る時間

家を出る時間は、「7時台」が44.0%と最も多くなっている。



■帰宅時間

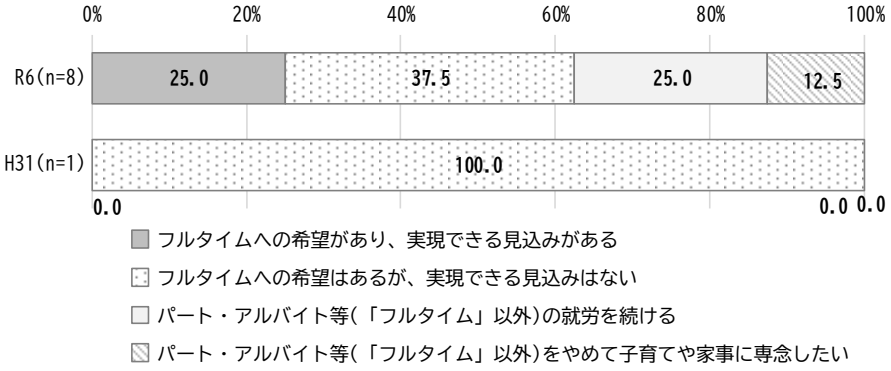
帰宅時間は、「18時台」が30.7%と最も多くなっている



【問9で「3.」「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問12　フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)就労への希望はありますか。(○は1つ)

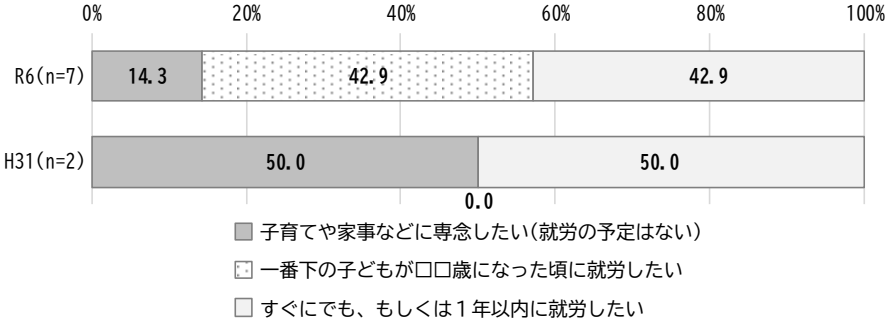
回答者数が30人以下のためコメント省略。



【問9で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。】

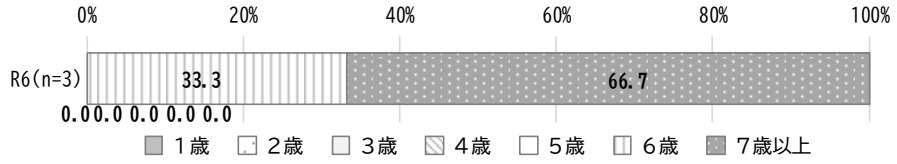
問13　就労希望はありますか。また、該当する選択肢の□内に数字でご記入ください。
(○は1つ、□には数字1つずつ)

回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した方の子どもの年齢

回答者数が30人以下のためコメント省略。



■「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態

回答者3人のうち全員が「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」と回答している。

■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1週当たりの就労日数

■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1日当たりの就労時間

いずれも該当者なし

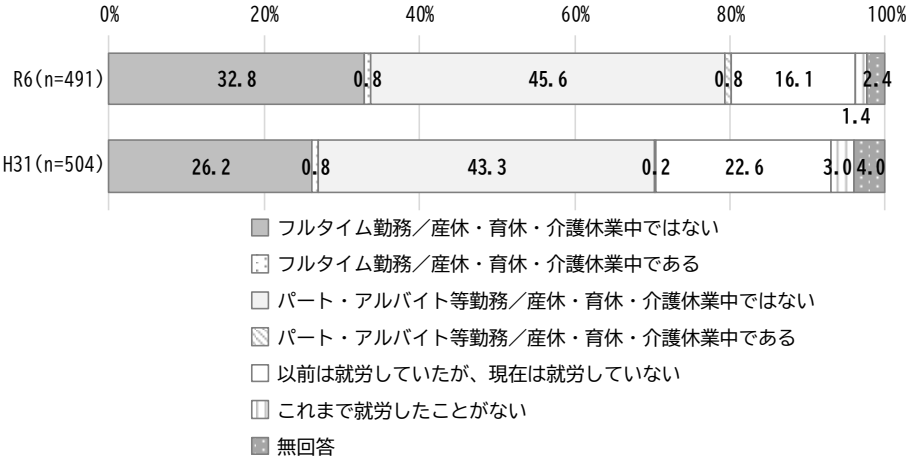
4. お子さんの保護者【母親】の就労状況について

問14　母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。(○は1つ)

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が45.6%、次いで「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が32.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.1%となっている。

学年別にみると、4年生で「パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中ではない」は全体と比較して6.4ポイント高くなっている。

H31年との比較において、「フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が6.6ポイント、「パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中ではない」が2.3ポイントそれぞれ高くなっており、母親が就労を継続しながら育児をしている家庭が増加していることがうかがえる。



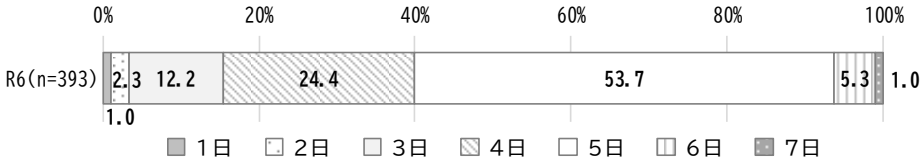
		調査数	問14　【母親】就労状況						
			フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム勤務／産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等勤務／産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		491	161	4	224	4	79	7	12
		100.0	32.8	0.8	45.6	0.8	16.1	1.4	2.4
問1学年	1年生	81	30	－	37	－	13	1	－
		100.0	37.0	－	45.7	－	16.0	1.2	－
	2年生	72	21	1	29	2	13	2	4
		100.0	29.2	1.4	40.3	2.8	18.1	2.8	5.6
	3年生	86	28	1	38	－	17	1	1
		100.0	32.6	1.2	44.2	－	19.8	1.2	1.2
	4年生	75	23	1	39	1	9	2	－
		100.0	30.7	1.3	52.0	1.3	12.0	2.7	－
	5年生	77	23	1	40	－	12	－	1
		100.0	29.9	1.3	51.9	－	15.6	－	1.3
	6年生	99	36	－	41	1	14	1	6
		100.0	36.4	－	41.4	1.0	14.1	1.0	6.1

【問14で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問15　1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」をそれぞれお答えください。
（□には数字1つずつ）

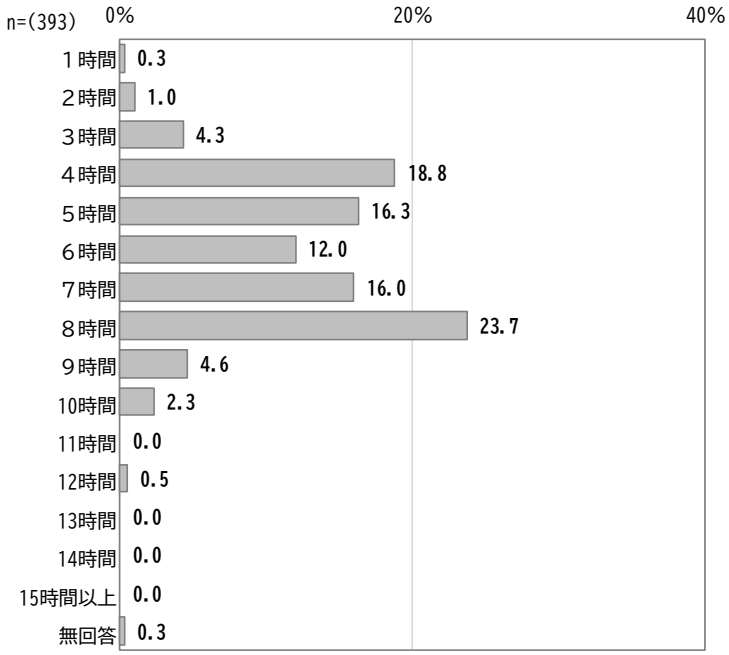
■1週当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「5日」が53.7%と最も多くなっている。



■1日当たりの就労時間

1日当たりの就労時間は、「8時間」が23.7%と最も多くなっている。

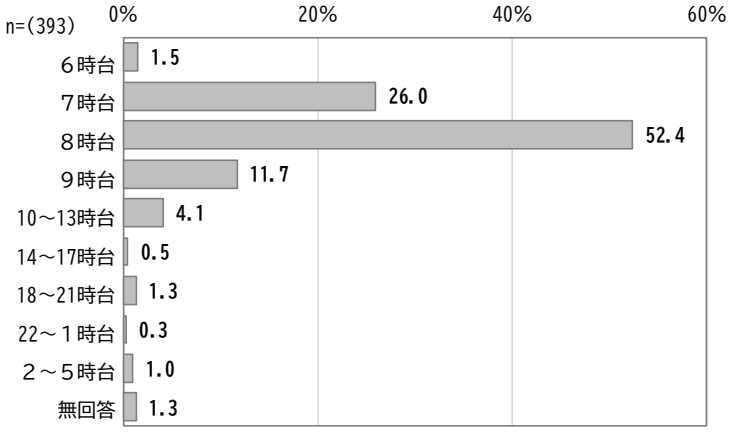


【問14で「1.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問16　家を出る時間と帰宅時間を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。
（□には数字1つずつ）

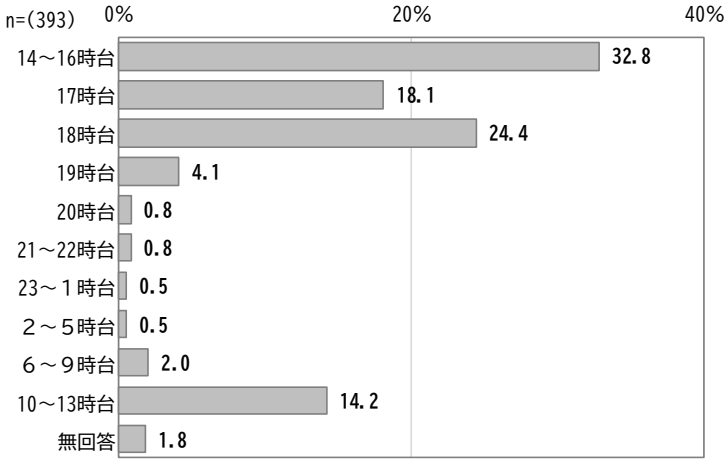
■家を出る時間

家を出る時間は、「8時台」が52.4%と最も多くなっている。



■帰宅時間

帰宅時間は、「14～16時台」が32.8%と最も多くなっている。



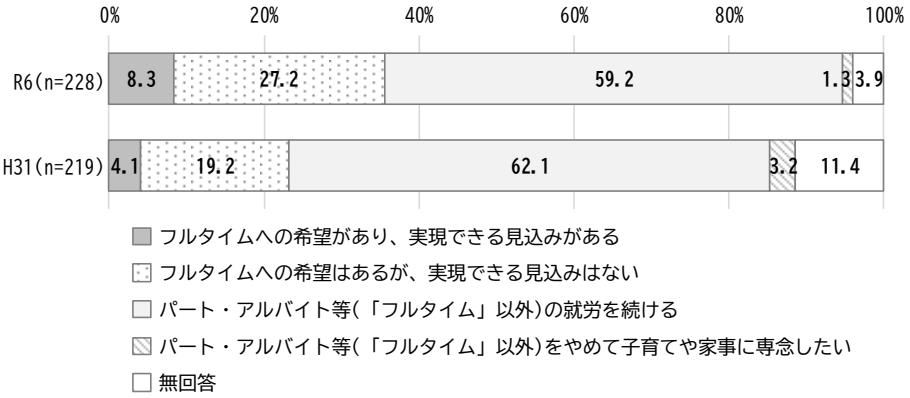
【問14で「3.」「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問17　フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)就労への希望はありますか。(○は1つ)

フルタイム就労への希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続ける」が59.2%と最も多く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.2%となっている。

学年別にみると、4年生で「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が全体と比較して7.8ポイント高くなっている。

H31年との比較において、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続ける」が最も多くなっているものの、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ高くなっていることから、フルタイム勤務を希望する母親が増加していることがうかがえる。



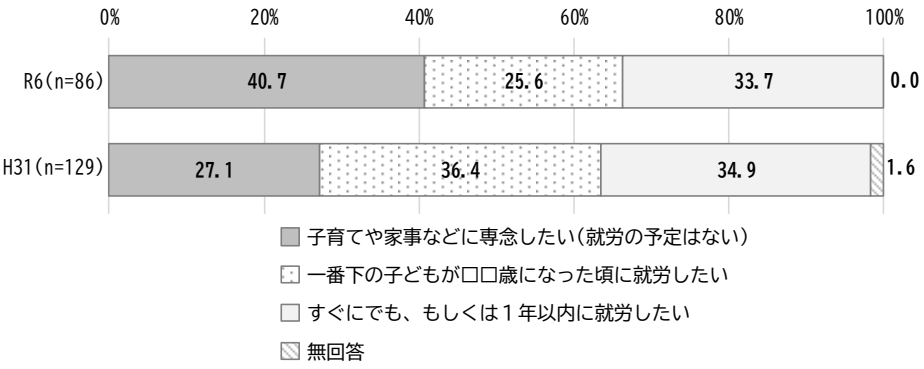
		調査数	問17　【母親】フルタイム就労への意向				
			フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続ける	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
全体		228	19	62	135	3	9
		100.0	8.3	27.2	59.2	1.3	3.9
問1学年	1年生	37	3	11	21	2	－
		100.0	8.1	29.7	56.8	5.4	－
	2年生	31	2	8	19	1	1
		100.0	6.5	25.8	61.3	3.2	3.2
	3年生	38	2	9	25	－	2
		100.0	5.3	23.7	65.8	－	5.3
	4年生	40	5	14	19	－	2
		100.0	12.5	35.0	47.5	－	5.0
	5年生	40	5	9	25	－	1
		100.0	12.5	22.5	62.5	－	2.5
	6年生	42	2	11	26	－	3
		100.0	4.8	26.2	61.9	－	7.1

【問14で「5.」「6.」に○をつけた方にうかがいます。】

問18　就労希望はありますか。また、該当する選択肢の□内に数字でご記入ください。
（○は1つ、□には数字1つずつ）

就労希望は、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が40.7%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.7%、「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」が25.6%となっている。

H31年と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が13.6ポイント高くなっている。

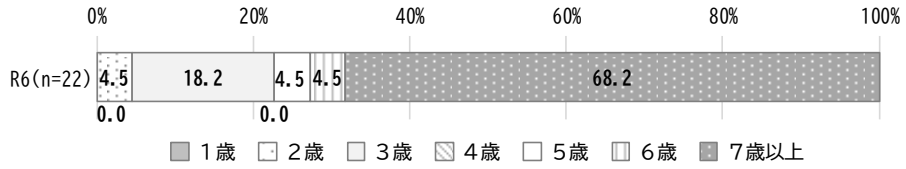


		調査数	問18　【母親】就労希望		
			子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	一番下の子どもが○歳になった頃に就労したい	すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
全 体		86	35	22	29
		100.0	40.7	25.6	33.7
問1 学年	1年生	14	5	5	4
		100.0	35.7	35.7	28.6
	2年生	15	3	5	7
		100.0	20.0	33.3	46.7
	3年生	18	8	3	7
		100.0	44.4	16.7	38.9
	4年生	11	5	3	3
		100.0	45.5	27.3	27.3
	5年生	12	6	4	2
		100.0	50.0	33.3	16.7
	6年生	15	8	2	5
		100.0	53.3	13.3	33.3

■「一番下の子どもが□□歳になった頃に就労したい」と回答した方の子どもの年齢

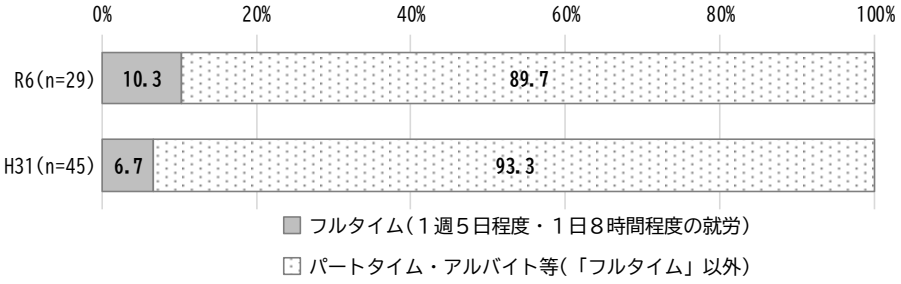
子どもの年齢は、「7歳以上」が68.2%と最も多くなっている。

子どもが小学生になることで、時間を確保でき、出費が増加する時期に就労を考える母親が多いことがうかがえる。



■「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方の希望する就労形態

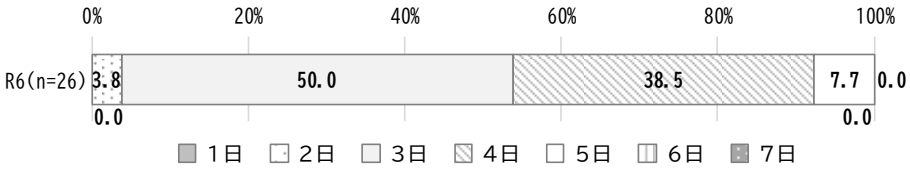
希望する就労形態は、「パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)が89.7%となっている。



		調査数	問18-1 【母親】希望する就労形態	
			フルタイム	パートタイム・アルバイト等
全 体		29	3	26
		100.0	10.3	89.7
問1 学年	1年生	4	−	4
		100.0	−	100.0
	2年生	7	2	5
		100.0	28.6	71.4
	3年生	7	1	6
		100.0	14.3	85.7
	4年生	3	−	3
		100.0	−	100.0
	5年生	2	−	2
		100.0	−	100.0
	6年生	5	−	5
		100.0	−	100.0

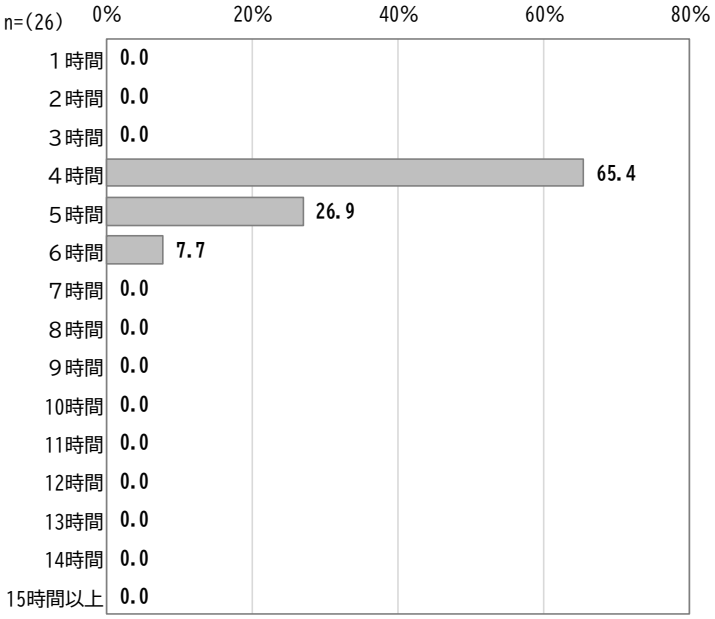
■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1週間当たりの就労日数

1週当たりの就労日数は、「3日」が50.0%と最も多くなっている。



■「パートタイム・アルバイト等」と回答した方の希望する1日当たりの就労時間

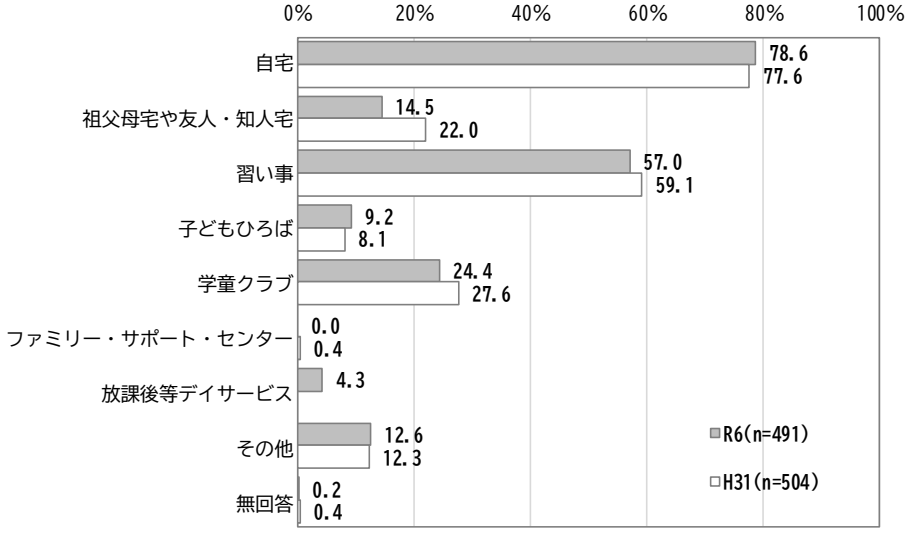
1日当たりの就労時間は、「4時間」が65.4%と最も多くなっている。



5. お子さんの放課後の過ごし方について

問19　放課後をどのような場所で過ごしていますか。また、それぞれ週あたりの日数や時間についてお答えください。（あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ）

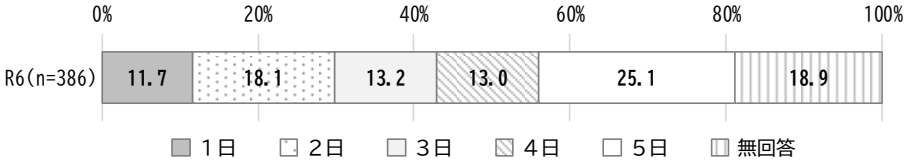
現在の過ごし方には、「自宅」が78.6%と最も多く、次いで「習い事」が57.0%、「学童クラブ」が24.4%となっている。



※選択肢追加のため、H31の「放課後等デイサービス」は記載なし

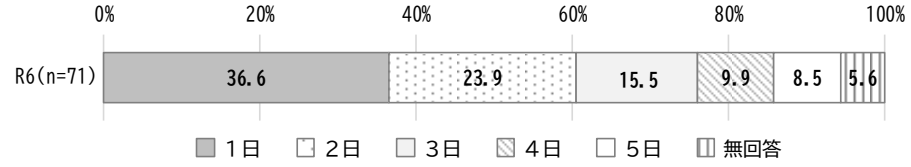
■「自宅」で利用している日数

自宅の利用日数は、「5日」が25.1%と最も多くなっている。



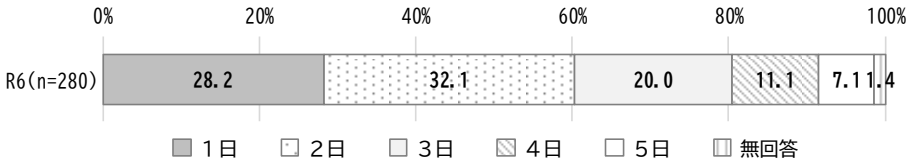
■「祖父母宅や友人・知人宅」で利用している日数

祖父母宅や友人・知人宅の利用日数は、「1日」が36.6%と最も多くなっている。



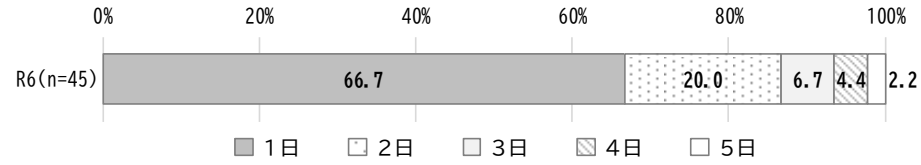
■「習い事」で利用している日数

習い事の利用日数は、「2日」が32.1%と最も多くなっている。



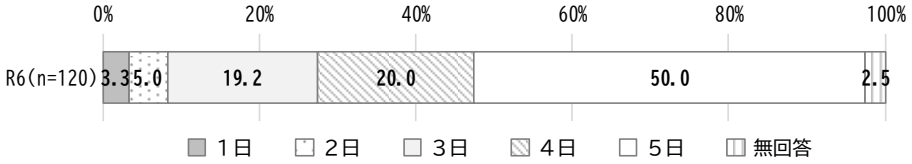
■「子どもひろば」で利用している日数

子どもひろばの利用日数は、「1日」が66.7%と最も多くなっている。



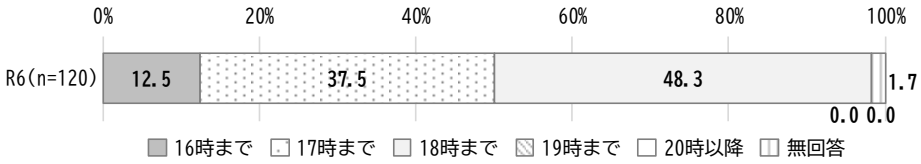
■「学童クラブ」で利用している日数

学童クラブの利用日数は、「5日」が50.0%と最も多くなっている。



■「学童クラブ」で利用している終了時間

学童クラブの利用終了時間は、「18時まで」が48.3%と最も多くなっている。

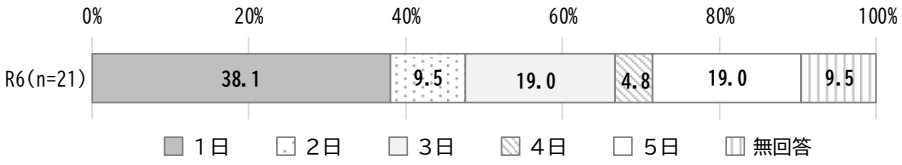


■「ファミリー・サポート・センター」で利用している日数

該当者なし

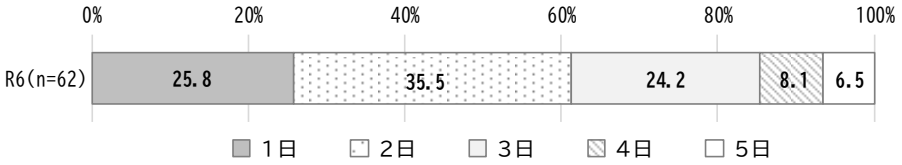
■「放課後等デイサービス」で利用している日数

放課後等デイサービスの利用日数は、「1日」が38.1%と最も多くなっている。



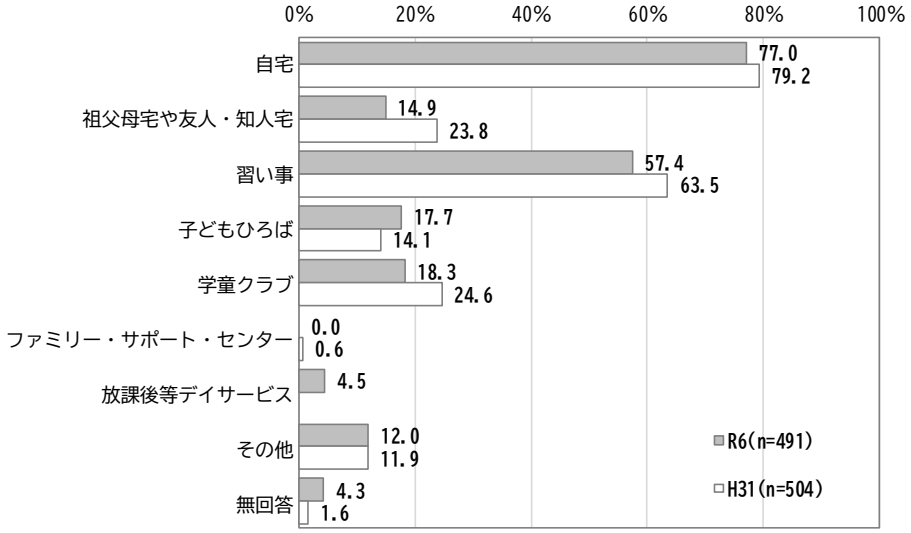
■「その他」の方法で利用している日数

その他の方法の利用日数は、「2日」が35.5%と最も多くなっている。



問20　今後(小学校卒業まで)は、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、それぞれ週あたりの日数や時間についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○、□には数字1つずつ)

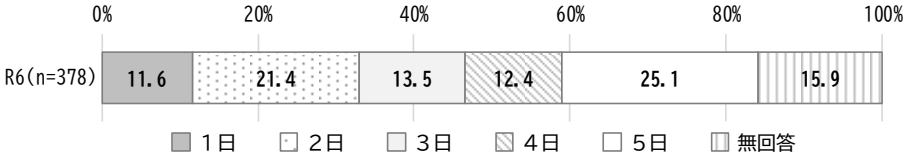
今後の過ごし方は、「自宅」が77.0%と最も多く、次いで「習い事」が57.4%、「学童クラブ」が18.3%となっている。



※選択肢追加のため、H31の「放課後等デイサービス」は記載なし

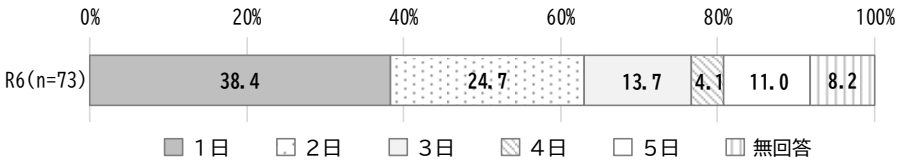
■「自宅」で利用したい日数

自宅の利用希望日数は、「5日」が25.1%と最も多くなっている。



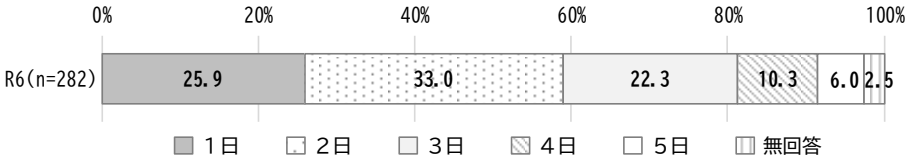
■「祖父母宅や友人・知人宅」で利用したい日数

祖父母宅や友人・知人宅の利用希望日数は、「1日」が38.4%と最も多くなっている。



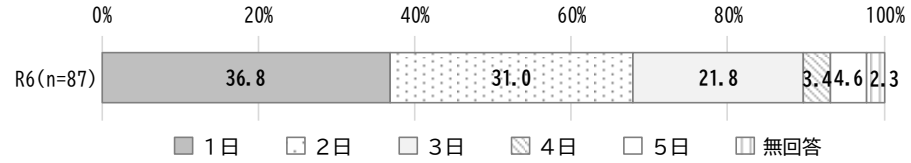
■「習い事」で利用したい日数

習い事の利用希望日数は、「2日」が33.0%と最も多くなっている。



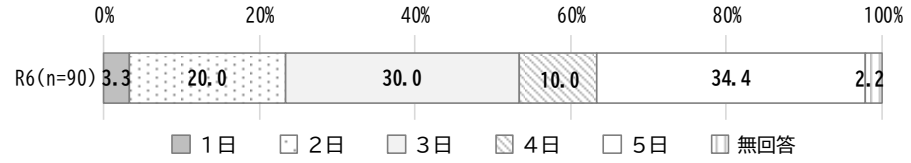
■「子どもひろばで利用したい日数

子どもひろばの利用希望日数は、「1日」が36.8%と最も多くなっている。



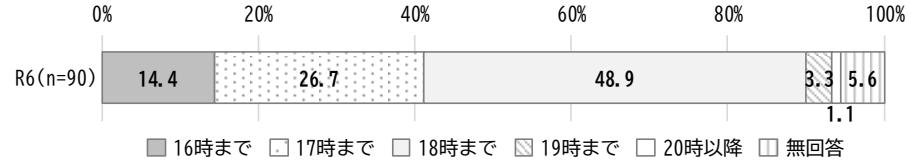
■「学童クラブ」で利用したい日数

学童クラブの利用希望日数は、「5日」が34.4%と最も多くなっている。



■「学童クラブ」で利用したい終了時間

学童クラブの利用終了時間は、「18時まで」が48.9%と最も多くなっている。

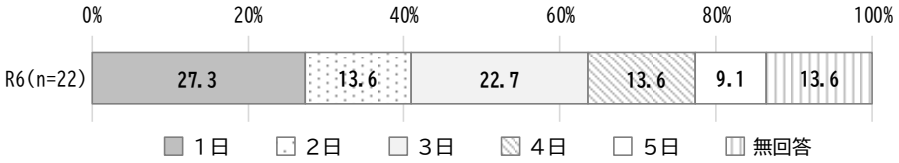


■「ファミリー・サポート・センター」で利用したい日数

該当者なし

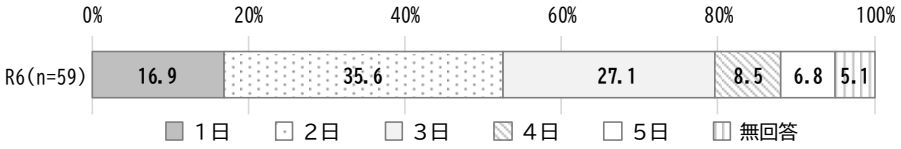
■「放課後等デイサービス」で利用したい日数

放課後等デイサービスの利用希望日数は、「1日」が27.3%と最も多くなっている。



■「その他」の方法で利用したい日数

その他の方法の利用希望日数は、「2日」が35.6%と最も多くなっている。

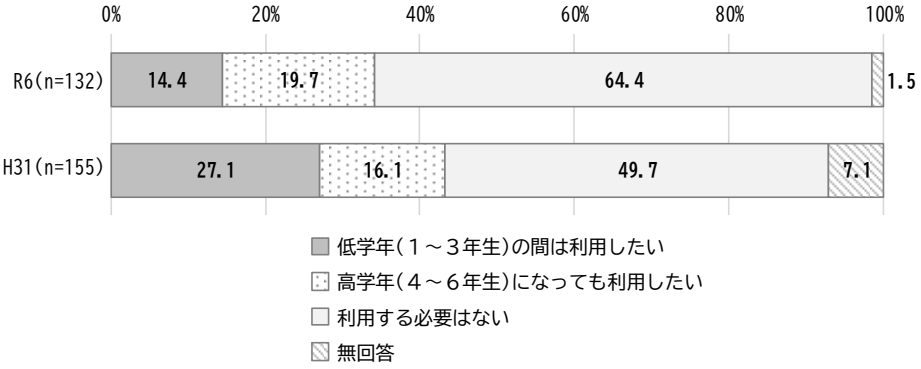


【問19または問20で「5.学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。】

問21　土曜に学童クラブの利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。(○は1つ、□には数字1つずつ)

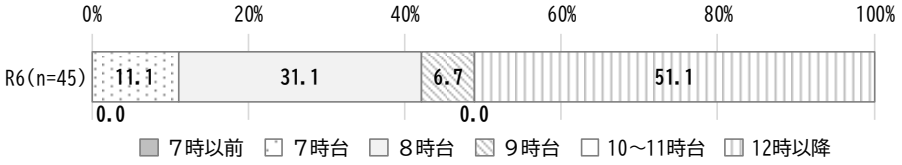
土曜の学童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が64.4%、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が19.7%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が14.4%となっている。

H31年と比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が12.7ポイント低くなっている一方、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が3.6ポイント、「利用する必要はない」が14.7ポイント、それぞれ高くなっている。



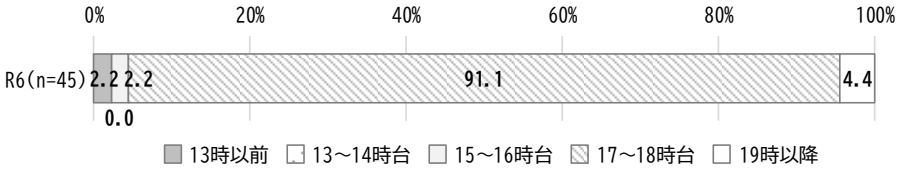
■土曜の学童クラブの利用したい開始時間

利用開始時間は、「12時以降」が51.1%と最も多くなっている。



■土曜の学童クラブの利用したい終了時間

利用終了時間は、「17～18時台」が91.1%と最も多くなっている。

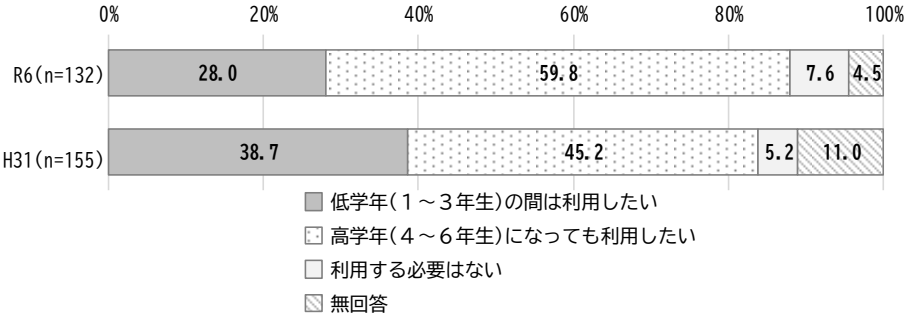


【問19または問20で「5.学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。】

問22　夏休みなど長期休暇中に学童クラブの利用希望はありますか。利用したい場合は、利用したい時間帯を24時間制(例：午後6時→18時)でお答えください。(○は1つ、□には数字1つずつ)

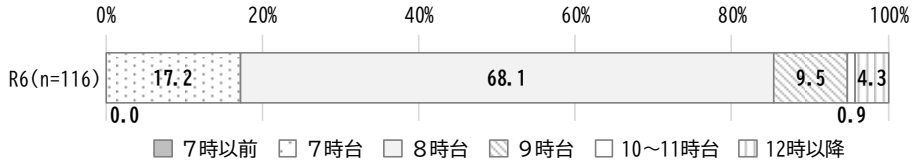
長期休暇中の学童クラブの利用意向は、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」は59.8%と最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が28.0%となっている。

H31年との比較において、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が14.6ポイント高く、また、土曜日に比べて利用希望が多いことから、長期休暇中の学童クラブの利用について検討の必要があると考えられる。



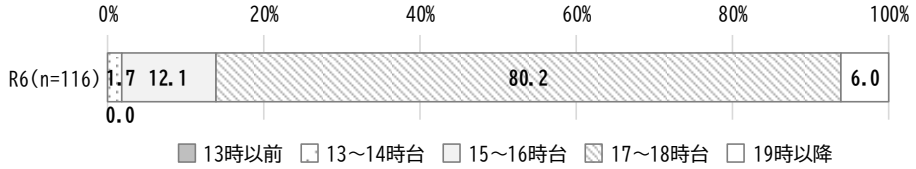
■長期休暇中の学童クラブの利用したい開始時間

利用開始時間は、「8時台」が68.1%と最も多くなっている。



■長期休暇中の学童クラブの利用したい終了時間

利用終了時間は、「17～18 時台」が80.2%と最も多くなっている。



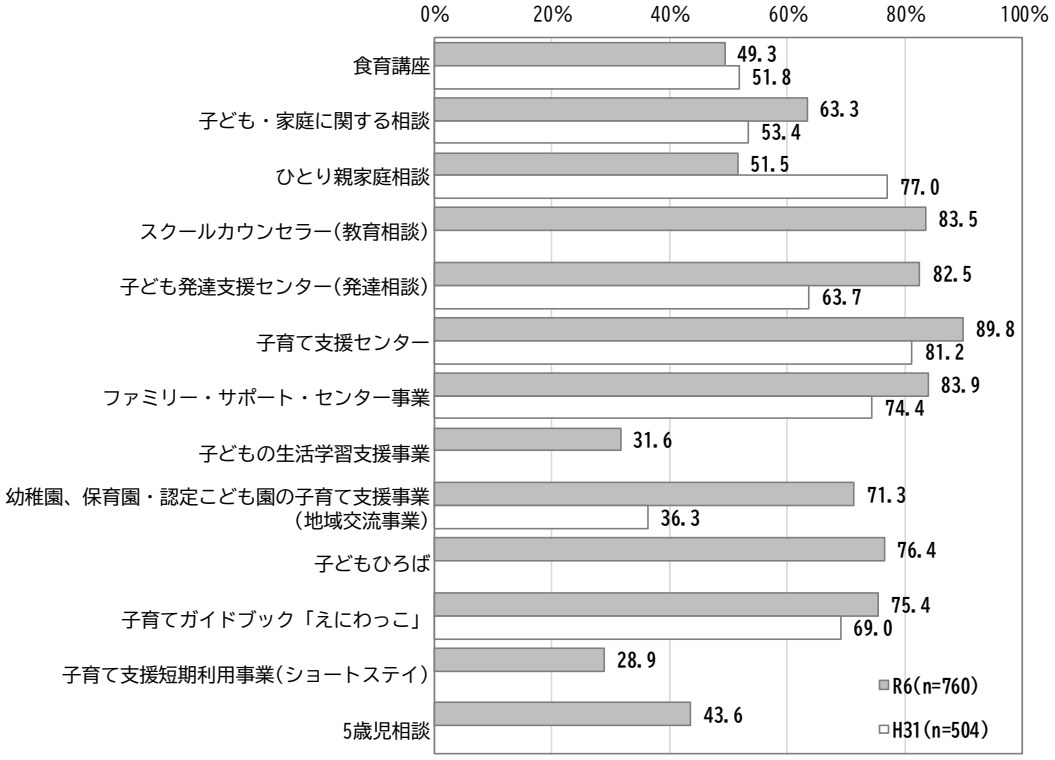
6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問23　下記の事業について、「知っている」「これまでに利用したことがある」「今後利用したい」の項目ごとにお答えください。（それぞれ○は1つ）

■知っている【認知度】

子育て支援事業の認知状況は、「子育て支援センター」が89.8%と最もよく知られており、次いで「ファミリー・サポート・センター事業」が83.9%、「スクールカウンセラー（教育相談）」が83.5%となっている。

H31年との比較において、「幼稚園、保育園・認定こども園の子育て支援事業（地域交流事業）」が35.0ポイント、「子ども発達支援センター（発達相談）」が18.8ポイント、「ファミリー・サポート・センター事業」が9.5ポイント、「子育て支援センター」が8.6ポイント、それぞれ高くなっていることから、認知度が高まっていることがうかがえる。

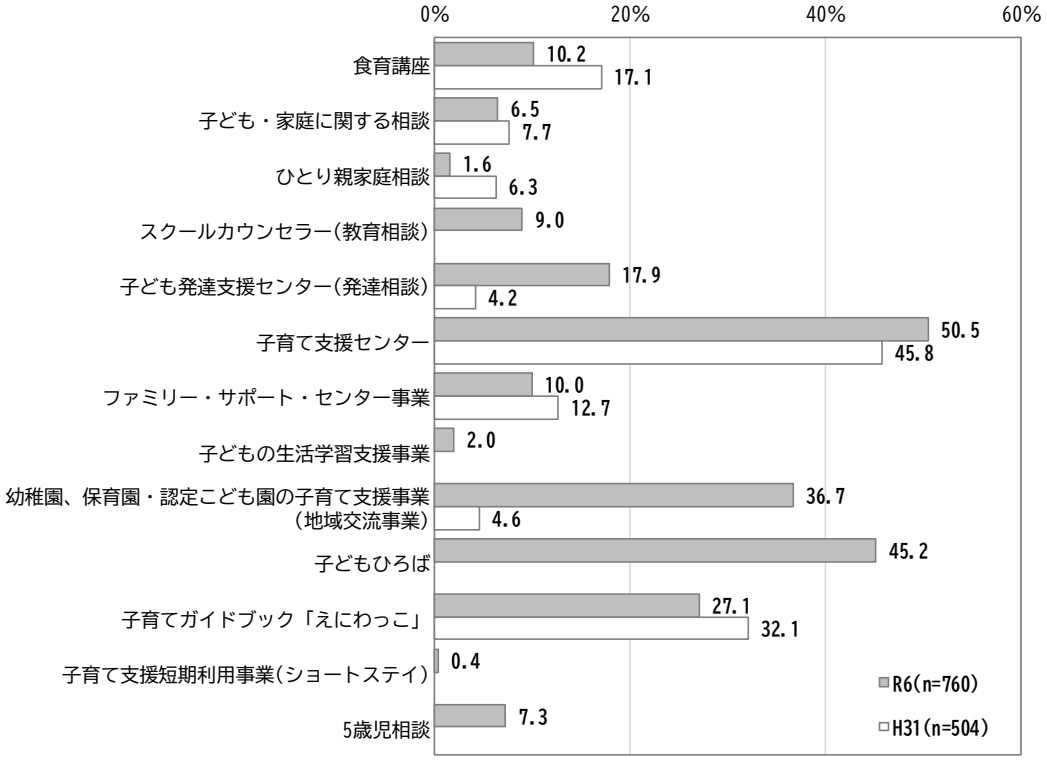


※選択肢追加のため、H31の「スクールカウンセラー（教育相談）」「子どもの生活学習支援事業」「子どもひろば」「子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」「5歳児相談」は記載なし

■これまでに利用したことがある【利用経験】

子育て支援事業の利用経験は、「子育て支援センター」が50.5％と最も多く、次いで「子どもひろば」が45.2％となっている。

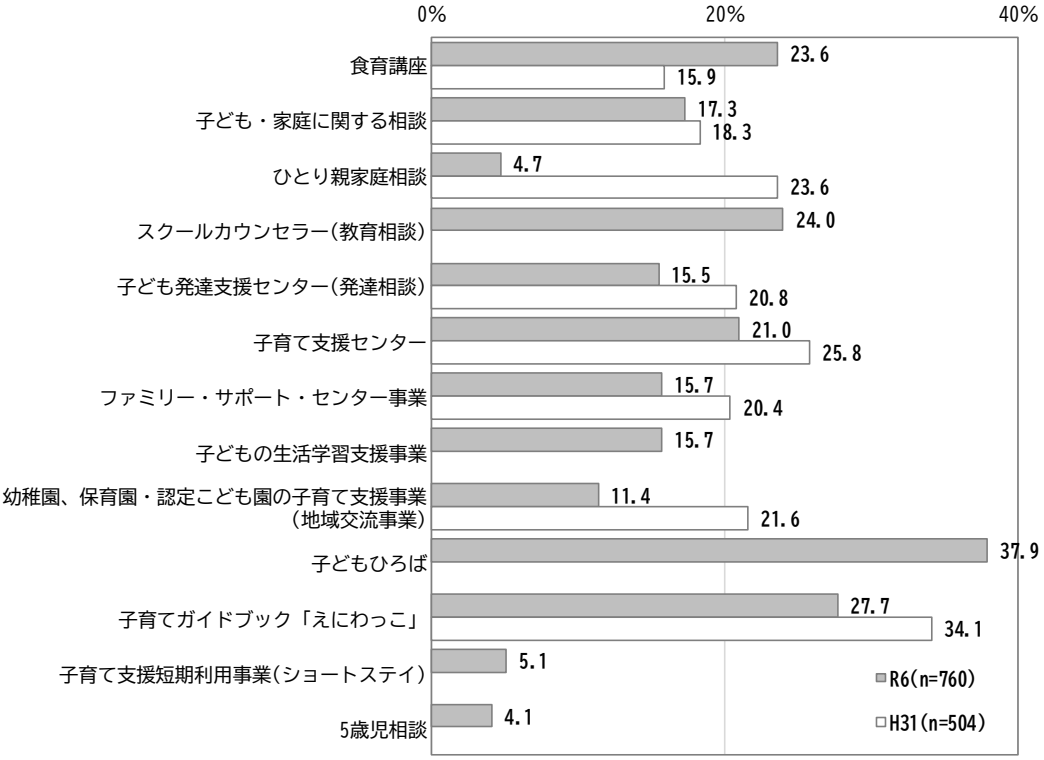
H31年との比較において、「幼稚園、保育園・認定こども園の子育て支援事業（地域交流事業）」が32.1ポイント、「子ども発達支援センター（発達相談）」が13.7ポイント、「子育て支援センター」が4.7ポイント、それぞれ高くなっていることから、ニーズに沿った事業が行われていることがうかがえる。



※選択肢追加のため、H31の「スクールカウンセラー（教育相談）」「子どもの生活学習支援事業」「子どもひろば」「子育て支援短期利用事業（ショートステイ）」「5歳児相談」は記載なし

■今後利用したい【利用意向】

子育て支援事業の利用意向は、「子どもひろば」が37.9%と最も多く、次いで「子育てガイドブック「えにわっこ」」が27.7%、「スクールカウンセラー(教育相談)」が24.0%となっている。



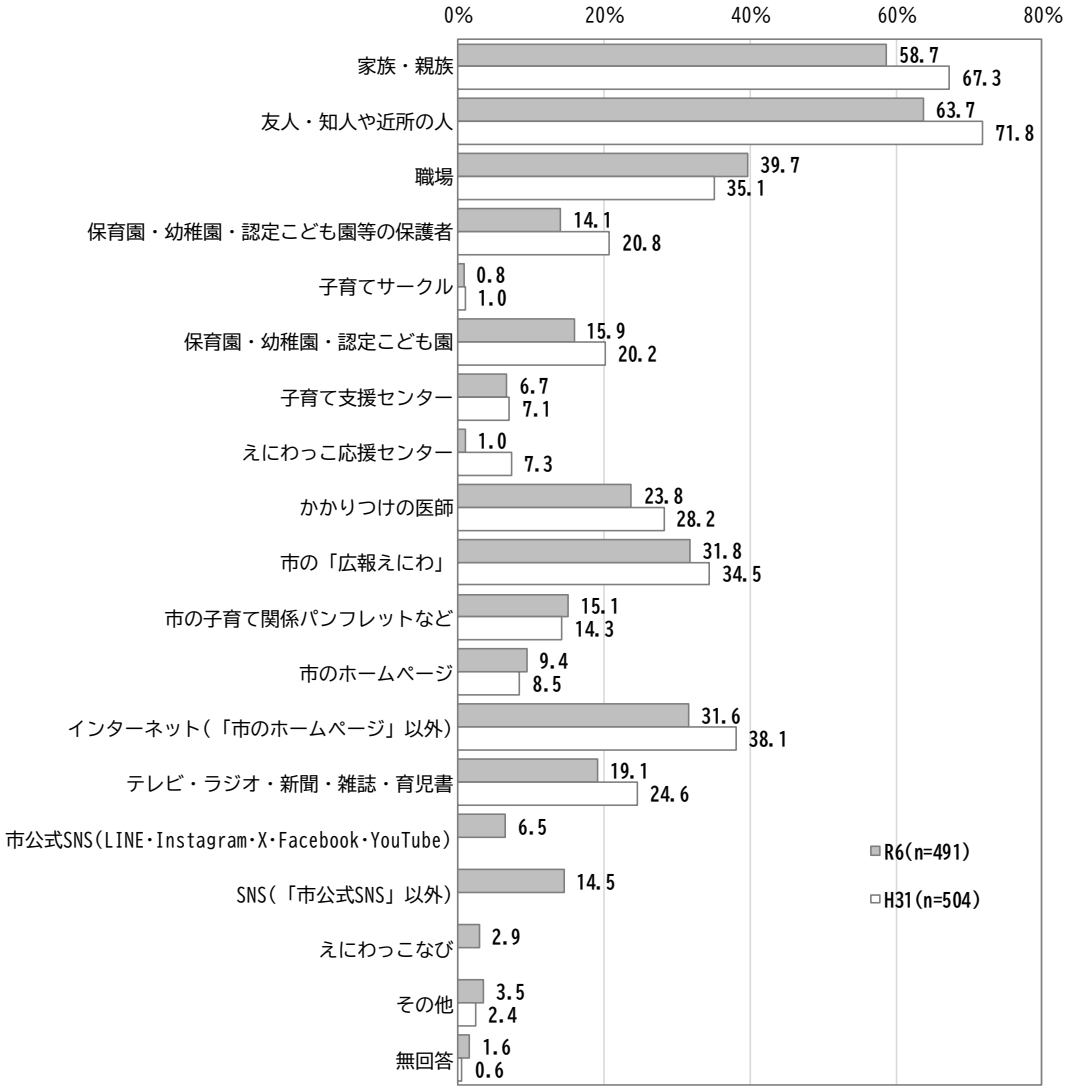
※選択肢追加のため、H31の「スクールカウンセラー(教育相談)」「子どもの生活学習支援事業」「子どもひろば」「子育て支援短期利用事業(ショートステイ)」「5歳児相談」は記載なし

7. これからの子ども・子育て支援全般について

問24　子どもの健康(病気予防・発育・発達)・子育て(育児・施設等)に関する情報をどこから(または、誰から)受け取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの健康に関する情報の入手先は、「友人・知人や近所の人」が63.7%と最も多く、次いで「家族・親族」が58.7%、「職場」が39.7%となっている。一方、「市のホームページ」や「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・Youtube)」が10.0%に満たないことから、市の取組が十分に利用されていないことがうかがえる。

なお、「インターネット(「市のホームページ」以外)」が6.5ポイント低くなっていることについて、追加選択肢である「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・YouTube)」「SNS(「市公式SNS」以外)」「えにわっこなび」に分散されたことも一因と考えられる。



※選択肢追加のため、H31の「市公式SNS(LINE・Instagram・X・Facebook・YouTube)」「SNS(「市公式SNS」以外)」「えにわっこなび」は記載なし

		調査数	問24　子どもの健康に関する情報の入手先									
			家族・親族	友人・知人や近所の人	職場	保育園・幼稚園・認定こども園等の保護者	子育てサークル	保育園・幼稚園・認定こども園	子育て支援センター	えにわっこ応援センター	かかりつけの医師
全 体		491	288	313	195	69	4	78	33	5	117
		100.0	58.7	63.7	39.7	14.1	0.8	15.9	6.7	1.0	23.8
問1 学年	1年生	81	57	55	34	25	－	21	8	1	24
		100.0	70.4	67.9	42.0	30.9	－	25.9	9.9	1.2	29.6
	2年生	72	42	40	23	9	－	18	4	1	15
		100.0	58.3	55.6	31.9	12.5	－	25.0	5.6	1.4	20.8
	3年生	86	48	48	32	9	－	15	10	－	22
		100.0	55.8	55.8	37.2	10.5	－	17.4	11.6	－	25.6
	4年生	75	44	59	33	11	2	7	3	2	19
		100.0	58.7	78.7	44.0	14.7	2.7	9.3	4.0	2.7	25.3
	5年生	77	37	45	31	7	1	7	2	－	15
		100.0	48.1	58.4	40.3	9.1	1.3	9.1	2.6	－	19.5
	6年生	99	59	66	42	8	1	10	6	1	22
		100.0	59.6	66.7	42.4	8.1	1.0	10.1	6.1	1.0	22.2

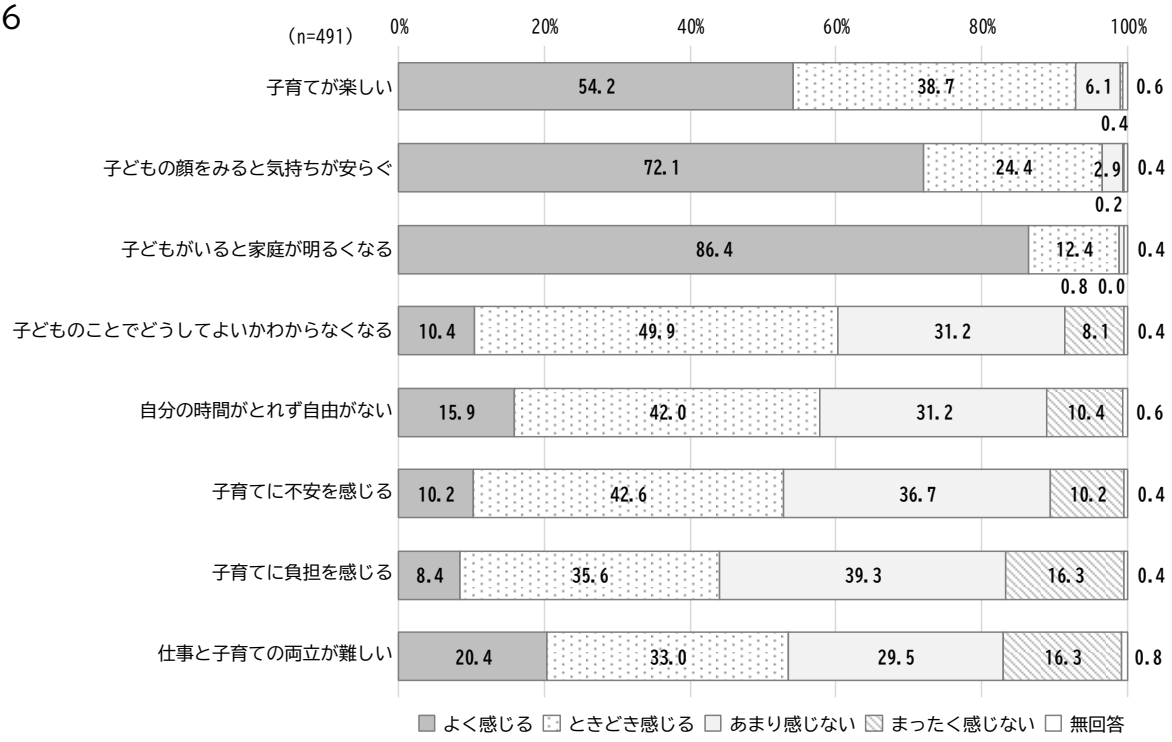
（続き）

		問24　子どもの健康に関する情報の入手先									
		市の「広報えにわ」	市の子育て関係パンフレットなど	市のホームページ	インターネット（「12.」以外）	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・育児書	市公式SNS	ＳＮＳ（「15.」以外）	えにわっこなび	その他	無回答
全 体		156	74	46	155	94	32	71	14	17	8
		31.8	15.1	9.4	31.6	19.1	6.5	14.5	2.9	3.5	1.6
問1 学年	1年生	16	9	8	28	15	3	14	3	1	1
		19.8	11.1	9.9	34.6	18.5	3.7	17.3	3.7	1.2	1.2
	2年生	21	11	5	13	7	5	9	3	4	2
		29.2	15.3	6.9	18.1	9.7	6.9	12.5	4.2	5.6	2.8
	3年生	25	10	9	30	15	4	12	1	－	1
		29.1	11.6	10.5	34.9	17.4	4.7	14.0	1.2	－	1.2
	4年生	28	12	4	29	20	3	10	1	3	－
		37.3	16.0	5.3	38.7	26.7	4.0	13.3	1.3	4.0	－
	5年生	35	16	9	28	14	10	13	3	2	2
		45.5	20.8	11.7	36.4	18.2	13.0	16.9	3.9	2.6	2.6
	6年生	31	16	11	27	23	7	13	3	7	2
		31.3	16.2	11.1	27.3	23.2	7.1	13.1	3.0	7.1	2.0

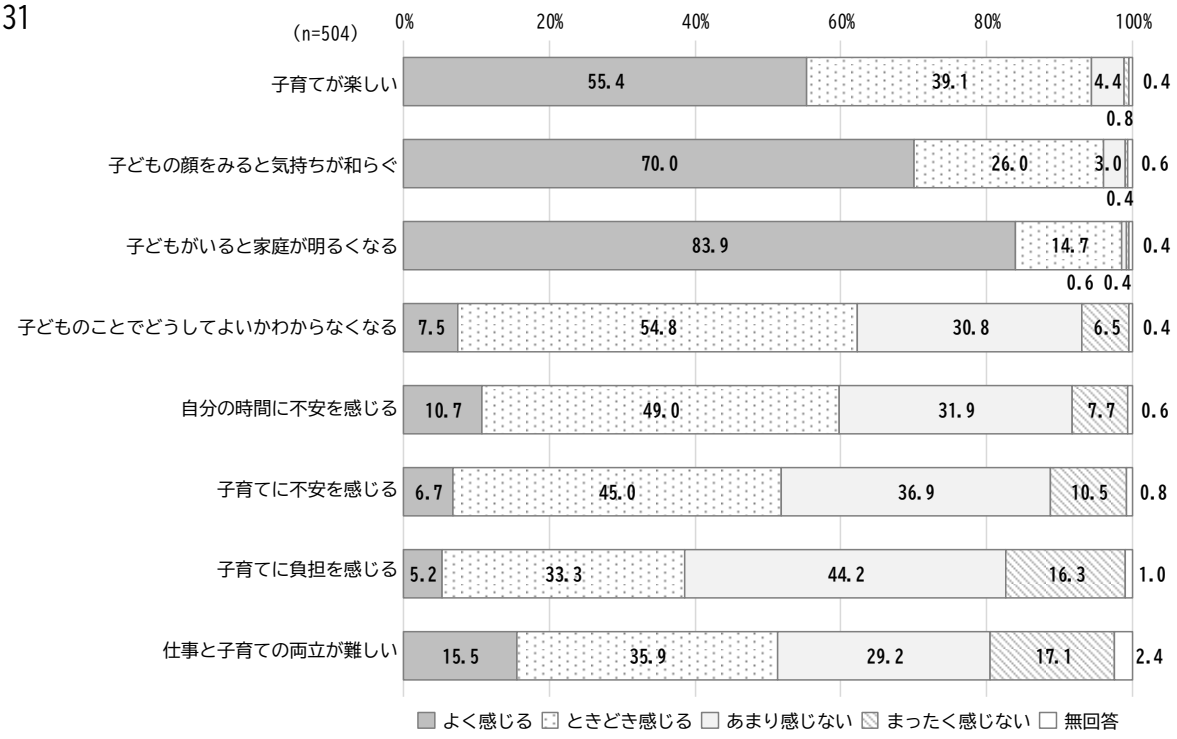
問25　子育てをしていて感じることについて、その程度をお答えください。（それぞれ○は1つ）

子育てをしていて感じることは、「子どもがいると家庭が明るくなる」が86.4%と最も多く、次いで「子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」が72.1%、「子育てが楽しい」が54.2%と感じている反面、「自分の時間がとれず自由がない」「子どものことでどうしてよいかわからなくなる」「子育てに不安を感じる」など、精神的な負担を感じることがある人が50.0%以上となっている。また、「仕事と子育ての両立が難しい」と感じる人が53.4%となっており、職場・家庭それぞれにおける子育てしやすい環境の整備が求められている。

■R６



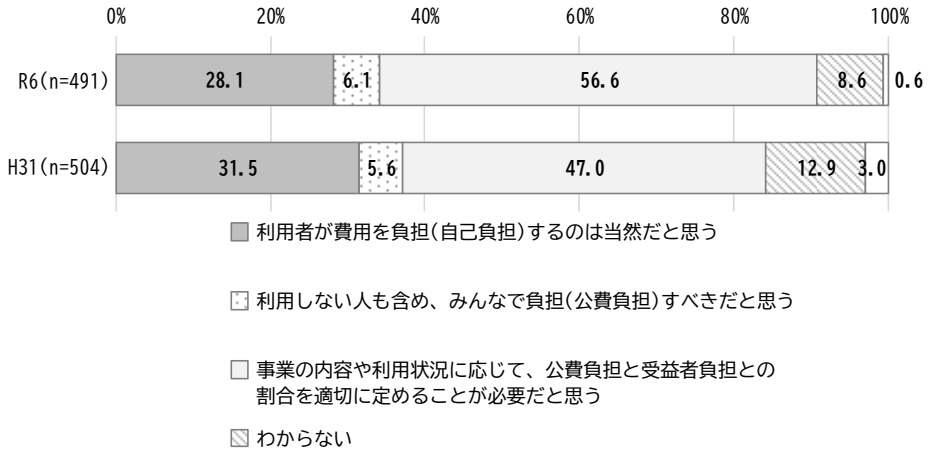
■H31



問26　子育てに関する事業について、利用する人が事業の費用の一部を負担(自己負担)する考え方がありますが、どう思いますか。あなたのお考えに近いものをお選び下さい。
(○は1つ)

利用者が事業の費用の一部を負担するという考え方は、「事業の内容や利用状況に応じて、公費負担と受益者負担との割合を適切に定めることが必要だと思う」が56.6%と最も多く、次いで「利用者が費用を負担(自己負担)するのは当然だと思う」が28.1%となっている。

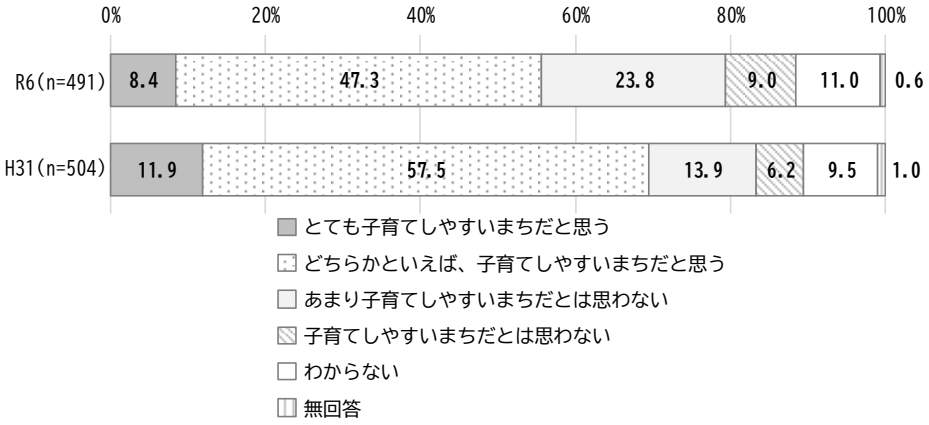
H31年との比較において、「事業の内容や利用状況に応じて、公費負担と受益者負担との割合を適切に定めることが必要だと思う」が9.6ポイント高くなっている。



		調査数	問26　利用者が事業の費用の一部を負担するという考え方について				
			利用者が費用を負担(自己負担)するのは当然だと思う	利用しない人も含め、みんなで負担(公費負担)すべきだと思う	事業の内容や利用状況に応じて、公費負担と受益者負担との割合を適切に定めることが必要だと思う	わからない	無回答
全体		491	138	30	278	42	3
		100.0	28.1	6.1	56.6	8.6	0.6
問1 学年	1年生	81	22	6	44	9	−
		100.0	27.2	7.4	54.3	11.1	−
	2年生	72	15	3	47	7	−
		100.0	20.8	4.2	65.3	9.7	−
	3年生	86	23	5	48	10	−
		100.0	26.7	5.8	55.8	11.6	−
	4年生	75	18	3	51	3	−
		100.0	24.0	4.0	68.0	4.0	−
	5年生	77	23	4	44	5	1
		100.0	29.9	5.2	57.1	6.5	1.3
	6年生	99	36	9	44	8	2
		100.0	36.4	9.1	44.4	8.1	2.0

問27　恵庭市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。（○は1つ）

恵庭市における子育ては、「とても子育てしやすいまちだと思う」の8.4％と、「どちらかといえば、子育てしやすいまちだと思う」の47.3％を合わせると、55.7％の人が恵庭市は子育てがしやすいまちだと感じている。一方、「あまり子育てしやすいまちだとは思わない」の23.8％と、「子育てしやすいまちだとは思わない」の9.0％を合わせると32.8％となり、H31年から12.7ポイント高くなっていることから、子どもや子育てに関する支援が十分でないと感じている人が増加している。



		調査数	問27　恵庭市は子育てがしやすいまちだと思うか					
			とても子育てしやすいまちだと思う	どちらかといえば、子育てしやすいまちだと思う	あまり子育てしやすいまちだとは思わない	子育てしやすいまちだとは思わない	わからない	無回答
全 体		491	41	232	117	44	54	3
		100.0	8.4	47.3	23.8	9.0	11.0	0.6
問1 学年	1年生	81	7	38	23	5	8	－
		100.0	8.6	46.9	28.4	6.2	9.9	－
	2年生	72	8	34	17	6	7	－
		100.0	11.1	47.2	23.6	8.3	9.7	－
	3年生	86	6	33	30	7	9	1
		100.0	7.0	38.4	34.9	8.1	10.5	1.2
	4年生	75	8	38	19	6	4	－
		100.0	10.7	50.7	25.3	8.0	5.3	－
	5年生	77	5	34	17	10	10	1
		100.0	6.5	44.2	22.1	13.0	13.0	1.3
	6年生	99	7	54	11	10	16	1
		100.0	7.1	54.5	11.1	10.1	16.2	1.0

■「とても子育てしやすいまちだと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
子育て支援センター・子育てひろば・図書館等の施設があって助かった	9
公園が多い・きれい・整備されている	7
子育て支援サポートが充実しているから	6
自然が多い	6
子育て家庭が多い、子どもが多い	3
地域の人が親切にしてくれる	2
子育てイベント・子どもが参加できるイベントがあるから	2
治安が良い	2
待機児童が少ない	1
その他	8
合　計	46

■「どちらかといえば、子育てしやすいまちだと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
サポート事業(施設等)が充実している	43
公園や自然が多い	22
困っていないから・特に理由がない	15
医療面の不安	11
子どものイベントが多い	11
生活環境が整っている	9
待機児童が少ない・幼稚園や保育園などが充実している	9
子どもの遊び場が充実している	8
治安が良い	6
地域の人柄が親切	4
子どもが多い	3
他の自治体と比べて良い	1
助成金やサポートを増やしてほしい	1
地元だから愛着がある	1
わからない	1
その他	39
合　計	184

■「あまり子育てしやすいまちだとは思わない」と回答した方の理由

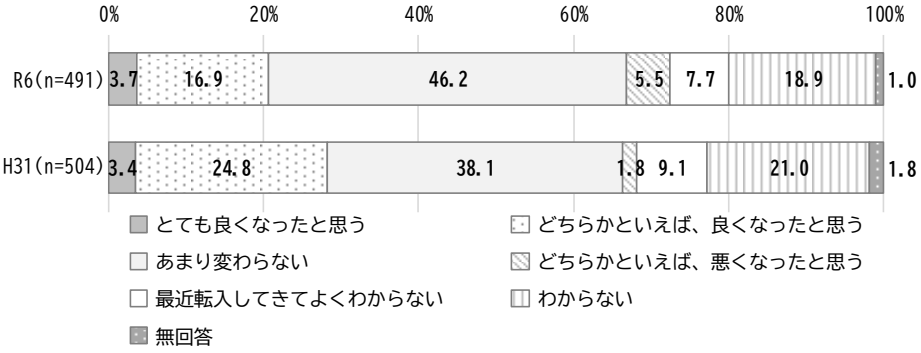
記述内容	件数
医療費が高い・無料ではない・対象年齢を上げてほしい	29
遊べる場所が少ない・増やしてほしい	18
医療施設が少ない・対応が不十分	15
学童が高い・条件が厳しい	12
子育て支援が不十分	11
子どもの預け先が少ない	9
他自治体と比べてよくない	8
助成やサービスを延長・実施してほしい	6
防犯面や事故が不安	5
交通が不便	1
地域によって差がでている	1
その他	16
とくにない・わからない	2
合　計	133

■「子育てしやすいまちだとは思わない」と回答した方の理由

記述内容	件数
医療費が高い・無料ではない・対象年齢を上げてほしい	13
医療施設が少ない・対応が不十分	6
学童が高い・条件が厳しい	5
子どもが遊べる場所（公園・プール等）が少ない・増やしてほしい・遠い	4
他自治体と比べて改善できる点があると思う	4
助成やサービスを延長・実施してほしい	2
その他	8
合　計	42

問28　以前(3～5年前)に比べ、恵庭市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(○は1つ)

以前(3～5年前)に比べての恵庭市の子育て環境は、「とても良くなったと思う」の3.7%と、「どちらかといえば、良くなったと思う」の16.9%を合わせると、20.6%が良くなったと感じている。一方、「あまり変わらない」が46.2%、「どちらかといえば、悪くなったと思う」が5.5%となっていることから、今のニーズに合わせた子どもや子育てに関する事業の見直し、新たな取組を検討していく必要があると考えられる。



		調査数	問28　恵庭市の子育て環境は良くなったと思うか						
			とても良くなったと思う	どちらかといえば、良くなったと思う	あまり変わらない	どちらかといえば、悪くなったと思う	最近転入してきてよくわからない	わからない	無回答
全 体		491	18	83	227	27	38	93	5
		100.0	3.7	16.9	46.2	5.5	7.7	18.9	1.0
問1 学年	1年生	81	1	13	36	1	11	18	1
		100.0	1.2	16.0	44.4	1.2	13.6	22.2	1.2
	2年生	72	3	12	31	3	7	16	－
		100.0	4.2	16.7	43.1	4.2	9.7	22.2	－
	3年生	86	3	15	33	6	10	18	1
		100.0	3.5	17.4	38.4	7.0	11.6	20.9	1.2
	4年生	75	4	9	44	3	1	14	－
		100.0	5.3	12.0	58.7	4.0	1.3	18.7	－
	5年生	77	3	13	41	6	6	7	1
		100.0	3.9	16.9	53.2	7.8	7.8	9.1	1.3
	6年生	99	4	21	41	8	3	20	2
		100.0	4.0	21.2	41.4	8.1	3.0	20.2	2.0

■「とても良くなったと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
子育て支援施設・子どもが集える場所が増えた	5
サービスが良くなった	5
保育料の負担が減った	2
医療費の負担が減った	1
その他	5
合　計	18

■「どちらかといえば、良くなったと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
子育て支援施設・子どもが集える場所が増えた	28
施設がきれい・整備された	10
サービスが良くなった	7
医療費の負担が減った	6
(医療費以外の)金銭的な負担が減った	4
医療施設が増えた	1
その他	11
合　計	67

■「あまり変わらない」と回答した方の理由

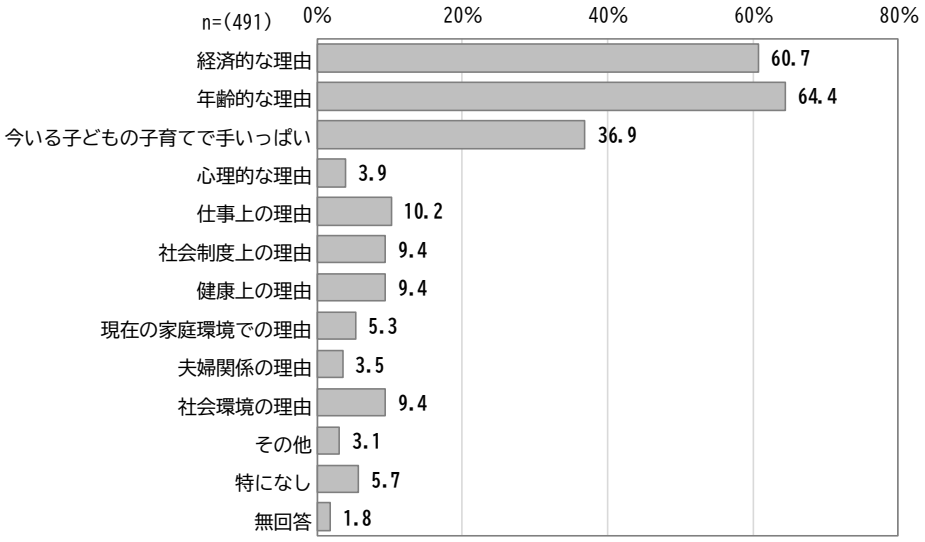
記述内容	件数
なにも変わっていない	94
とくにない・わからない	9
医療費助成を延長してほしい	8
子育て支援施設・子どもが集える場所が少ない	8
施設が少ない	6
(医療費以外の)金銭的な援助が足りない	2
その他	19
合　計	146

■「どちらかといえば、悪くなったと思う」と回答した方の理由

記述内容	件数
施設や店舗が少ない・減っている	8
援助が足りない	6
防犯面や事故が不安	4
その他	9
合　計	27

問29　今後、もう一人子どもを産む際にためらうことや、心配なことはありますか。
（3つまで○）

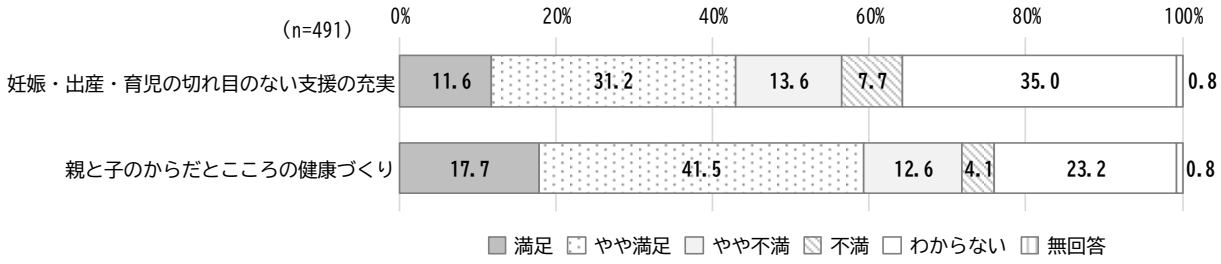
今後、もう一人子どもを産む際の心配なことは、「年齢的な理由」が64.4％と最も多く、次いで「経済的な理由」が60.7％、「今いる子どもの子育てで手いっぱい」が36.9％となっている。このことから、2人以上の子ども・子育てに関するためらいや心配を解消するためには、経済的な支援やサポート体制の構築が有効であると考えられる。



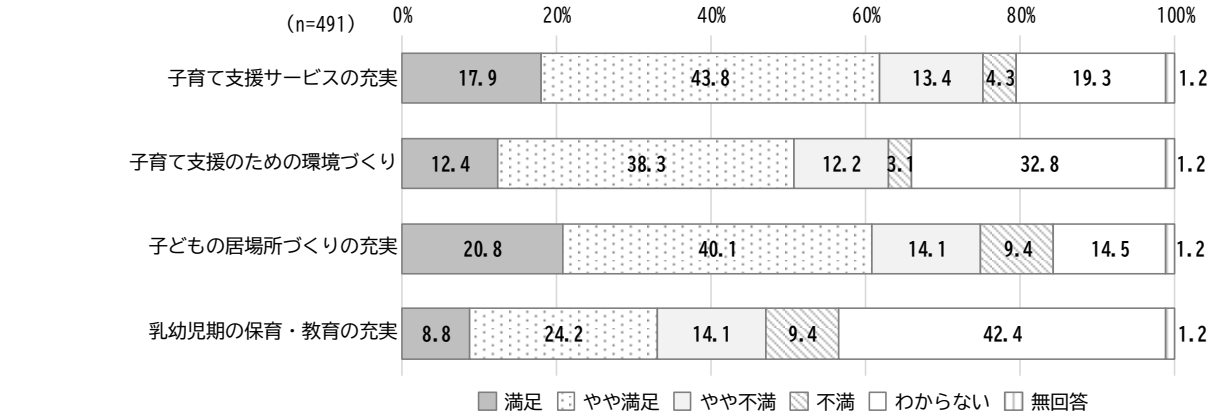
問30　恵庭市の子育て環境についての満足度をお答えください。（それぞれ○は1つ）

恵庭市の子育て環境は、『親子の健康』『子育て支援』『子どもの安全と子育てしやすい生活環境』において、「満足」と「やや満足」を合わせると50％を超える項目が多くなっている。一方、『配慮を必要とする子ども・家庭への支援』『仕事と家庭の両立』において、「わからない」が50％を超える項目が多く、『豊かな心を育む教育環境』においては、半数の項目が「満足」「やや満足」が多くなっている。

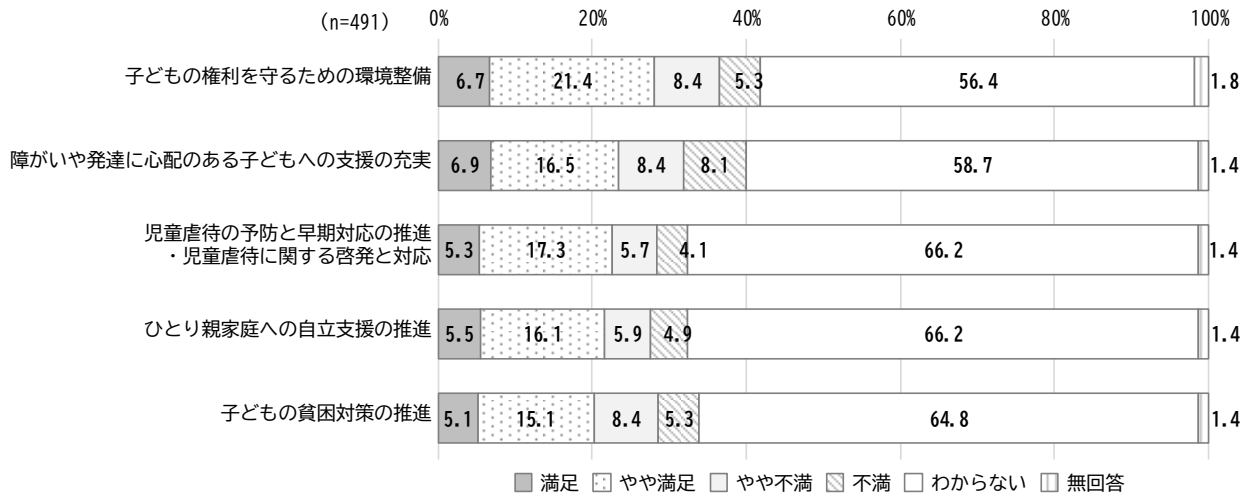
■親子の健康について



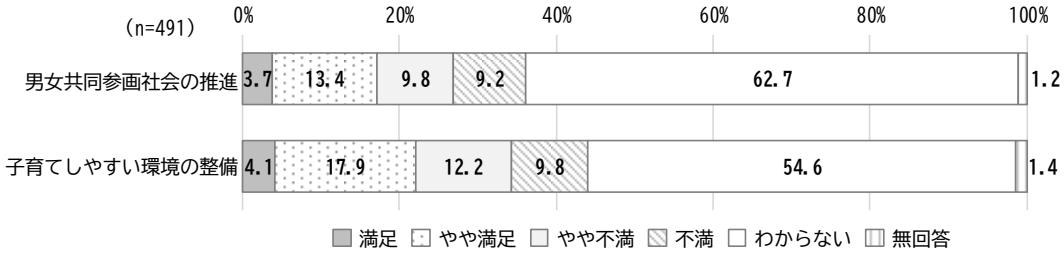
■子育て支援について



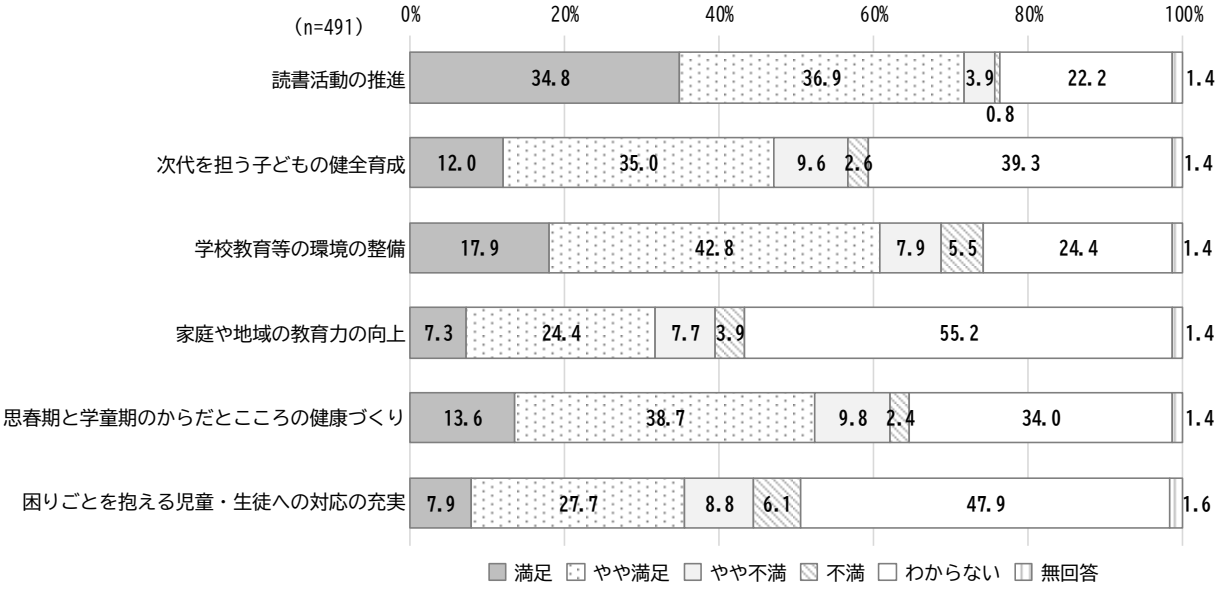
■配慮を必要とする子ども・家庭への支援について



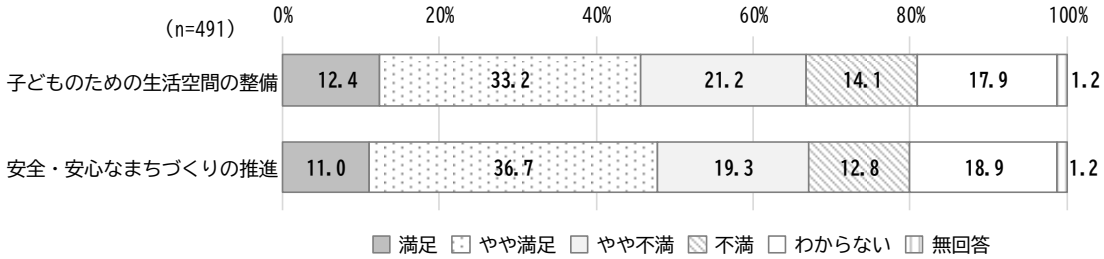
■仕事と家庭の両立について



■豊かな心を育む教育環境について

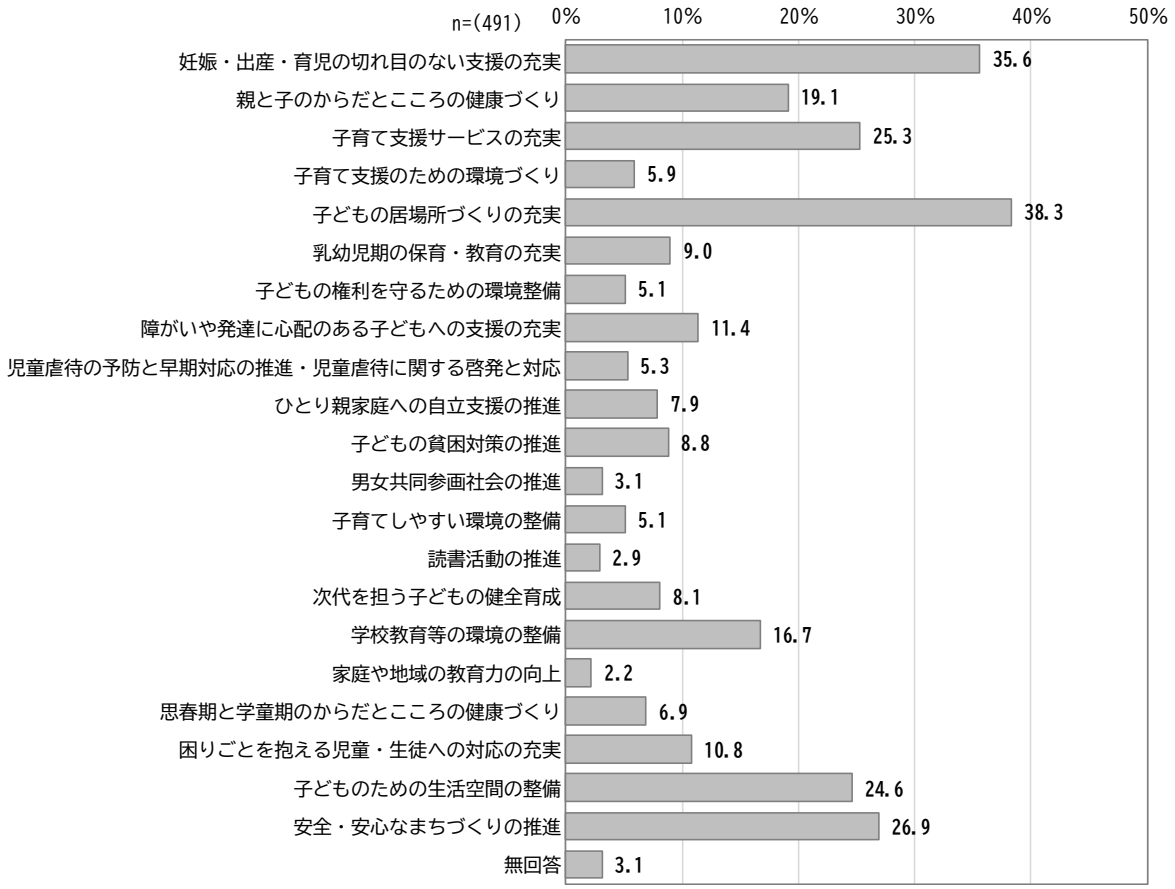


■子どもの安全と子育てしやすい生活環境について



問31　恵庭市の子育て環境について、特に重要だと思うものを問30の「ア.」～「ナ.」から3つまで選び、下記の枠に1つずつ記入して下さい。

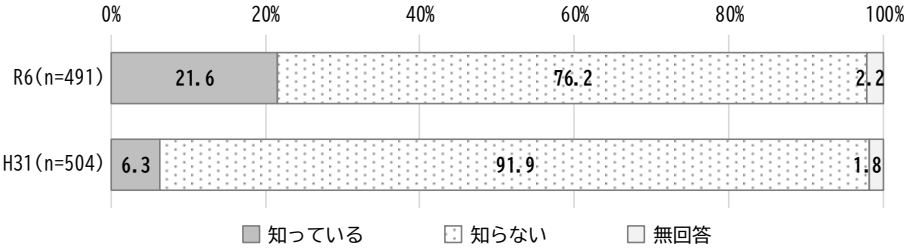
恵庭市の子育て環境で特に重要だと思うものは、「子どもの居場所づくりの充実」が38.3%と最も多く、次いで「妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の充実」が35.6%、「安全・安心なまちづくりの推進」が26.9%となっている。このことから、子どもの居場所づくりの推進を図るとともに、支援体制の整備・連携を強化する必要があると考えられる。



問32　えにわ子育て応援隊を知っていますか。（○は1つ）

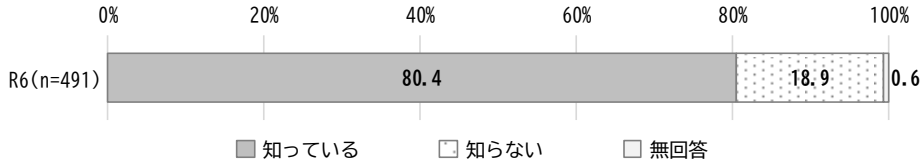
えにわ子育て応援隊の認知状況は、「知らない」が76.2%、「知っている」が21.6%となっている。

H31年との比較において、「知っている」が15.3ポイント高くなっていることから、認知度が上昇していることがうかがえる。



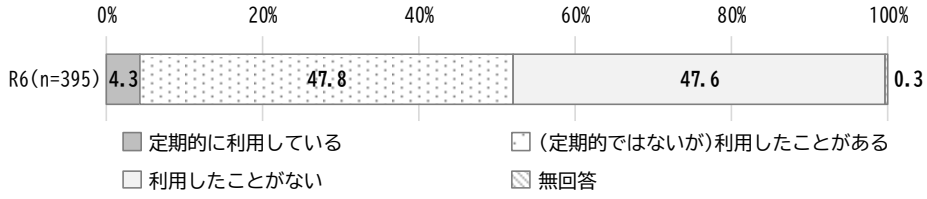
問33　えにわっこサポートカードは知っていますか。（○は1つ）

えにわっこサポートカードの認知状況は、「知っている」が80.4%、「知らない」が18.9%となっている。



【問33で「1.知っている」に○をつけた方にうかがいます。】
問34　えにわっこサポートカードの利用状況についてお答えください。（○は1つ）

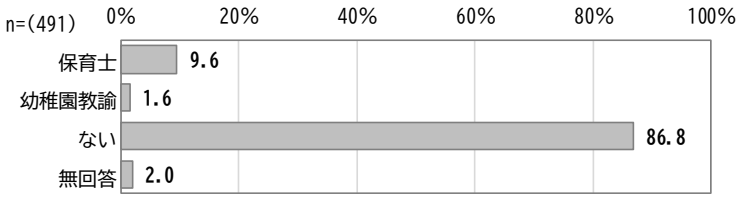
えにわっこサポートカードの利用状況は、「（定期的ではないが）利用したことがある」が47.8%、「利用したことがない」が47.6%となっている。



8. 潜在保育士の就労ニーズについて

問35　この調査票にご回答いただいている方およびご家族は以下の資格を所持していますか。（あてはまるものすべてに○）

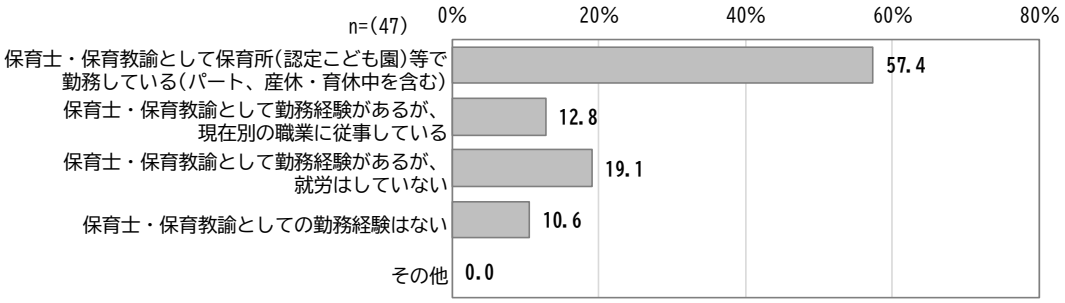
資格の有無は、「ない」が86.8%と最も多く、次いで「保育士」が9.6%、「幼稚園教諭」が1.6%となっている。



【問35で「1.保育士」に○をつけた方にうかがいます。】

問36　この調査にご回答いただいている方およびご家族で保育士資格をお持ちの方の勤務経験についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

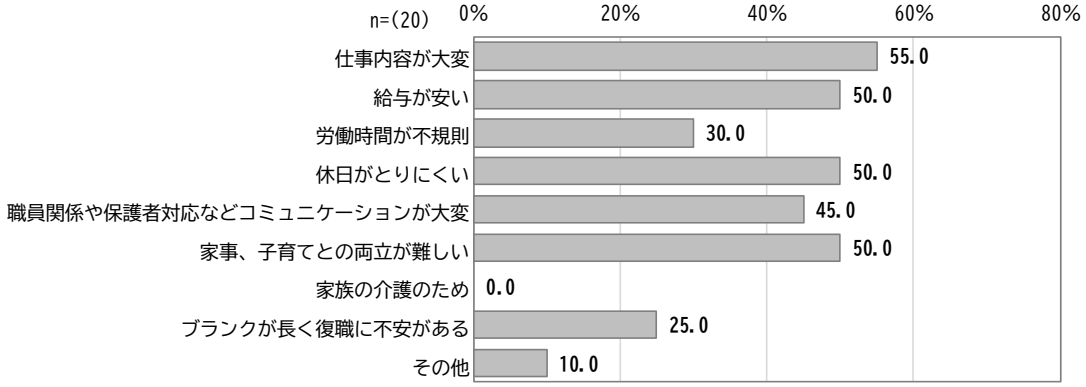
保育士資格をお持ちの方の勤務経験は、「保育士・保育教諭として保育所（認定こども園）等で勤務している（パート・産休・育休中を含む）」が57.4%と最も多くなっている。一方、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、就労はしていない」が19.1%、「保育士・保育教諭として勤務経験があるが、現在別の職業に従事している」が12.8%となっており、回答者もしくは家族が潜在保育士であるとする人が約4割に及んでいる。保育士不足の解消に向け、保育士の労働環境の改善やライフスタイルに合わせた働き方の提案など、潜在保育士の現場復帰を後押しする支援や体制の構築が必要であると考えられる。



【問36で「2.」～「4.」に○をつけた方にうかがいます。】

問37　保育士・保育教諭として勤務していない理由についてお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

勤務していない理由は、「仕事内容が大変」「給料が安い」「休日がとりにくい」「家事、子育てとの両立が難しい」がそれぞれ50％以上となっている。



問38　教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

基本目標	回答の分類	件数
親子の健康について	医療費の無償化・負担軽減	25
	病院（産婦人科・小児科含む）を作ってほしい	10
	休日や夜間に利用できる小児科がほしい	3
	親子の心のケアの体制づくり	2
子育て支援について	金銭的なサポート（おむつ・ミルク・給食など）	13
	紙おむつ用ゴミ袋支給の条件や内容の改善	5
	子育てを支援する施設の利用料の軽減・内容の充実	3
	どのような支援があるのかわからない・支援の内容がわかりづらい	2
	どこに相談したらよいのかわからない・相談しづらい	2
	病児保育施設の増設・整備	2
配慮を必要とする子ども・家庭への支援について	相談・サポート体制の充実	10
	ひとり親家庭への手当の充実	2
	保育・教育への支援	1
仕事と家庭との両立について	学童が少ない・利用基準・内容の見直し	25
	子どもの居場所の確保（時間延長含む）	16
	保育施設の増設・定員拡大	4
	就労条件等により家庭との両立が難しい	3
豊かな心を育む教育環境について	学校や保育施設の指導内容の改善	14
	学校にクーラーをつけてほしい（熱中症対策）	8
	保育士・教師の確保・待遇改善	5
子どもの安全と子育てしやすい生活環境について	公園（屋内含む）や子どもが遊べる施設の増設・整備・遊具の更新	28
	道路・歩道の整備・拡張	7
	スクールバス・通学方法の検討	7
	子供を守るための対策の充実	4
その他		46

【分類別の意見（一部抜粋）】

※以下に記載する意見は、原文のままではありませんが、なるべく回答者の表現を用いる形としています。

〇親子の健康について

- 子どもの医療費負担額の控除を18歳まで引き上げてほしいです。
- 産院・小児科・小児を診れる歯科など、子どもが受診できる病院がもっと増えるとよい。
- 休日夜間の緊急時の小児が安心して受診できる場所が欲しい。

〇子育て支援について

- 子育ての家庭が経済的な負担がほぼ0に等しいくらいにしなければ恵庭市に移住しようと思う人はあまりいないと思う。恵庭に移住してでもここで子育てをしたいと思われるような子育てや教育環境があれば自然と若者が増えると思う。
- ゴミ袋配布はとてもありがたいですがサイズを選べたらとても助かります。
- 小学生の子育て広場がせまく、利用者も少ないので改善が必要かと思う。体育館の開放回数を増やすなど。
- こんな時はどこに相談したら良いというチャートのようなリーフレットや案内があったら良いと思う。

〇配慮を必要とする子ども・家庭への支援について

- 突発的に子どもの問題行動が起こった時に駆けつけてくれるような部所があったら助かります。
- ひとり親ですが、働く時間を長くすればするほど、手当が減額され、引かれる税金が増え、サービスも受けられない。

〇仕事と家庭との両立について

- これからの社会、両親共働きが普通になってきて、子育てが忙しくなると考えます。子供を見守る学童クラブの充実と、入会できる条件の緩和の検討をして欲しい。
- 幼稚園から小学校に入学すると、預け先のハードルが上がるのが不便でした。学童にも短時間や夏・冬・春休みのみだけでも預けることができれば仕事を続けられます。
- 町内ごとに子供達が放課後学年関係なく自由に集まりお友達同士で宿題をしたり、時にはそこに居る先生のような方に勉強を教われる家のような場所があったらステキだなと思います。
- 保育園や幼稚園の定員数が増えると、働きやすい環境になると思います。

〇豊かな心を育む教育環境について

- 保育士の加配や特別支援の充実等、子どものための保育の質の向上に取り組んで欲しい。
- 幼稚園は良かったが、小学生になり、子どもの話をあまり聞かない教員にあったことがあり、とても不満に感じたことがあった。
- 小・中学校各教室へのエアコン設置など、自治体主導で学習環境改善に力を入れて欲しい。

〇子どもの安全と子育てしやすい生活環境について

- 子どもがあそべる公園を増やし、遊具の整備や草刈りなどの環境整備をどんどん進めてほしい。
- 冬の除雪について通学路は重点的にやってほしい。
- 障害の有無に関係なく、遠方から通う子供のためのスクールバスを出してほしい。
- 夏場でも夕方の鐘は防犯上17時で良いと思う。